

(様式 3 公表の表紙)

つくば市スポーツ推進計画中間年度見直し版(案)の
パブリックコメント手続の実施について

平成 30 年 12 月
つくば市市民部スポーツ振興課

案件名	つくば市スポーツ推進計画 中間年度見直し版(案)
募集期間	平成 30 年 12 月 7 日 ~ 平成 31 年 1 月 7 日
担当課	市民部 スポーツ振興課
問合せ	TEL029-883-1111 (代表) 内線 2312

■ 意見募集の趣旨

平成 26 年 3 月に「つくば市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツの振興に取り組んできました。

本年は 10 か年計画の中間年にあたり、計画期間中に生じる社会状況及びスポーツをめぐる環境の変化を踏まえて、見直しを行い、これまでの計画の実施における課題を解決するとともに新規の施策、事業、取組などを加え、「つくば市スポーツ推進計画 中間見直し版」を策定します。

つきましては、計画案を公表しますので、市民の皆さんの意見をお寄せください。

■ 資料

- ・つくば市スポーツ推進計画 中間年度見直し版 (案)
- ・つくば市スポーツ推進計画 中間年度見直し版 (案) の背景・経緯等
- ・つくば市スポーツ推進計画 中間年度見直し概要版 (案)

■ 提出方法

- 直接持参
 - ・ スポーツ振興課 (2 階)
 - ・ 各窓口センター
 - ・ 各地域交流センター
 ※施設閉庁日を除く
- 郵便
 - 〒305-8555
 - つくば市研究学園一丁目 1 番地 1
 - つくば市市民部スポーツ振興課
- ファクシミリ 029-868-7547
- 電子メール edc081@city.tsukuba.lg.jp
- ホームページの電子申請・届出サービス

※ 意見の提出については、「(様式3の3)パブリックコメント意見提出様式」やホームページの電子申請・届出サービスの入力フォームに必要事項を入力して意見をお寄せください。ただし、意見は様式以外でも提出できます。必ず計画・条例等の名称並びに氏名及び住所(法人その他の団体は、名称、代表者氏名及び所在地)を明記の上、御意見を提出してください。

■ 提出された意見の取扱い

- ・ パブリックコメント手続は、計画等の案の賛否を問うものではなく、内容をより良いものにするために、意見を募集し、意思決定の参考とするものです。提出された意見を十分考慮した上で、**つくば市スポーツ推進計画 中間年度見直し版**の最終決定を行います。
- ・ 提出された意見は、集計後から市の考え方を公表するまでの間、原文を公表いたします。個人情報等の取り扱いには十分注意するとともに、公表に際しては、個人が識別できるような内容及び個人又は法人等の権利利益を害するおそれのある情報など公表することが不適切な情報(つくば市情報公開条例第5条に規定する不開示情報)については、公表しません。
- ・ 提出された意見に対する市の考え方は、意見をいただいた方々に個別に回答するのではなく、類似する意見を集約するなどして、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。
また、案の修正を行った場合は、その修正案を公表します。

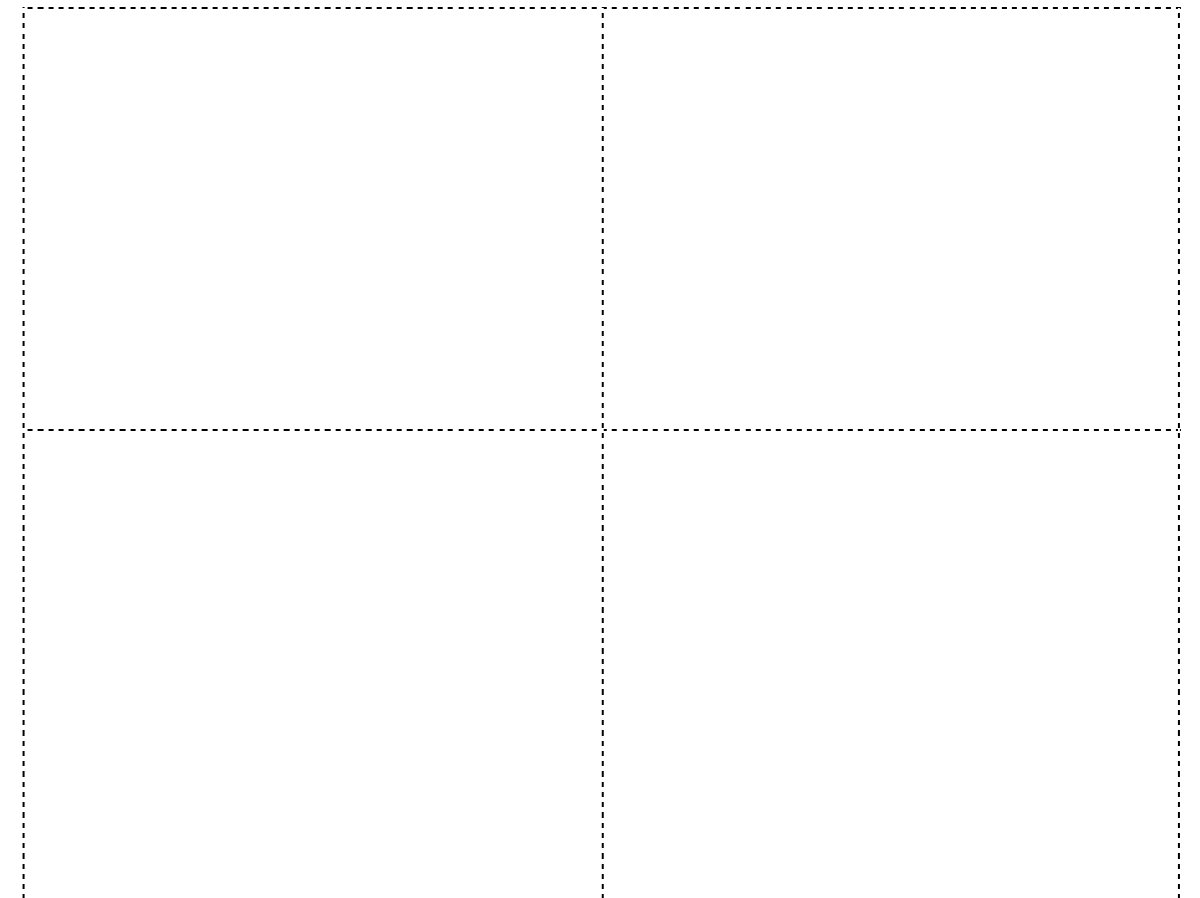
■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方の公表時期並びに公表場所

- 公表時期 平成31年3月ごろを予定しています。
- 公表場所 市ホームページ、**スポーツ振興課**、
情報コーナー(庁舎1階)、
各窓口センター、各地域交流センター

つくば市スポーツ推進計画

スポーツで“つながる”まち つくば

(中間年度見直し版)



(つくば市で市民が走る、ジョギングする、ウォーキングする、登るなどの
写真等を挿入する予定です。障害者、高齢者、子ども、成人など多様な
市民のスポーツ活動を表現できるように工夫する予定です。)

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市スポーツ推進計画

平成 31(2019)年 3月

発行 つくば市市民部スポーツ振興課
〒305-8555
茨城県つくば市研究学園1丁目1番地1
TEL:029-883-1111 (代)

平成 31(2019)年 3月



はじめに



平成 31 (2019) 年 3 月

つくば市長 五十嵐 立青

— 目 次 —

第 1 章 計画の策定にあたって

第 1 節	計画策定の趣旨	1
第 2 節	計画の構成と期間	4
第 3 節	計画の位置づけ	5
第 4 節	計画の性格	6
第 5 節	計画の実施体制と推進体制	7

第 2 章 つくば市のスポーツの現状と課題

第 1 節	スポーツ活動の現状と課題	8
第 2 節	スポーツ団体の現状と課題	14
第 3 節	スポーツ施設の現状と課題	18
第 4 節	子どもの体育・スポーツの現状と課題	32
第 5 節	障害者のスポーツの現状と課題	40
第 6 節	高齢者のスポーツの現状と課題	50
第 7 節	女性のスポーツの現状と課題	51
第 8 節	スポーツイベントの現状と課題	52
第 9 節	スポーツ指導者の現状と課題	57
第 10 節	スポーツ教室の現状と課題	60
第 11 節	つくば市の行政組織とスポーツ関連事業の現状と課題	62
第 12 節	スポーツ推進のための連携・協働の現状と課題	65

第 3 章 計画の基本的な考え方

第 1 節	基本理念	67
第 2 節	基本方針	68
第 3 節	基本目標及び数値目標	69
第 4 節	基本戦略	71

第 4 章 施策及び事業・取組

第 1 節	ライフステージに応じたスポーツ活動の促進（基本戦略1）	72
第 2 節	スポーツを通じた交流と組織基盤の強化（基本戦略2）	76
第 3 節	スポーツ環境の整備・充実（基本戦略3）	79
第 4 節	スポーツ推進のための連携・協働の推進（基本戦略4）	83

第 5 章 施策の推進のために取り組む事項及び連携体制の強化

第 1 節	施策の推進のために取り組む事項	86
第 2 節	連携体制の強化	88

資料編

第 1 章 計画の策定にあたって

第 1 節 計画策定の趣旨

1 スポーツの意義と役割

本市は、スポーツの意義と役割を認め、スポーツを推進します。

スポーツ^(注)は、世界共通の人類の文化であり、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっています。また、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であり、スポーツは、青少年の健全育成、地域社会の再生、健康で活力に満ちた長寿社会の実現、社会・経済の活力の創造、国際的な交流・貢献など、国民生活において多面にわたる意義と役割が期待されています。（資料 1「スポーツ基本法」（平成 23 年法律第 78 号）参照）

スポーツを通じた様々な取組は地域社会における絆を結び、国際的なスポーツ大会での日本選手の活躍は社会に勇気や感動を与え、日本の社会を元気づける大きな力ともなっています。そして、つくば市（以下、「本市」という。）においても、スポーツの力でまちづくりを推進することが考えられるようになってきました。

また、国連は、人間と地球をより密接に結びつけ、誰も置き去りにしないことを全般的な趣旨とする「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を採択し、17 項目からなる持続可能な開発目標（SDGs）*に合意しましたが、スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵であり、平和への寄与、健康、教育、社会的包摂*、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することが期待されています。（「2030 アジェンダ」37 項）

さらに、日本の社会においては、少子高齢化、情報化、都市化などが急激に進む中で、人間関係の希薄化、世帯の孤立化、コミュニティの崩壊などの問題が心配されています。このような社会問題に対して、スポーツは人と人とを結び付け、健康で活力に満ちた社会を育むものとしてその重要性が認められています。

本市においても、このようなスポーツのもつ多様な意義と役割を確認した上で、多くの市民が、だれでも、いつでも、どこでも、継続してスポーツを楽しみ、感動を分かち合い、お互い

（注）本計画の対象とするスポーツは、運動競技だけでなく、余暇や健康などのために行われる身体活動、レクリエーション、野外活動及びキャンプ活動を含みます。

※ 本文中に（*）が表記されている用語については、89 ページ以降の「資料 12 用語集」をご参照ください。

に結びつき、ささえ合うまち、スポーツを通じて健康と活力を育み、生き生きと生活し交流できるまちの実現を目指して、本計画を策定することとしました。また、幸福で豊かな生活を実現していくために、スポーツを通じて実際に何ができるのかを市全体で考え、このまち“つくば”ならではの計画を策定することとしました。

2 国のスポーツ政策の進展と本市による連携と対応

本市は、国のスポーツ政策と連携し、スポーツを推進します。

国は、平成 22（2010）年 8 月に「スポーツ立国戦略」を策定し、人（する人、観る人、支える（育てる）人）の重視及び連携・協働の推進を基本的な考え方として、新たなスポーツ文化の確立を目指すことを掲げました。これを受けて、平成 23（2011）年 6 月には「スポーツ基本法」が制定され、スポーツに関する基本理念と施策の基本となる事項が総合的かつ体系的に定められました。特に、スポーツ基本法においては、国及び地方公共団体はスポーツに関する施策を策定し実施する責務があることが定められており、地方公共団体においては、スポーツ基本法に定める基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、実施する責務があることが定められています。このため、国は、スポーツ基本法第 9 条に基づき、平成 24（2012）年にスポーツの推進に関する基本的計画として「スポーツ基本計画」を策定しました。その後、平成 26（2014）年にはスポーツ庁が設置され、平成 29（2017）年には、第 2 期のスポーツ基本計画（資料 2「第 2 期スポーツ基本計画（概要）」参照）が策定され、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進が図られています。また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて様々な取組も行われています。

このような国レベルでのスポーツ政策の動向を見据えながら、地方公共団体においても、スポーツ基本法第 10 条に基づき、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（地方スポーツ推進計画）を定めることが求められています。

本市は、既に平成 26（2014）年 3 月に「つくば市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツに関する施策を実施してきました。しかしながら、この推進計画は、策定から 5 年目の中間年に見直しや改善を行うことが計画されていたことから、近年の国のスポーツ政策に関する取組や社会状況の変化に対応して、スポーツ推進計画の見直しを行うこととしました。

3 本市の特色を生かしたスポーツの推進

**本市にしかできない、このまちならではのスポーツの推進
「つながるまち」「研究学園都市」「自然と都市の調和」「スポーツ文化創成」**

つくば市スポーツ推進計画（以下、「本計画」という。）は、国や社会の動きに対応するだけでなく、下記の本市の特色を生かし、地域の実情に即した計画を策定することとしました。

スポーツを通じて人と人がつながるまちを目指します。

「誰一人取り残さない」包摂の精神のもと、年齢や性別、地域などによらず、すべての人が自分らしく生きるまちづくり、人と人とのつながりを深め、地域の交流を促進するまちづくりが持続可能な都市を目指す本市の政策ビジョンとなっています。このようなビジョンに応えるためにも、本計画においては、スポーツを通じて人と人とのつながりが深まるまちづくりを基本理念に掲げました。

筑波研究学園都市の特色を生かしたスポーツの推進を行います。

本市は、世界最先端の研究学園都市として発展してきました。本計画においても、このような研究学園都市の特色を生かし、市内の研究教育機関と連携した本市ならではのスポーツの推進を考えることとしました。そして、本市の研究教育機関の叡智を結集し、科学都市つくばにしかできないスポーツの推進を目指します。また、本市は、国際的な研究教育機関が集積していることから、多くの国際交流が行われ、外国人が居住している国際都市としての特色を生かし、スポーツを通じた国際交流を考えることとしました。

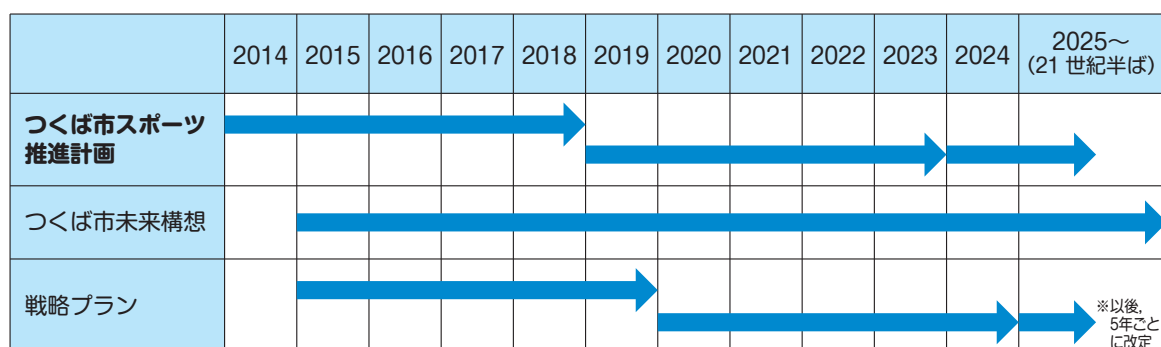
自然と都市が調和したつくばにふさわしいスポーツ環境を整備します。

本市は、筑波山の裾野である里山や広大な田園が広がる豊かな自然、歴史、文化、知財・人材などの地域資源や研究学園都市の機能を活かし、日常的な暮らしの充実を図り、本市の持つ豊かな自然環境と都市環境との調和と均衡を考えながら、本市にふさわしいスポーツ環境の整備を目指します。スポーツ施設、都市公園、野外活動施設、筑波山周辺関連施設の整備、ペDESTリアンデッキなどの公共空間の活用、フットパスコース、ウォーキングコースの設定などスポーツ環境の整備においても、つくば市の資源を活かし、自然と都市とが調和し、快適で環境にやさしいまちづくりを考えます。

本計画により地域におけるスポーツ文化創成の基盤を構築します。

本市は、地域において市民が実際にスポーツをすることを通じて、このまちや人が元気となり、市民一人一人がスポーツを理解し、その価値を実感することによって、地域のスポーツ文化が形成され、醸成されていくことを目指します。まず、本計画においては、市民がスポーツを「する」ことを通して“つながる”ことを基本方針とします。このようにして、本計画は、スポーツ文化創成のための基盤を構築するためのものです。

図 2 計画の期間



第 3 節 計画の位置づけ

1 スポーツ基本法及びスポーツ基本計画との関係

本計画は、国のスポーツ基本法第 10 条に基づき策定したものです。

また、本計画は、国の第 2 期スポーツ基本計画を参酌しながら、本市の特色と実状に即して策定したものです。

2 つくば市未来構想及びつくば市戦略プランとの整合性

本市では、まちづくりの基本的な指針として平成 27（2015）年に「つくば市未来構想」（計画期間は平成 27（2015）年度から 21 世紀半ばまで）を策定し、未来の都市像の実現に向けた 4 つの「まちづくりの理念」を策定しました。また、この「まちづくりの理念」に基づき、各種施策を計画的に展開するために「つくば市戦略プラン」（平成 27（2015）年度から 5 年ごとに見直す）を策定しています。

本計画は、つくば市未来構想、つくば市戦略プランとの整合性に留意して策定したものです。

さらに、新しく総合的な計画等が平成 31（2019）年度以降に策定される場合には、それらの上位計画・関連計画と本計画との整合・連携を図ります。

3 つくば市の個別計画等との連携

本市では、複数の個別計画が策定されていますが、これらの個別計画の中にはスポーツの推進と関連する事業や取組が多様に定められています。このため、本計画は、他の個別計画等との連携に留意して策定したものです。

関係する主な個別計画としては、つくば市 SDGs 未来都市計画（平成 30（2018）年度）、つくば市健康増進計画「健康つくば 21」（第 3 期）（平成 28（2016）年度）、つくば市教育プラン（第 2 期）（平成 28（2016）年度）、つくば市生涯学習推進基本計画（第 2 次）（平成 28（2016）年度）、つくば市子ども・子育て支援プラン（平成 27（2015）年度）、つくば市観光基本計画（第 2 次）

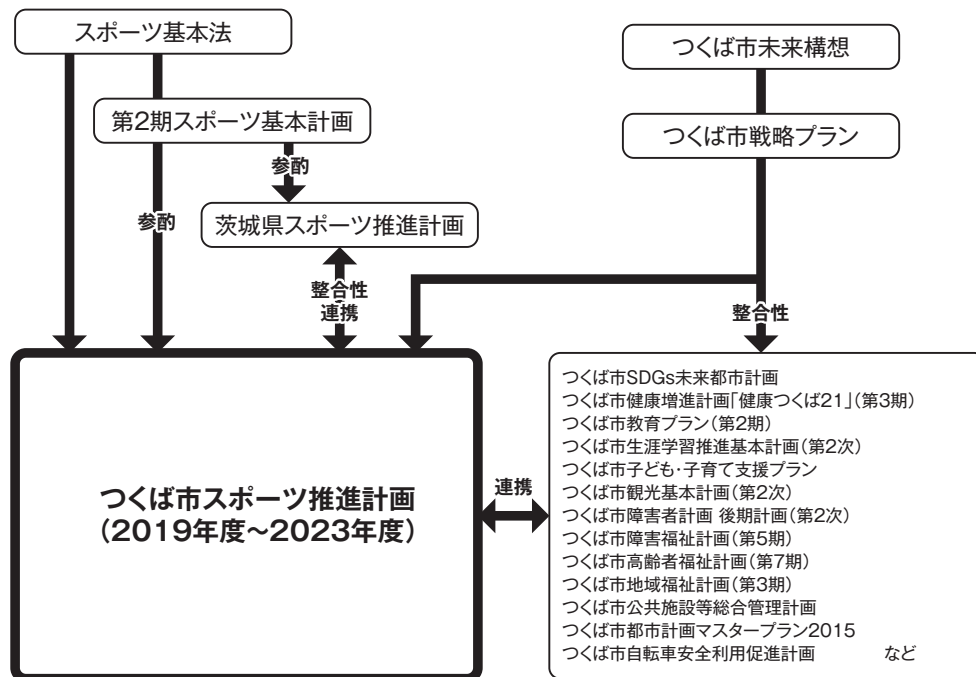
(平成 29 (2017) 年度)、つくば市障害者計画 後期計画 (第 2 次) (平成 28 (2016) 年度)、つくば市障害福祉計画 (第 5 期) (平成 30 (2018) 年度)、つくば市高齢者福祉計画 (第 7 期) (平成 30 (2018) 年度)、つくば市地域福祉計画 (第 3 期) (平成 28 (2016) 年度)、つくば市公共施設等総合管理計画 (平成 29 (2017) 年度)、つくば市都市計画マスタープラン 2015 (平成 27 (2015) 年度)、つくば市自転車安全利用促進計画 (平成 27 (2015) 年度) などが挙げられます。

本市において本計画を策定する意義は、以上のようにそれぞれの政策目的に基づいて多様に策定されている諸計画の中に定められているスポーツと関係する事業や取組を関連付け連携させながら、本計画、スポーツ基本法及び本市の基本理念に基づき、スポーツを中心とした政策体系をデザインし、本市におけるスポーツの推進を総合的かつ計画的に図ることにあります。

4 茨城県のスポーツ推進計画及びその他の個別計画との連携

本計画は、茨城県スポーツ推進計画 (いきいき茨城スポーツプラン) (平成 27 (2015) 年度) 及びその他の関連する個別計画との整合性及び連携に留意して策定したものです。

図 3 計画の位置づけ



第 4 節 計画の性格

1 スポーツの推進を図るための基本的かつ総合的な計画

本計画は、本市においてスポーツの推進を図るための基本的かつ総合的な計画です。本計画は、本市の複数の内部部局や出先機関によって多様に実施されているスポーツの推進に関する

事業や取組を連携させることによって、スポーツの推進を総合的かつ体系的に実施するとともに、スポーツの推進体制の整備と高度化を図るために計画するものです。

2 本計画の対象とするスポーツ

本計画の対象とするスポーツは、運動競技だけでなく、余暇や健康などのために行われる身体活動、レクリエーション、野外活動及びキャンプ活動を含みます。また、本計画の対象とするスポーツは、「する」スポーツ*だけでなく、「みる」スポーツ*及び「ささえる」スポーツ*（スポーツ団体の運営やスポーツの指導などスポーツをささえるために行われる様々な活動）を含みます。さらに、スポーツを通じた地域交流や国際交流などの文化的社会的な活動や関連する施設・公園・遊歩道などのスポーツ環境の整備も本計画の対象とします。

第 5 節 計画の実施体制と推進体制

1 本計画の実施体制

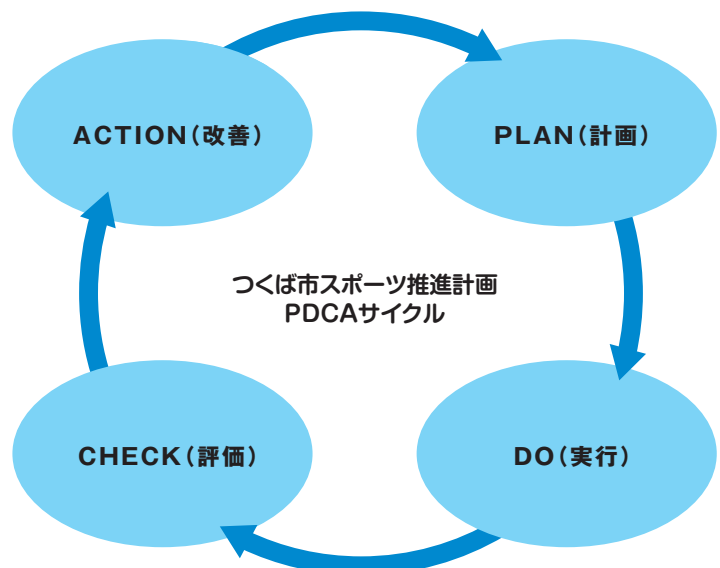
本計画を着実に実施し、スポーツの推進を図るために、市民、行政部局、地域社会、地域の団体*、関係するスポーツ団体、学校、大学、研究機関など、それぞれが連携・協働する体制を構築します。また、国、茨城県などとの連携を図ります。

2 本計画の推進体制

本計画の各事業及び取組の実施においては、PDCA（Plan: 計画、Do: 実行、Check: 評価、Action: 改善）サイクルに基づいて事業及び取組の適切な推進を図ります。（図 4 参照）

特に本計画の進捗管理については、その進捗を把握し、分析・評価し、つくば市スポーツ推進審議会に諮り、課題や改善の必要性等がある場合には計画の変更やその他必要な措置を講じます。また、つくば市スポーツ活動調査などの関係する調査統計データ、パブリックコメント、関係者に対するヒアリング、スポーツ関連部局による推進会議の協議結果などを、計画の評価や改善、新たな計画の策定に役立てます。

図 4 PDCA サイクルのイメージ



第2章 つくば市のスポーツの現状と課題

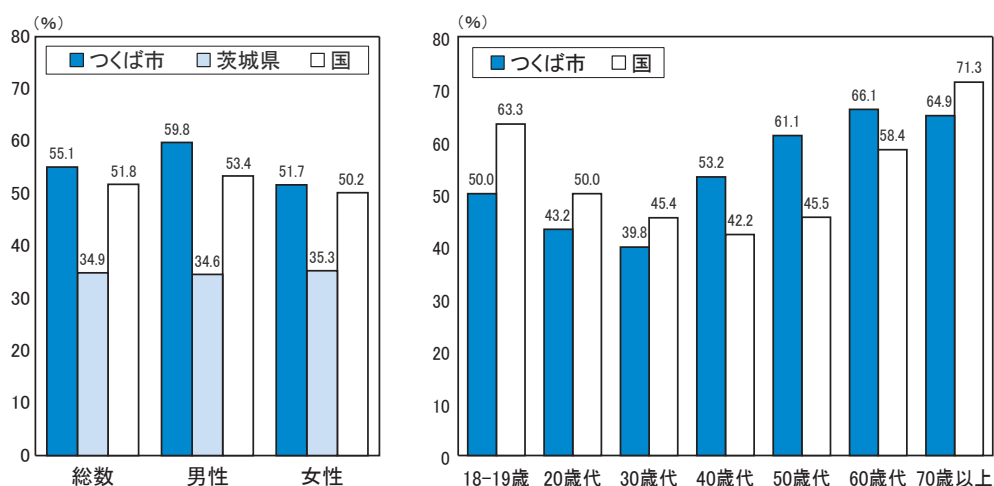
第1節 スポーツ活動の現状と課題

1 成人（18歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）

～国および茨城県より高い～

つくば市「スポーツ活動に関する調査」（平成30（2018）年1月調査）（以下、「つくば市スポーツ活動調査」という。）（資料3（p.97）参照）では、成人の週1回以上のスポーツ実施率*（一定期間に一定回数のスポーツを実施した割合）は、本市が55.1%となっています。一方、茨城県「県政世論調査」（平成28（2016）年9月実施）では34.9%、スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（平成29（2017）年11-12月調査）では51.8%となっています。男性では、本市が59.8%、茨城県が34.6%、国が53.4%、女性では、本市が51.7%、茨城県が35.3%、国が50.2%となっています。本市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、国及び茨城県の値より高いといえます。また、本市の女性の値は、男性より低いといえます。年代別にみると、本市の週1回以上のスポーツ実施率は、18-19歳が50.0%、20歳代が43.2%、30歳代が39.8%、40歳代が53.2%、50歳代が61.1%、60歳代が66.1%、70歳以上が64.9%となっています。本市の40歳代、50歳代及び60歳代の値は、国より高く、18-19歳、20歳代、30歳代及び70歳以上の値は、国より低いといえます。

図5 成人の週1回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）



出典：つくば市「スポーツ活動に関する調査」（2018）、茨城県「県政世論調査」（2016）、スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（2017）

※ 本市、国及び茨城県の各調査は、調査方法などが異なるため正確に比較できるものではありません。これらの数値はおおよその参考とするものです。詳しくは、資料4「関連するスポーツ活動に関する調査の概要」、図5及び表S-1（p.111）を参照。

※ 表S-1以下は、巻末の資料編に掲載。

平成26（2014）年に策定したつくば市スポーツ推進計画における成人の週1回以上のスポーツ実施率の数値目標は55%程度でしたが、平成29（2017）年度のつくば市スポーツ活動調査の結果によると、本市はこの数値目標を既に達成しています。ただし、平成29（2017）年に策定された国の第2期スポーツ基本計画においては、成人のスポーツ実施率（週1回以上）の成果指標は65%程度であり、本市は国が掲げるこの目標値には達していません。

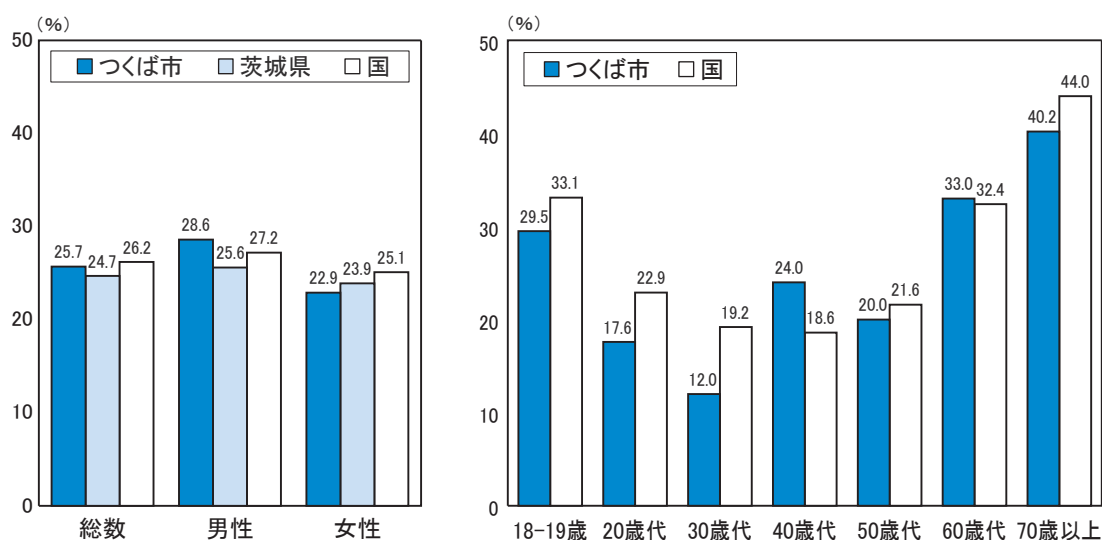
2 成人（18歳以上）の週3回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）

～茨城県より高く、国より低い～

成人の週3回以上のスポーツ実施率は、本市が25.7%、茨城県が24.7%、国が26.2%となっています。男性では、本市が28.6%、茨城県が25.6%、国が27.2%、女性では、本市が22.9%、茨城県が23.9%、国が25.1%となっています。本市の成人の週3回以上のスポーツ実施率は、茨城県より高く、国より低いといえます。また、本市の女性の値は、男性より低いといえます。年代別にみると、本市の週3回以上のスポーツ実施率は、18-19歳が29.5%、20歳代が17.6%、30歳代が12.0%、40歳代が24.0%、50歳代が20.0%、60歳代が33.0%、70歳以上が40.2%となっています。本市の40歳代及び60歳代の値は、国より高く、その他の年代の値は、国より低いといえます。（図6及び表S-2（p.111）参照）

また、本市の成人の週3回以上のスポーツ実施率は、平成29（2017）年に策定された第2期スポーツ基本計画の成果指標である30%程度には達していません。

図6 成人の週3回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）



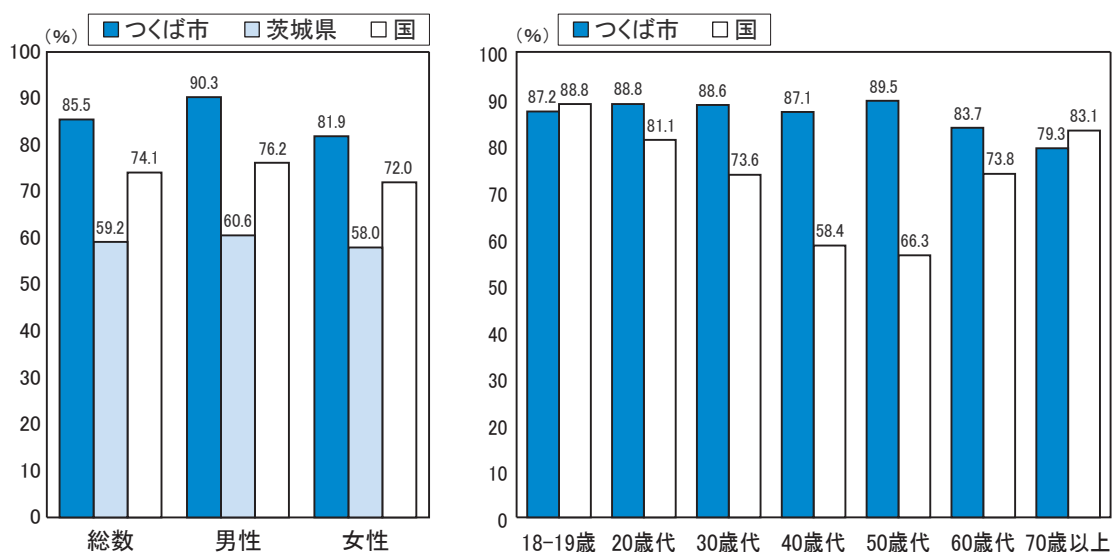
3 成人（18歳以上）の年1回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）

～国及び茨城県より高い～

成人の年1回以上のスポーツ実施率は、本市が85.5%、茨城県が59.2%、国が74.1%となっています。男性では、本市が90.3%、茨城県が60.6%、国が76.2%、女性では、本市が81.9%、茨城県が58.0%、国が72.0%となっています。本市の成人の年1回以上のスポーツ実施率は、国及び茨城県の値より高いといえます。また、本市の女性の値は、男性より低いといえます。年代別にみると、本市の年1回以上のスポーツ実施率は、18-19歳が87.2%、20歳代が88.8%、30歳代が88.6%、40歳代が87.1%、50歳代が89.5%、60歳代が83.7%、70歳以上が79.3%となっています。本市の年1回以上のスポーツ実施率は、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代及び60歳代で国より高く、18-19歳及び70歳以上の値は、国より低いといえます。（図7及び表S-3（p.111）参照）

また、平成26（2014）年に策定したつくば市スポーツ推進計画における成人の年1回以上のスポーツ実施率の数値目標は80%程度でしたが、本市はこの数値目標を既に達成しています。

図7 成人の年1回以上のスポーツ実施率（総数・性別・年代別）



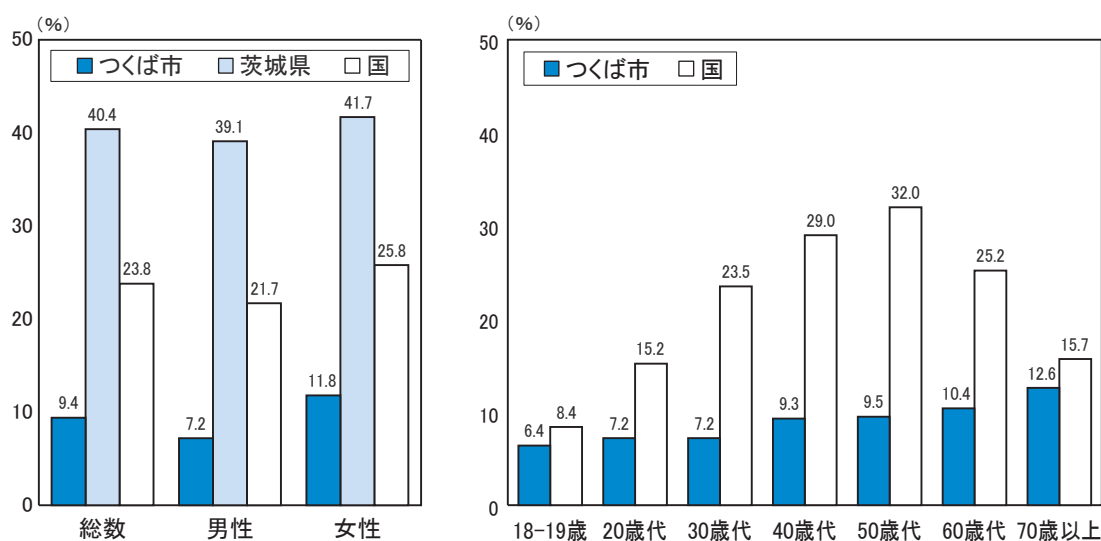
4 成人（18歳以上）のスポーツ未実施者の割合（総数・性別・年代別）

～国及び茨城県より低い～

成人のスポーツ未実施者の割合は、本市が9.4%、茨城県が40.4%、国が23.8%となっています。従って、本市の成人の約10人に1人が過去1年間に全くスポーツをしていないと考えられます。また、本市の値は、茨城県及び国より低いといえます。性別にみると、男性では、本市が7.2%、茨城県が39.1%、国が21.7%、女性では本市が11.8%、茨城県が41.7%、国

が25.8%となっています。さらに、本市のスポーツ未実施者の割合は、男性より女性の方が高いといえます。年代別にみると、本市のスポーツ未実施者の割合は、18-19歳が6.4%、20歳代が7.2%、30歳代が7.2%、40歳代が9.3%、50歳代が9.5%、60歳代が10.4%、70歳以上が12.6%となっています。（図8及び表S-4（p.112）参照）本市のスポーツ未実施者の割合は、全ての年代で、国より低いといえます。ただし、国の第2期スポーツ基本計画（2017）の成果指標では、成人のスポーツ未実施者の数の目標値は、「ゼロに近づく」ことにあり、このような目標値を指標にすると本市はまだ国が定めている目標値を達成できていない状況にあります。

図8 成人のスポーツ未実施者の割合（総数・性別・年代別）



以上の調査結果から総合的に判断すると、本市はスポーツを全く行わない人の割合が国や茨城県に比べて低く、スポーツを行う人の割合が全体的に高く、スポーツを行う市民の割合が多いまちであると考えられます。ただし、週3回以上のスポーツ実施率が、国よりも低く、特に女性の週3回以上のスポーツ実施率は茨城県より低いことが指摘できます。また、女性の中でも30歳代の女性の実施率が低いことが課題として指摘できます。

5 1年間に実施した運動・スポーツ **1位はウォーキング**

つくば市スポーツ活動調査の結果では、1年間に実施した運動・スポーツで最も多かったものは、ウォーキング（歩け歩け運動・散歩などを含む）の54.4%でした。次いで、体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操・ストレッチ等）32.9%、トレーニング（筋力トレーニング・重量挙げ・トレッドミル（ランニングマシン）・室内運動器具を使ってする運動等）24.0%、自転車・サイクリング20.4%、ランニング（ジョギング）・マラソン・駅伝18.2%、エアロビクス・ヨガ11.9%、登山・トレイルランニング・ロッククライミング11.2%の順となっています。（図S-1（p.112）及び表S-5（p.113）参照）

また、実施した運動・スポーツには男女差があり、男性の上位は、ウォーキング 55.3%、体操 28.4%、自転車・サイクリング 27.7%、トレーニング 26.9%、ランニング・ジョギング 23.8%、ゴルフ 15.3%、ゴルフ（練習場）14.1%、登山 12.2%、水泳 11.8%、ボウリング 10.8%となっており、女性の上位は、ウォーキング 53.6%、体操 36.2%、トレーニング 21.6%、エアロビクス・ヨガ 18.9%、自転車・サイクリング 15.0%、ランニング 13.9%、登山 8.7%、卓球 8.7%、バドミントン 8.4%、ボウリング 7.9%となっています。

6 継続したい運動・スポーツ **1位はウォーキング**

つくば市スポーツ活動調査では、もっと運動やスポーツをしたいか質問したところ、「かなりそう思う」が 22.7%、「ややそう思う」が 23.4%であったのに対して、「あまりそう思わない」が 10.0%、「まったくそう思わない」が 4.5%となっています。本市においては、さらに運動やスポーツを行いたいと考えている市民の割合は 46.1%となっています。また、平成 29（2017）年 3 月のつくば市「スポーツ環境に関するアンケート調査報告書」（以下、「つくば市スポーツ環境調査」という。）（資料 10（p.104）参照）の結果では、「今後、運動やスポーツを続けたい、もしくは、やってみたい」と思う市民の割合は、88.1%であり、本市の市民がスポーツを行いたいとするニーズが大きいことが分かっています。

また、これからもつづけて行いたい運動やスポーツについて、春、夏、秋、冬に分けて質問したところ、春は、ウォーキング（歩け歩け運動・散歩などを含む）が 21.5%、ゴルフが 11.9%、ランニング（ジョギング）・マラソン・駅伝が 9.8%、夏は、ウォーキングが 13.5%、水泳（競泳・水球・飛び込み・シンクロナイズドスイミング等）が 11.7%、ランニングが 7.2%、秋は、ウォーキングが 18.5%、ランニングが 10.8%、ゴルフが 10.7%、冬は、ウォーキングが 17.3%、スキーが 11.5%、ランニングが 9.7%の順となっています。特に、ウォーキングは全ての季節で 1 位となっています。（表 S-6（p.114）参照）

以上の市民のスポーツ活動の状況から考えると、本市ではウォーキング、散歩、ジョギング、ランニングなどが自宅周辺の歩道やペDESTリアンデッキなどの遊歩道、公園・広場などにおいてよく行われており、その他、春・秋は、ゴルフ、夏は水泳、冬はスキーなどが季節によって盛んであると考えられます。

7 運動・スポーツをする理由 **健康・楽しみ・運動不足・体力増進**

1 年間で運動やスポーツを実施した理由としては、「健康のため」が 63.6%、「楽しみ、気晴らしとして」が 50.3%、「運動不足を感じるから」が 41.1%、「体力増進・維持のため」が 39.4%、「筋力増進・維持のため」が 29.1%、「友人・仲間との交流として」が 25.7%、「肥満解消、ダイエットのため」が 22.8%、「家族のふれあいとして」が 13.0%の順となっています。（表 S-7（p.114）参照）

8 運動・スポーツをしなかった理由 **仕事(家事・育児)が忙しくて時間がない**

この1年間に運動やスポーツをしなかった理由として最も多かったのは「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」であり、47.3%でした。この理由の割合は、女性だけだと53.4%と著しく高くなっています。次いで、「機会がなかったから」が30.0%、「面倒くさいから」が23.6%、「年を取ったから」が18.2%、「運動・スポーツが好きではないから」が18.2%の順となっています。(表S-8 (p.114) 参照)

以上の結果から考えると、特に30歳代の女性のスポーツ実施率が低いことの理由として、仕事・家事・育児が忙しいことがあげられると考えられます。また、今後本市においてスポーツ実施率の数値目標を達成するためには、家事・育児をしている人や勤労者が運動やスポーツをできる環境を整備することが重要な課題であると考えられます。

9 運動・体力・健康への意識 **体力に不安・運動不足を感じている**

つくば市スポーツ活動調査において、自分の体力についてどのように感じているか質問したところ、自分の体力について、「体力に自信がある」が3.3%、「どちらかといえば体力に自信がある」が33.0%であるのに対して、「どちらかといえば体力に不安がある」が35.0%、「体力に不安がある」が22.7%でした。(図S-2 (p.115) 参照)

また、ふだん運動不足を感じるか質問したところ、「かなり感じる」が35.8%、「ある程度感じる」が44.9%であるのに対して、「あまり感じない」が14.2%、「ほとんど(全く)感じない」が3.5%でした。(図S-3 (p.115) 参照)

このように、体力や運動に関する市民の意識として、体力に不安のある人や運動不足を感じている人の割合が高くなっています。

一方、健康の維持増進のために運動やスポーツをしたいと思うか質問したところ、「かなりしたい」が29.2%、「したい」が36.2%、「ややしたい」が21.4%でした。また、特に健康の維持増進のために行いたいプログラムとしては、「自宅での運動プログラム」が最も多くなっています。(図S-4 (p.115) 参照)

10 スポーツの推進に関する課題

平成23年(2011)度の「つくば市市民意識調査」では、スポーツの推進について満足している市民の割合は43.7%であり、平成26(2014)年のつくば市スポーツ推進計画では、スポーツの推進について市民が満足している割合を平成35(2023)年度までに55%にすることを数値目標として設定していました。しかしながら、平成29(2017)年度の「つくば市市民意識調査」では、スポーツの推進について満足している市民の割合は37.3%であり、平成23(2011)年度の前回調査の結果よりも低く、今後改善を図る必要性があります。

本市の市民の運動やスポーツの活動状況や市民の意識、ニーズに対応して、スポーツの推進

をさらに図っていくことがスポーツの推進に関する市民の満足度を高めるうえでも重要であると考えられます。特に、仕事や家事・育児が忙しくスポーツをする機会が持てない女性に対してスポーツへの参加を促す施策を講じる必要があります。また、本市の特徴であるペDESTリアンデッキや公園などの公共空間の整備や活用を通じて市民が身近で気軽に健康や運動不足解消のためにウォーキング、散歩、ジョギングなどを行う環境の整備を図る必要があります。

第2節 スポーツ団体の現状と課題

1 スポーツクラブへの参加状況

つくば市スポーツ活動調査では、つくば市内のスポーツクラブへの参加について質問したところ、「これまで参加したことがない」が72.6%でした。また、「参加している」は12.0%、「過去に参加していたが、現在は参加していない」が14.7%でした。(図S-5 (p.116) 参照)

スポーツクラブ参加者の主たる活動場所については、「公共スポーツ施設」が最も多く32.1%、次いで「スポーツクラブの施設」が30.7%、「集会所、集落センター、交流センター(公民館)」が27.1%、「小学校*、中学校*、高校の体育施設」が17.9%の順となっています。全体で見ると、地域のスポーツクラブの主たる活動場所は、公共スポーツ施設、交流センター(公民館)、学校体育施設などの公の施設である割合が大きいといえます。(図S-6(p.116)参照)

また、どのようなスポーツクラブに参加したいか質問したところ、「健康・体力づくりができる」スポーツクラブに参加したい割合が最も高く、「かなり入りたい」が16.2%、「入りたい」が27.5%、「やや入りたい」が21.1%となっています。次いで、「徒歩か自転車で通うことができる」スポーツクラブに参加したい割合が高く、「かなり入りたい」が16.1%、「入りたい」が21.9%、「やや入りたい」が21.4%となっています。(図S-7 (p.116) 参照)

2 つくば市体育協会の団体登録状況

つくば市体育協会は、専門部会*、スポーツ少年団*及びスポーツ振興会*から組織構成されています。専門部会には、社会人を対象とした競技種目の各専門部会があり、毎年、各種大会や行事を開催しています。スポーツ少年団は、日本スポーツ協会がスポーツを通じた青少年の健全育成を目的として事業を行っている団体であり、日本スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、市町村スポーツ少年団及び単位スポーツ少年団の4つの段階から構成され運営されています。スポーツ振興会は、地域住民を対象に大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎の6つの支部から構成されており、各地域のスポーツの振興のための事業を行っています。

専門部

団体数 261・会員 5,703 名

専門部会の登録状況を平成19(2007)年度から平成29(2017)年度まで比較すると、団体数

及び会員数ともに減少傾向にあります（表1参照）。この減少傾向の原因については今後調査し、原因を明らかにし、対策を講じる必要があります。

平成29（2017）年度の専門部会への登録会員数は、合計で5,703名であり、会員数の多い種目としては、野球1,258名、サッカー919名、バドミントン820名の順となっています（表9及び表S-9（p.117）参照）。また、団体数は、261となっています。

表1 つくば市体育協会専門部登録状況

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
団体数	376	351	335	325	303	334	321	302	287	290	261
会員数	6,138	6,145	5,985	5,967	5,122	6,198	5,938	5,841	5,911	5,344	5,703

スポーツ少年団

97 団体・会員 2,766 名・指導者 618 名

スポーツ少年団の登録状況を平成19（2007）年度から平成29（2017）年度まで比較すると、団体数、会員数、指導者数及び合計人数のすべての項目で平成25（2013）年頃まで減少傾向にありましたが、その後、徐々に回復傾向にあります（表2参照）。平成29年8月現在でスポーツ少年団の会員数は、合計で2,766名であり、会員数の多い種目は、サッカー958名、野球426名、ミニバスケットボール327名、剣道315名、ストリートダンス257名の順となっています（表S-9（p.117）参照）。スポーツ少年団で行われる種目は、平成25（2013）年度には14種目でしたが、その後卓球がなくなったものの、ストリートダンス、スポーツ鬼ごっこ、新体操があらたに加わり、平成29（2017）年度では16種目に増加しています。これらの新種目の増加が、会員数等の減少を補う要因となっています。また、平成29（2017）年度では、団体数は97団体、指導者数は618名となっています。

表2 つくば市体育協会スポーツ少年団登録状況

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
団体数	95	96	96	98	95	91	90	95	95	97	97
会員数	2,607	2,611	2,725	2,676	2,553	2,537	2,396	2,682	2,643	2,764	2,766
指導者数	610	593	593	585	591	557	545	566	581	578	618
合計人数	3,217	3,204	3,318	3,261	3,144	3,094	2,941	3,248	3,224	3,342	3,384

スポーツ振興会

スポーツ振興会は、大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎の6支部から構成されており、各支部では、地域住民を対象に、スポーツ大会、スポーツ教室、運動会、ハイキング、ウォークラリー、スポーツ交流会などを企画・運営しています。また、各支部では地区単位での活動が

あります。

3 区会の活動状況

本市には、地域住民の相互の交流を深めるために自主的に組織された区会*が約600あり、区会の中には、運動やスポーツのグループを組織し定期的を実施しているところがあります。また、これらの区会は、それぞれが大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、筑波地区、荃崎地区の地区区会連合会に属し、さらに地区連合会の上部組織としてつくば市区会連合会が組織されています。

「平成30(2018)年度つくば市各区会運動・スポーツ実態調査」(表S-10(p.118)参照)によれば、71の区会が運動またはスポーツを定期的を実施しています。各区会の活動は、中高年または高齢者を中心とした活動が多く、グラウンドゴルフ、体操、ヨガ、ウォーキング、卓球、ソフトボール、輪投げ、太極拳、ゲートボールなどが行われています。

4 総合型地域スポーツクラブの育成状況

総合型地域スポーツクラブ*とは、文部科学省が地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として、地域住民の自主的な運営を目指すために行ってきたものです。また、総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、①子どもから高齢者まで(多世代)、②様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される公益性・地域性を備えたスポーツクラブのことです。文部科学省「平成29年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」では、平成29年7月1日現在の設立済みクラブ数は、全国には3,406クラブ、茨城県(44市区町村)には50クラブがあり、クラブ育成率は86.4%となっています。

公益財団法人茨城県体育協会の茨城県内の総合型地域スポーツクラブ一覧によれば、つくば市内には、特定非営利活動法人(NPO法人)つくばフットボールクラブ(つくばFC)、NPO法人アクティブつくば、NPO法人Ocean's、NPO法人つくばスポーツアカデミーの4つの総合型地域スポーツクラブがあります。特に、本市はつくばFCの広報や施設利用を支援し、スポーツフェスティバルのサッカー体験ブース設置、学校への巡回指導などで相互に協力しています。さらに、本市とつくばFC及び学校法人東京家政学院(現学校法人筑波学院大学)との間で「スポーツのまちつくば」に関する協定書を締結し、筑波学院大学の人工芝グラウンド、愛称Tフィールドを平成28(2016)年に整備しました。つくばFC、アクティブつくば、Ocean's、つくばスポーツアカデミーのような地域に根ざしたスポーツクラブを創設することは、国及び茨城県においても推進されてきたスポーツの振興方策であり、本市においても課題となっています。

5 トップスポーツチーム・団体との連携の状況

本市に拠点を置くトップスポーツチームとしては、バレーボールのV.LEAGUE Division2 (V2)に参加している「つくばユナイテッド サンガイア (Sun GAIA)」、つくばFCの男子サッカーチーム「ジョイフル本田つくばFC」と女子サッカーチーム「つくばFC レディース」、バスケットボールのBリーグ (B2) の「サイバーダイン茨城ロボッツ」などがあります。これらのトップスポーツチームとの間で様々な地域連携が行われ、スポーツの推進が図られています。また、「みる」スポーツ*の推進や、プロスポーツを通じたまちづくりを展望する場合には、シンボルとなるトップスポーツチームが必要となることも課題となっています。また、つくばFCと東京家政学院（現学校法人筑波学院大学）と本市は、平成27（2015）年より「スポーツのまちつくば」に関する協定を締結し、つくばユナイテッド サンガイアと本市は、平成29（2017）年よりスポーツ連携協定を締結し、地域連携を図っています。例えば、つくばスポーツフェスティバルなどの本市のイベントにおいてトップスポーツチームと連携した各種の取組が行われています。トップスポーツ選手などの人材を学校や地域スポーツクラブ等に派遣し、体力向上や技術指導を行い、市民との交流の場を提供する事業も行っています。

また本市は、鹿島アントラーズが本市にアカデミーセンターを設置したことに伴い、「つくば市と鹿島アントラーズ・エフ・シーとの相互協力に関する協定書」を締結して、サッカーを通じた地域連携を行っています。アントラーズフレンドリータウンデイズ「つくばの日」など、アントラーズのホームゲームの試合への市民の招待やイベントが開催されています。

さらに、本市は、スポーツ教室の開催、トップアスリートの育成事業、広報事業、社会貢献などに関わり筑波大学の関連団体と連携をしています。筑波大学には、オリンピック、パラリンピック、世界選手権などに参加する選手や指導者などトップスポーツ面での人的資源があり、本市との連携及び交流が期待されています。例えば、筑波大学スポーツアソシエーション (TSA) と連携して、これまで本市が主催するスポーツイベントの開催のために連携を図ってきました。また、つくばスポーツフェスティバルでは、筑波大学の体操部及びラート世界選手権優勝経験者によるラート演技やスポーツ体験コーナーなどを実施しています。

6 スポーツ団体への支援に対する課題

本市においては、つくば市体育協会によるスポーツ団体への支援などが行われているものの、地域のスポーツクラブに対する本市の直接的な支援や取組は十分に行われておらず、今後検討していくことが課題となっています。

第3節 スポーツ施設の現状と課題

1 運動やスポーツの主たる活動場所

つくば市スポーツ活動調査によれば、成人が運動やスポーツを行う主たる活動場所としては、自宅・自宅周辺が最も多く57.0%、次いで、近所の公園23.3%、公共のスポーツ施設16.4%、民間のスポーツ施設13.0%、スポーツクラブの施設10.8%、遠方の公園5.6%の順となっています。一方、小学校、中学校、高校の体育施設での活動の割合は5.1%にとどまっています。また、交流センター（公民館）を主たる活動場所とする割合は、男女差があり、女性は8.1%であるのに対して男性は1.7%となっています。（図S-8（p.120）及び表S-11（p.120）参照）

2 市民が公共スポーツ施設について望むこと

つくば市スポーツ活動調査によれば、市民が公共スポーツ施設について望むこととしては、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」の割合が最も高く、「かなり望む」が24.6%、「望む」が24.7%、「やや望む」が25.8%となっています。次いで、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」を「かなり望む」が23.9%、「望む」が20.0%、「やや望む」が22.6%、「身近に利用できるよう、施設数の増加」を「かなり望む」が22.1%、「望む」が24.3%、「やや望む」が22.9%となっています。（図S-9（p.120）参照）

3 スポーツ環境の整備に関する認識

つくば市スポーツ環境調査では、「小・中学校がスポーツを行う環境」「高校生・大学生・成人がスポーツを行う環境」「高齢者がスポーツを行う環境」「障害者がスポーツを行う環境」「スポーツ観戦や応援をする環境」について、整備されているかと思っているか質問したところ、「小・中学生」「高校生・大学生・成人」がスポーツを行う環境について整備されているかと思っている人の割合の方が他の項目に比べて高く、「障害者」がスポーツを行う環境について、「わからない」と思っている人の割合が他の項目より高い結果となっています。特に障害者のスポーツ環境については、どのような状況にあるのか認識できていない市民の割合が高いと考えられ、障害者のスポーツ環境やその整備等に関する情報提供をさらに図ることが課題となっています。（図S-10（p.121）参照）

4 スポーツ関連施設及び公園の設置状況

本市には、県営の洞峰公園に付帯するスポーツ施設を含めると、市内公共スポーツ施設として、体育館施設が10施設、野球場施設が14施設、テニスコートが21施設、サッカー場施設が6施設、プールが4施設、その他の広場、健康増進施設等が6施設あります。また、以上の市内の公共スポーツ施設に加えて、公園が整備されています。（図9及び表3（p.21）参照）

なお、市営の陸上競技場は、整備されておらず、学校行事等で陸上競技会や記録会を開催する場合には、小学校では筑波大学の陸上競技場を借用し、北部と南部に分けて分散開催したり、中学校の陸上競技大会は他の市の施設を借用したりしなければ開催できない状況があり、つくば市における公共スポーツ施設の整備や子どものスポーツ環境の充実の観点から大きな課題となっています。

5 総合運動公園整備事業の検証とスポーツ環境調査の実施

本市では、総合運動公園整備事業が進められましたが、平成 27（2015）年 8 月に本件整備事業の賛否を問う住民投票が行われ、80.8%の反対多数で否決されました。住民投票の結果を受けて、本件事業は白紙撤回され、本市ではこの総合運動公園事業の進め方に関して市長公約事業として検証委員会を設置し、平成 29 年 4 月に検証結果が報告されました。

また、平成 28（2016）年に、本市の公共スポーツ施設に対する住民の意向を把握し、既存施設の改修や新たな施設設備の必要性等、スポーツ環境の整備・充実に関する検討の参考にすることを目的として、つくば市「スポーツ環境に関するアンケート調査」を実施し、平成 29 年 3 月に報告書をまとめました。

6 体育施設の利用及び改修の状況

利用者数及び予約システムの状況

本市の体育施設*（32 か所）の平成 29（2017）年度の利用状況は、利用件数の合計が 87,101 件、利用人数の合計が 709,538 人となっており、平成 24（2012）年度のデータと比較すると、個人や団体などによる利用件数は増加しているのに対して、利用者数は減少しています。（表 S-12（p.121）参照）利用者数の減少の原因としては、体育施設の大規模改修等で使用できない期間があったことが影響していると考えられますが、そのような原因がない体育施設については、利用者数の減少の要因を今後検討する必要があります。

一方、平成 29（2017）年度の体育施設の利用件数は合計で 87,101 件であるのに対して予約システムからの利用件数は 30,766 件であり、予約システムの利用件数の割合は 35.3%となっています。平成 24（2012）年度では、体育施設の利用件数は 68,872 件、予約システム利用件数は 23,539 件、予約システム利用件数の割合は 34.2%でした。（表 S-13（p.122）参照）体育施設の予約については、利用を希望する施設の窓口での利用申請とインターネット予約（つくば市公共施設予約システム（以下、「予約システム」という。））から利用申請する方法がありますが、予約システムから予約する利用件数自体は増加しています。ただし、予約システムを利用する利用件数の割合には大きな変化はありません。なお、つくば市スポーツ環境調査では、利用施設別に「予約方法」の満足度を見てみると、全ての施設において、満足している人の割合が高い結果となっています。（図 S-11（p.122）参照）

図9 スポーツ関連施設及び公園

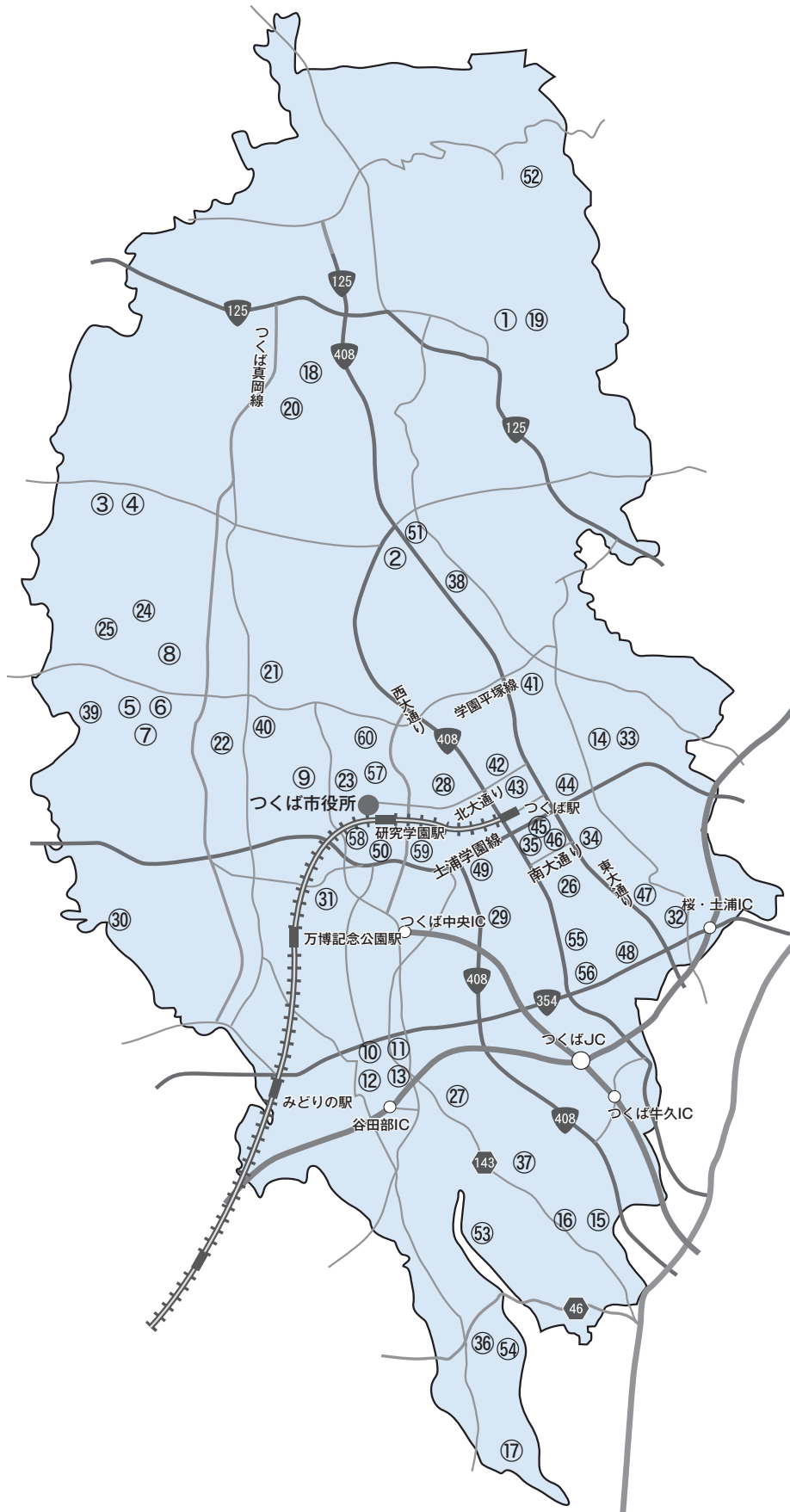


表3 スポーツ関連施設及び公園

No	施設名	施設詳細	住所	申込先	電話番号
①	筑波総合体育館	アリーナ※1 柔剣道場	北条1477-1	筑波総合体育館 管理事務所	029(867)1058
②	大穂体育館	アリーナ※1	筑穂1-10-4	大穂交流センター	029(864)3111
③	吉沼体育館	アリーナ※1	西高野821	吉沼体育館 管理事務所	029(865)1204
④	吉沼野球場	野球場			
⑤	豊里体育館	アリーナ※1			
⑥	豊里多目的広場	野球場	高野1197-20	豊里体育館 管理事務所	029(847)8112
⑦	豊里テニスコート	テニスコート			
⑧	豊里柔剣道場	柔剣道場	今鹿島4262		
⑨	東光台体育館	アリーナ※1	東光台5-13-5	東光台体育館 管理事務所	029(847)8272
⑩	谷田部総合体育館	アリーナ※1 柔剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室	谷田部4711	谷田部総合体育館管理 事務所	029(837)0959
⑪	谷田部テニスコート	テニスコート	谷田部5210	谷田部野球場 管理事務所	029(838)0257
⑫	谷田部多目的広場※2	多目的広場 ゲートボール場	谷田部5665	谷田部総合体育館管理 事務所	029(837)0959
⑬	谷田部野球場	野球場		谷田部野球場 管理事務所	029(838)0257
⑭	桜総合体育館	アリーナ※1 卓球場、柔剣道場、トレーニング室	金田1608	桜総合体育館 管理事務所	029(857)4021
⑮	高見原ソフトボール場	ソフトボール場	高見原3-5-1		
⑯	高崎サッカー場	サッカー場	高崎14-1	荻崎運動公園 管理事務所	029(876)6600
⑰	あしび野多目的広場※2	多目的広場	泊崎521-1		
⑱	セキショウ・ チャレンジスタジアム	サッカー場	山木1562	つくばウェルネスパーク	029(867)5210
	スポーツフィールド・芝生広場※2	多目的広場			
	ヘルスプラザ	プール、トレーニング室			
⑲	大池公園	テニスコート、野球場	北条1477-1	筑波総合体育館	029(867)1058
⑳	筑波北部公園	テニスコート	北原1	筑波北部公園	029(864)4582
㉑	豊里ゆかりの森※2	テニスコート、キャンプ場	遠東676	豊里ゆかりの森昆虫館	029(847)5061
㉒	さくら公園	テニスコート	豊里の杜2-87-48		
㉓	東光台運動公園	テニスコート、野球場	東光台5-1-2	東光台体育館	029(847)8272
㉔	台山公園	テニスコート	緑ヶ原2-4		
㉕	大崎公園	野球場	緑ヶ原4-5		
㉖	二の宮公園	プール、テニスコート	二の宮1-15	二の宮公園	029(851)4439
㉗	羽成公園	テニスコート、野球場	観音台1-27	羽成公園	029(836)0931
㉘	かつらぎ公園	テニスコート	春日2-39-3	かつらぎ公園	029(851)1788
㉙	手代木公園	テニスコート、野球場	高代5-11	手代木公園	029(852)0009
㉚	小貝川スポーツ公園	テニスコート、野球場	高良田455-1	小貝川スポーツ公園	029(847)6757
㉛	科学万博記念公園	テニスコート	御幸が丘6	万博記念公園	029(856)1005
㉜	桜南スポーツ公園	テニスコート、野球場	並木3-21-2	桜南スポーツ公園	029(856)3020
㉝	さくら運動公園	テニスコート、野球場	金田1603	さくら運動公園	029(857)6200
㉞	竹園東公園	テニスコート	竹園3-7	さくら交通公園	029(851)6323
㉟	つくばカピオ アリーナ	アリーナ※1	竹園1-10-1	つくばカピオ	029(851)2886
㊱	荻崎運動公園	テニスコート、野球場、多目的広場	下岩崎2160-10	荻崎運動公園	029(876)6600
㊲	ファミリースポーツ公園	テニスコート	菅間269-1		
㊳	花畑近隣公園※2	プール(7,8月) ソフトボール場	花畑3-11-5	プール管理事務所 大穂市民窓口センター	029(864)2221 029(883)1402
㊴	川口公園		上郷3190		
㊵	せせらぎ公園		豊里の杜1-373-55		
㊶	反町の森公園		桜1-3		
㊷	松見公園		天久保1-4	松見公園	029(851)5705
㊸	中央公園		吾妻2-7-5	中央公園	029(858)4090
㊹	さくら交通公園		吾妻4-3-3	さくら交通公園	029(851)6323
㊺	大清水公園		竹園1-5-2		
㊻	竹園公園		竹園2-19-1		
㊼	並木公園		並木2-13		
㊽	梅園公園		梅園2-29		
㊾	松代公園		松代3-2		
㊿	研究学園駅前公園		学園南2-1	研究学園駅前公園	029(849)5060
①	健康増進施設いきいきプラザ※2	アリーナ	大曾根4067-1	いきいきプラザ	029(864)5089
②	筑波ふれあいの里※2	キャンプ場	白井2090-20	筑波ふれあいの里	029(866)1519
③	荻崎こもれび六斗の森※2	キャンプ場	六斗1002番地	こもれび六斗の森	029(876)5040
④	ふれあいプラザ	フィットネスプール	下岩崎2164-1	ふれあいプラザ	029(876)2311
⑤	洞峰公園(県営)※2	体育館、野球場、プール、テニスコート、 多目的フィールド	二の宮2-20	洞峰公園管理事務所	029(852)1432
⑥	赤塚公園(県営)		稲荷前11		
⑦	学園の杜公園		研究学園5-21		
⑧	学園南公園		学園南1-7		
⑨	葛城水辺公園		学園南3-15		
⑩	学園広場公園		学園の森2-18		

予約 ▷窓口=使用日の28日前から ▷インターネット=使用日の27日前から ※インターネット予約にはID登録が必要です。
 ※1 ハレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球ができます。 ※2 インターネット予約はできません。

市内公共スポーツ施設の稼働率

つくば市スポーツ環境調査では、平成27（2015）年度のスポーツ施設の施設別稼働率は、その他のスポーツ施設（プール、健康増進施設、広場など）が75.50%と最も高く、次いで、体育館（アリーナ部分）71.82%、体育館（卓球場）51.21%の順となっています。他方、体育館（弓道場）15.13%、野球場23.75%、サッカー場33.65%の順で稼働率が低くなっています。（表4参照）本市においては、健康関連施設や体育館の稼働率が高く、気軽に健康のために市民が利用できる屋内施設の需要が高くなっていると考えられます。また、平日の稼働率が土日の稼働率に比べて低く、稼働率を改善するためには、平日の施設利用を促進する対策が必要になっています。特にこの土日と平日の稼働率の差がサッカーと野球で顕著になっており、積極的に利用者に情報提供や案内を行うことによって、この稼働率を向上させるよう対策を講じる必要があります。

表4 市内公共スポーツ施設の稼働率

施設種別	細別	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)		
		全体稼働率	全体稼働率	全体稼働率	平日稼働率	土日祝日 稼働率
体育館	アリーナ	69.45%	72.14%	71.82%	65.75%	83.29%
	柔剣道場	34.63%	37.08%	40.25%	34.64%	50.93%
	弓道場	11.43%	11.45%	15.13%	12.49%	19.89%
	卓球場	50.81%	49.17%	51.21%	46.51%	60.10%
サッカー場	—	26.11%	27.54%	33.65%	19.74%	58.72%
野球場	—	23.28%	24.99%	23.75%	12.91%	45.69%
テニスコート	—	34.51%	36.32%	38.87%	25.12%	66.73%
その他のスポーツ施設	—	78.00%	81.50%	75.50%	—	—

公園施設・運動公園

つくば市都市公園条例に基づき、設置・管理されている公園施設の中には、プール、テニスコート、テニスハウス、野球場、多目的広場などの運動施設が含まれています。（表S-14（p.123）参照）また、公園の中には、小貝川スポーツ公園、桜南スポーツ公園、荃崎運動公園、荃崎ファミリースポーツ公園などの運動公園・スポーツ公園も含まれています（表S-14（p.123）参照）。特に、本市では、老朽化したテニスコートの改修等整備を行っています。公園スポーツ施設の利用者数については、273,000人を目標値に設定してきましたが、平成25（2013）年度の270,999人から平成29（2017）年には273,663人と利用者数が増加し、目標値を達成しています。（表S-15（p.123）参照）

また、本市では平成28年3月に「つくば市緑の基本計画」（改訂版）が策定されましたが、同計画では、樹木・樹林、筑波山森林、農地、街路樹だけでなく、公園緑地・広場、ペDESTリアンデッキ（歩行者専用道路）の緑、学校・庁舎・住宅・その他の機関の植栽地などを含めて緑ととらえ、緑豊かな田園都市を実現することを目指しています。特に緑に親しむ拠点や道として、公園・オープンスペースの整備と活用を進めるとともに、ペDESTリアンデッキなどの緑の整備・育成を図ることや、緑の遊歩道及びサイクリングのネットワークを作ることなどが施策として示されています。

これら公園・広場・ペDESTリアンデッキ、遊歩道などの公共空間の整備・充実は、市民が身近に運動やスポーツに親しみ、健康で安全な生活を過ごす上でも非常に重要となっており、今後、都市計画や環境の整備等を担当する部局とスポーツや健康を担当する部局が連携・調整しながら、総合的な関連する施策の実現を図ることが必要となっています。

つくばウェルネスパーク

つくばウェルネスパークは、市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のための施設として整備されています。ウェルネスパークは温水プールや温浴施設・トレーニングルームなどを配置したヘルスプラザ、人工芝のサッカー場であるフットボールスタジアムつくば（セキショウ・チャレンジスタジアム）、サッカーやグラウンド・ゴルフなど多目的に利用できるスポーツフィールドなどから構成され、平成29（2017）年度は年間で240,005人の来館者がありました。そのうち、ヘルスプラザの利用者数は、173,809人でした。この施設は指定管理者制度を導入しており、スタジオレッスン、スイミングレッスン、サッカー教室などの自主事業も行われています。（表S-16（p.123）参照）



野外活動施設

自然環境の保全、野外共同生活の場の提供、市民の余暇活動への寄与などのために、つくば市豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、荃崎こもれび六斗の森などの野外活動関連の施設があります。これらのキャンプ場等の利用者数の推移は表S-17（p.123）の通りです。

豊里ゆかりの森

キャンプ場、テニスコート、フィールド・アスレチックなどのスポーツ関連施設があります。



筑波ふれあいの里

キャンプ場などのスポーツ関連施設があります。



荃崎こもれび六斗の森

野外活動の場としてキャンプ場などの関連施設があります。また、六斗の森については、指定管理者が管理をしています。利用者数は平成25(2013)年度の10,840人から平成29(2017)年度の14,289人へと増加しています。(表S-17(p.123)参照)



体育施設の改修及び維持管理の状況

本市では、利用者の安全性及び利便性を確保するために体育施設の修繕及び改修を優先順位を定めて計画的に実施しています。また、定期巡回等により判明した緊急性の高い修繕等を実施しています。平成29(2017)年度は、修繕工事30件、土木工事6件、小規模修繕73件、備品購入30件を実施しました。

7 その他のスポーツ関連施設

つくばカピオ

つくばカピオ*は、市民の文化活動だけでなく、各種室内スポーツ活動等による交流の場を目的として設置されている多目的施設です。特につくばカピオアリーナは、スポーツの大会や練習等で幅広く利用されています。平成29(2017)年度のアリーナの利用状況(スポーツ利用とそれ以外の利用を含む)は、343日、109,606人、利用率100%となっており、平成24(2012)年度に比べても利用者数及び稼働率ともに著しく高い値となっています。また、つくばカピオの管理運営は、



指定管理者に委託しています。(表S-18(p.124)参照)

地域交流センター

地域交流センター*は、市民の自主的な活動の促進を図り、豊かな活力ある地域社会の形成に資するために設置された施設です。本市には17の地域交流センターがあり、センターの中には体育館、テニスコート、ホールなどのスポーツ活動に利用される附属施設があるものがあります。附属施設では卓球、テニス、グラウンド・ゴルフなどが行われています。特に茎崎交流センターの芝生広場と島名交流センターのテニスコートの利用者数は平成24（2012）年度と平成29（2017）年度を比べると増加傾向にあり、スポーツ施設としての需要が高いと考えられます。（表S-19（p.124）参照）また、各地域交流センターを活用してヨガ、ダンス、体操などを含むスポーツ分野の地域交流センター講座（自主講座）として、平成29（2017）年度には18の講座が開講されました。（表S-20（p.124）参照）（資料参照）さらに、サークル団体情報の登録制度があり、卓球、テニス、ゲートボール、スポーツ吹き矢、太極拳などのサークル団体が登録し、活動をしています。

ふれあいプラザ

ふれあいプラザ*は、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯学習の活動を総合的に支援するために設置されています。プラザ内には、フィットネスプール、ホール、軽運動室などがあり、水中歩行、ヨガ、その他の関連する自主サークル活動が行われています。平成29（2017）年度は、延べ18,009人のプールの利用者、延べ6,606人の軽運動室の利用者、延べ16,569人のホールの利用者がありました。平成24（2012）年度の利用状況と比べると、プールの利用者数が増加傾向にあるのに対して、軽運動室が減少傾向にあります。また、ふれあいプラザは、指定管理者により管理運営されており、指導者及び団体の登録制度があります。（表S-21（p.124）参照）



いきいきプラザ

いきいきプラザ*は、健康増進施設であり、運動を通じて市民の基礎体力の向上を図り、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成に寄与するために設置された施設です。そして、この施設のアリーナにおいて、運動教室などの各種事業が実施されています。いきいきプラザにおいて40歳以上の主に中・高齢者を対象に有酸素運動を中



心に軽い運動・ストレッチなどの運動教室を行い、体力測定を実施するとともに、運動講話などの生活指導を行っています。平成29（2017）年度は、年間を通して41回教室を開講し、いきいき運動教室は5コース、元気はつらつ運動教室は3コースを設けて健康チェック後インストラクターによる健康づくりのための運動を実施しました。また、管理栄養士による食生活指導や、運動効果の評価として年に1回体力測定を実施しています。（表S-22（p.125）参照）

8 筑波山麓周辺及び関連施設の整備

筑波山麓周辺は、主に観光やスポーツツーリズムの観点から整備が進められ、道案内表示、フットパス*、筑波山麓マップなどが企画されています。また、ウォーキングコースも整備されています。さらに、筑波山ジオパークなどと連携した広域的な取組も行われています。

フォレストアドベンチャー・つくば

フォレストアドベンチャー・つくばは、専用のハーネスを着用して、森の樹の上を渡っていく森林体験型アウトドアパークです。筑波山梅林周辺の市有地に森林体験パークを整備することで、新たな年代層をターゲットとした通年型の観光拠点を構築し、スポーツツーリズムの促進を図っています。



フットパスコースの設定

フットパス*とは、イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並み等地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと「Foot」ができる小径「Path」のことです。筑波山麓をはじめ本市の自然豊かな地域にフットパスコースを設定し、道標を整備し、フットパスマップを作成して、歩きながら気軽に散策できる小道を整備しています。本市では、次のフットパスコースを設定し、本市Webページでフットパスマップなどの情報を提供しています。

筑波山麓フットパス

筑波山口～筑波山神社コース
（筑波山南麓の自然と歴史を感じながら歩く小道）
神郷～六所～筑波コース
（万葉の時代から歴史を巡って歩く小道）

荃崎フットパス

高崎自然の森～こもれび六斗の森～荃崎運動公園～小荃コース
（牛久沼の風景と里山を楽しく歩く小道）

北条・平沢フットパス

筑波交流センター～北条商店街～平沢官衙遺跡コース
（幾層もの時代を巡って歩く小道）

常陸小田城跡フットパス

筑波山麓小田駐車場～小田城跡歴史ひろば～宝篋山小田休憩所
（宝篋山のふもとの四季と中世の城跡をめぐる小道）

9 スポーツ活動と関連する公共空間*

ペDESTリアンデッキの活用

ペDESTリアンデッキ*とは、立体交差などによって車道から分離された歩行者や自転車専用の通路のことです。本市では、ユニバーサルデザインの理念に配慮した安全・安心な歩行空間を創出するためにペDESTリアンデッキの整備事業を行っています。

このペDESTリアンデッキの総延長は、約48kmとなっています。

ペDESTリアンデッキは、ジョギングやウォーキング、散歩などに利用されており、本市の特色あるこれらの空間をいかに活用していくかが課題となっています。

ウォーキングコースの設定

本市では、健康づくりのために15のウォーキングコースを設定し、コースマップを作成し、距離、所要時間、消費カロリーなどの情報提供を行っています。また、これらのコースは、茨城県ヘルスロードと対応して「いばらきヘルスロードマーク」の認定を茨城県から受け、子どもからお年寄りまで、また障害のある人も安全に歩けるコースとして認められています。特に緑と科学の散歩道コースは、ペDESTリアンデッキを歩くコースであり、平成30(2018)年度につくばウォークの日においてもオリジナルコースとして使用されています。また、つくば国際ウォーキング大会に際しても部分的に設定コースが使用されています。

①つくば古道コース	⑨研究学園都市コース（南回り）
②小貝川のんびり散歩コース	⑩洞峰公園遊歩道コース
③大穂コース	⑪赤塚公園遊歩道コース
④ゆかりの森コース	⑫高崎自然の森コース
⑤つくばエクスプレス沿線コース	⑬泊崎コース
⑥研究学園コース	⑭筑波北部公園コース
⑦研究学園都市コース（北回り）	⑮桜コース
⑧緑と科学の散歩道コース	

サイクリングロード

本市には、茨城県を代表する人気のサイクリングロード（自転車・歩行者専用道路）である「つくば霞ヶ浦りんりんロード」（総延長約180km）などがあります。茨城県では、「いばらきサイクルツーリズム推進事業」が実施され、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会が設置されており、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめとしたサイクリングロードは、スポーツツーリズムの観点からも重要なものとなっています。

また、筑波山口でのつくば市レンタサイクル事業や茨城県とつくば霞ヶ浦りんりんロード沿

線7市が連携して広域レンタサイクル事業を実施しています。

自転車のまち

本市では、「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、「つくば市自転車安全利用促進計画」（平成27（2015）年策定）を策定し、「ひと・自転車・クルマが共生できるまち」の実現を目指しています。その中でサイクリングを楽しむための環境の充実や健康づくりを目指した自転車の利用を促進しています。例えば、サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実のために、空気入れや工具などが利用できる休憩施設や、健康づくりを目指した自転車利用の充実のために、サイクリングマップ「Tsukuba Bicycle Slow Life」を作成してサイクリングコースや魅力スポットなどを紹介しています。また、スマートフォンからコースの高低差、距離がわかるナビゲーションとして自転車のまちつくばWebサイトを開設しています。さらに、筑波山地域ジオパークを自転車でめぐる筑波山麓りんりんツアー、高低差約500m、全長約12kmを一気に駆け上がる筑波山ヒルクライムレース「ツール・ド・つくば」などのイベントを実施しています。

つくば市スポーツ活動調査によれば、自転車・サイクリングは、1年間に実施した運動・スポーツの中で4位であり、継続したい運動・スポーツとしても人気が高く、さらに環境の整備・充実を検討する必要があると考えられます。

10 学校体育施設の状況

学校体育施設の開放

本市の学校体育施設*は、つくば市立学校施設開放規則に基づき、本市に在住または在勤する者で、教育委員会に登録した団体に対して原則開放しています。平成29（2017）年度の学校体育施設開放の使用状況としては、市内の49の小・中学校が開放事業を行っています。また、学校開放延べ活動数は、平成25（2013）年度の430から平成29（2017）年度の466と増加しています。（表S-23（p.125）参照）

学校体育施設の耐震化、維持管理及び安全の確保

本市は、つくば市耐震改修促進計画に基づき社会体育施設の耐震診断を行い、その結果に応じて工事を実施し、市民が使用する社会体育施設の安全性と災害時の予備避難場所としての確保に努めています。本市は、平成27（2015）年度に体育施設の耐震化100%を達成しています。

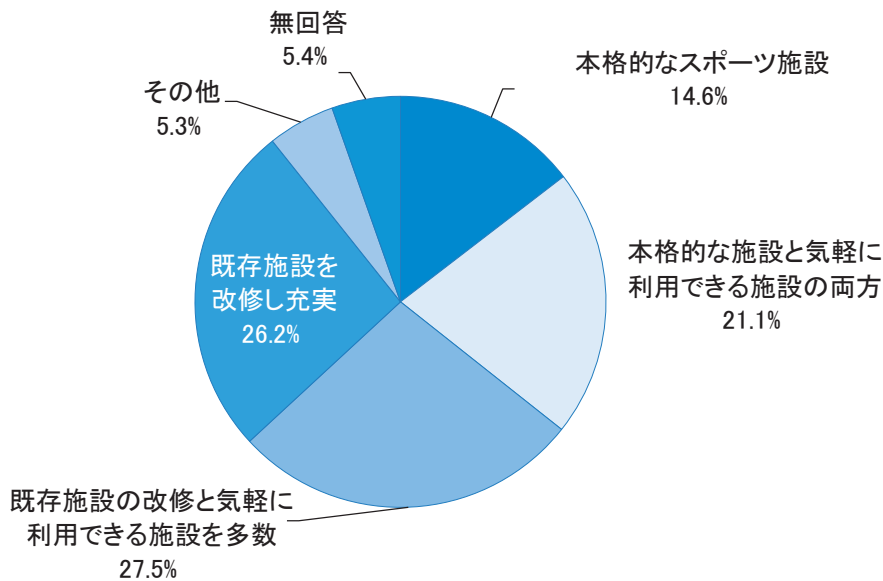
今後は、児童・生徒が安全に体育やスポーツが行えるように、学校体育施設の維持管理を徹底し、安全対策を図っていく必要があります。学校体育施設等の建築基準との適合、老朽化した施設設備の改善、定期的な点検など体育施設の維持管理を行う必要があります。また、地球温暖化に伴う熱中症対策をどのように図るかが重要な課題となっています。

11 今後スポーツ環境はどうあるべきか

つくば市スポーツ環境調査では、76.0%の人が、今後本市が目指すべきスポーツ環境は、「市民が身近にスポーツできる環境」を整備・充実させるべきだと考えているという結果となっています。次いで、「高齢者・障害者がスポーツをより一層楽しめる環境」が42.2%、「スポーツ大会等の観戦や応援がしやすい環境」が32.1%となっています。(図S-12 (p.126) 参照)

つくば市スポーツ環境調査で、「あなたは、つくば市のスポーツ環境を整備・充実するために、これからの公共スポーツ施設づくりを、どのように考えますか。」との質問に対して、「既存施設の改修も含め、気軽に利用できる簡素なスポーツ施設を数多くつくってほしい」と回答した人の割合が最も高く27.5%となっています。次いで、「既存施設の改修を行い、充実してほしい」が26.2%、「本格的なスポーツ施設と、気軽に利用できるスポーツ施設の両方をつくってほしい」が21.1%となっています。このように、スポーツ施設整備のあり方については、市民の意見が分かれている結果となっています。(図10 参照)

図10 公共スポーツ施設の整備のあり方に対する市民の考え



公共スポーツ施設の整備のあり方に対する市民の考えを地区別にみると、筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区は、「本格的なスポーツ施設」「本格的、気軽施設の両方ほしい」と回答した人の割合が他の地区より高く、桜地区、荃崎地区、研究学園地区、TX沿線地区は、「既存施設の改修、気軽施設」「既存施設の改修」と回答した人の割合が他の地区より高い結果となっています。(図S-13 (p.126) 参照)

また、今後の公共スポーツ施設の整備・充実についてどのように考えているか質問したところ、「既存施設を改修し充実させるべきである」と回答した人の割合が最も高く21.0%、次いで、「既存施設の改修と、足りない施設の整備を同時に行うべきである」が17.1%、「現状のま

まで良い」が16.4%、「市内で整備されていない、または、足りない施設を整備すべきである」が16.0%となっています。(図S-14 (p.126) 参照)

今後どの公共スポーツ施設を新たに整備していくことが必要だと思うか質問したところ、「体育館」と回答した人の割合が最も高く24.7%、次いで、「ウォーキング・ランニングコース」が21.4%、「多目的広場」が20.9%となっています。(図S-15 (p.127) 参照)

一方、今後どの既存公共スポーツ施設を改修していくことが必要だと思うか質問したところ、「体育館」と回答した人の割合が最も高く36.1%でした。次いで、「ウォーキング・ランニングコース」が17.6%、「多目的広場」が15.8%、「屋内プール」が14.1%となっています。本市の公共スポーツ施設は、施設の老朽化が進んでいることや、設備に満足していない市民の意見もあることから、適切な改修計画の実施や運用方法等の検討が必要となっています。(図S-16 (p.127) 参照)

さらに、施設利用者に対して本市が整備すべきと考える公共スポーツ施設を質問したところ、「体育館」と回答した人の割合が最も高く34.3%、次いで「テニスコート」が25.3%、「野球場」が24.0%、「サッカー場」が22.4%となっています。(表S-24 及び図S-17 (p.128) 参照)

また、施設利用者が既存公共スポーツ施設のどこを改修していくことが必要だと思うか質問したところ、「更衣室・シャワー・トイレなどの設備」と回答した人の割合が最も高く54.9%、次いで、「競技面(体育館床、コート面、芝等)」が49.7%、「バリアフリー化」が32.8%となっています。(図S-18 (p.128) 参照)

新しい公共スポーツ施設として適切な場所

本市に新たな公共スポーツ施設をつくるとした場合、どのような場所が適切であると考えているか質問したところ、「広い駐車場が設置可能な土地がある郊外部に立地した方がよい」と回答した人の割合が29.9%、「市内各地に分散して立地した方がよい」が29.8%と両者の考えが拮抗して高い結果となっています。次いで、「公共交通機関が充実している駅の周辺の方がよい」と回答した人が19.1%となっています。(表S-25 (p.128) 参照)

この新しい公共スポーツ施設として適切な場所に関する市民の意見は、地区別に傾向があり、筑波地区、大穂地区は、「広い駐車場が設置可能な郊外」と回答した人の割合が高く、TX沿線地区は、「駅周辺」と回答した人の割合が高い結果となっています。(図S-19 (p.129) 参照)

立地場所別に新たに整備すべき公共スポーツ施設を見てみると、「分散して立地」と回答した人の30.5%が「ウォーキング・ランニングコース」と回答し、「広い駐車場が設置可能な郊外」と回答した人の33.5%が「陸上競技場」と回答し、「駅周辺」と回答した人の26.3%が「体育館」と回答しています。(図S-20 (p.129) 参照)

スポーツ施設の満足度

つくば市スポーツ環境調査では、公共スポーツ施設の満足度については、全ての項目で満足している人の割合が高い結果となっています。ただし、「備品」「付属設備」「観戦・応援のしやすさ」「駐車台数」については、満足度が他の項目よりやや低い結果となっています。(図S-21 (p.130) 参照)

12 指定管理者の状況

本市では、公の施設（公園、文化施設、体育施設、福祉施設等）の管理について、多様化する市民のニーズに対してより効果的効率的に対応するため、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的に平成17（2005）年度より指定管理者制度を導入しています。（平成30（2018）年度のスポーツ関連の施設や公園等の指定管理者は表S-26 (p.130) 参照）

これらの指定管理者については、指定管理者候補者選定検討会議により選定検討を行うとともに、指定管理者からの運営管理状況の報告等に対して所管課が指導等を行っています。また、つくば市公の施設指定管理者第三者評価会議の評価結果を踏まえて指定管理者の評価を行っています。

13 スポーツ関連施設の課題

本市のスポーツ関連施設は、体育施設、公園施設、文化施設、観光施設、健康増進施設、生涯学習施設、子育て関連施設などの多様な施設として設置管理されており、それぞれの施設を主管する担当部局が異なっている状況があります。スポーツの推進の観点からは、スポーツ環境の総合的な整備を図るために、関連する担当部局が連携してスポーツ施設に関する情報を共有するとともに、スポーツ施設の利用状況等の基本情報を集約して把握し、施策や事業の改善に生かすことができる体制を構築する必要があります。

スポーツ環境の整備・充実のあり方については、市民の考えが多様であり、地域によっても意見に差があることから、スポーツ環境の整備に関する市民の考えを詳しく調査し把握し、地域の実情や市民の意見を反映したスポーツ施設の整備や改修を進めていく必要があります。

つくば市スポーツ活動調査の結果とつくば市スポーツ環境調査の結果を踏まえると、本市においては、まず健康や体力増進のために身近に運動やスポーツを行うことができる環境の整備を充実させる必要があると考えられます。特に公園、多目的広場などの公共空間の整備、ウォーキングコース、ランニングコース、サイクリングコースなどの設定、体育館、テニスコートなどの整備・改修などを図る必要があります。

また、本市には公式記録を取ることができる陸上競技場がなく、学校における陸上競技大会等を市内で行えない状況もあり、市民の意見もあることから、陸上競技場の整備を検討する必要があります。

スポーツ施設については、耐震化対策などの安全対策が既に図られてきましたが、今後は熱中症対策など、スポーツ施設における事故防止の観点からも安全対策の徹底を進める必要があります。

スポーツ関連施設や公園の中には、指定管理者により、運営が行われている施設もありますが、それらの施設については、本市と指定管理者が協議を重ね、より良い管理運営のあり方を検討していく必要があります。

第4節 子どもの体育・スポーツの現状と課題

1 子どもの運動・スポーツの実施状況

つくば市スポーツ環境調査の「スポーツ環境に関する中高生アンケート」では、子どもが行っている運動やスポーツでは、「ランニング」と回答した人の割合が最も高く22.6%となっています。次いで、「テニス」が18.0%、「サッカー」が12.8%、「バスケットボール」が12.7%、自転車10.8%の順となっています。(表5及び図11参照)

一方、やってみたいスポーツとしては、バドミントンが21.4%で最も割合が高く、次いで、テニスが19.1%、バスケットボールが13.5%、ランニングが12.5%、バレーボールが11.6%の順となっています。(表S-27及び図S-22 (p.131)参照)

本市においては、実際に子どもが行っているスポーツの実施者数以上に、やってみたいスポーツがあり、特にバドミントン、テニス、バスケットボールなどについては、著しく人気があるスポーツであると考えられます。

また、つくば市スポーツ活動調査によると、学校の体育の授業を除いて、ほとんど毎日(週に3日以上)運動やスポーツを実施している子どもの割合は、小学校5年男子が45.8%、小学校5年女子が30.2%、中学校2年男子が80.0%、中学校2年女子が55.7%となっています。男女ともに、中学校の方が小学校よりも週に3日以上運動やスポーツを実施する子どもの割合が高くなっています。

週に1日以上実施している子どもの割合は、小学校5年男子が82.6%、小学校5年女子が77.8%、中学校2年男子が86.0%、中学校2年女子が69.7%となっています。運動やスポーツを週1日以上実施している子どもの割合は、男子では中学校よりも小学校のほうが低く、女子では小学校よりも中学校のほうが低くなっています。また、小学校でも中学校でも男子よりも女子のほうが実施の割合が低くなっています。

一方で、運動やスポーツを全くしない人も存在しており、小学校5年男子が4.2%、小学校5年女子が5.8%、中学校2年男子が6.8%、中学校2年女子が12.7%となっています。(図12参照)

1週間に運動やスポーツを実施する時間の合計が0分の割合は、小学校5年男子が5.2%、小学校5年女子が3.6%、中学校2年男子が6.8%、中学校2年女子が14.9%となっています。

表5 子どもが行っているスポーツ

項目	回答数	割合
ランニング	583	22.6%
テニス	465	18.0%
サッカー	330	12.8%
バスケットボール	329	12.7%
自転車	279	10.8%
卓球	255	9.9%
バドミントン	236	9.1%
バレーボール	230	8.9%
野球	189	7.3%
陸上競技	174	6.7%
ダンス	155	6.0%
水泳	134	5.2%
剣道	125	4.8%
ラグビー	83	3.2%
ハンドボール	55	2.1%
フットサル	44	1.7%
体操・新体操	35	1.4%
柔道	33	1.3%
弓道	27	1.0%
スケートボード	24	0.9%
ゴルフ	19	0.7%
ソフトボール	11	0.4%
アーチェリー	4	0.2%
その他	181	7.0%
無回答	15	0.6%
合計	4,015	—

図11

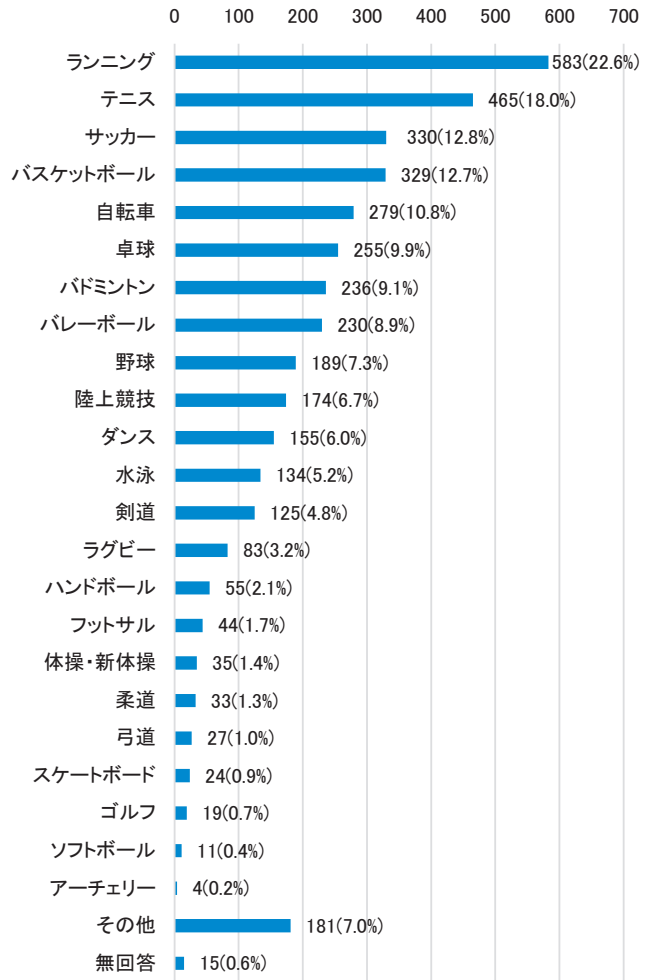
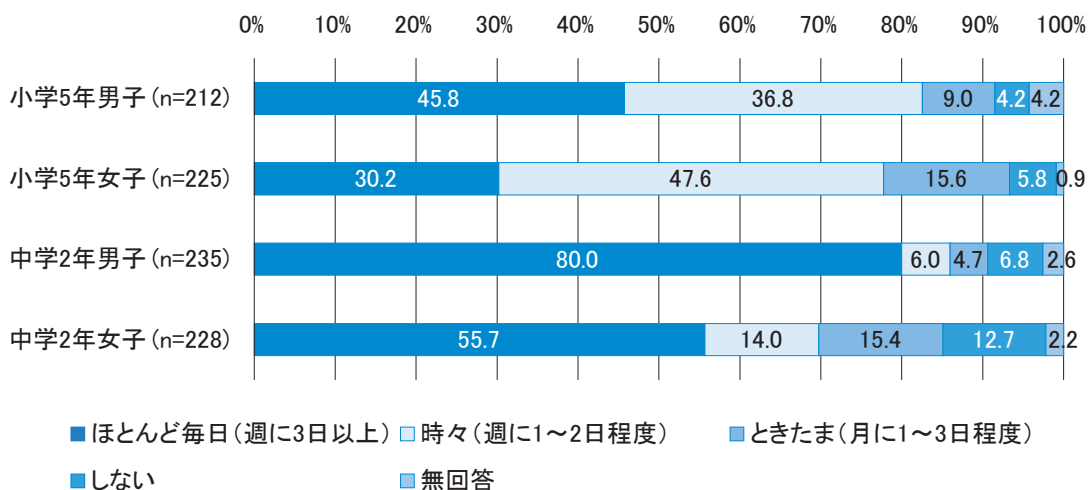


図12 子どもがスポーツを行う頻度と割合



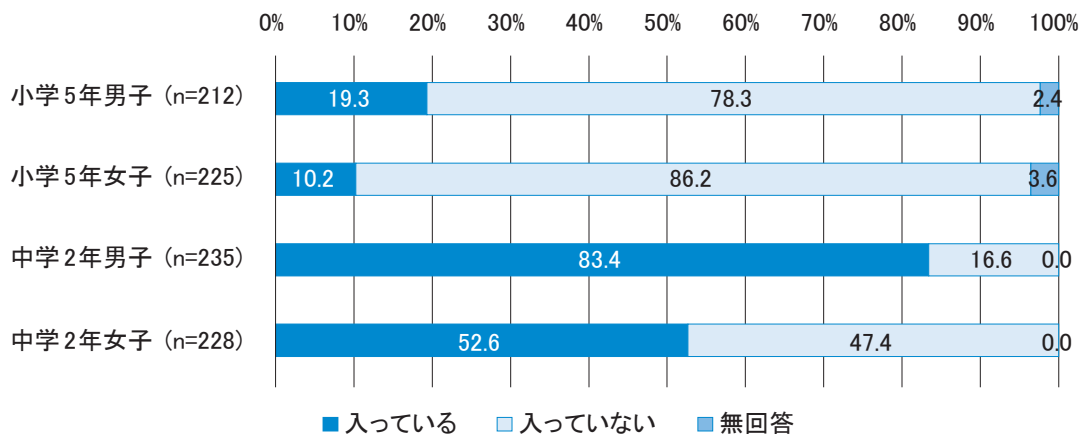
このように、中学校2年女子で1週間に全く運動やスポーツをしない人の割合が高くなっています。他方、1週間に8時間以上実施している割合は、小学校5年男子が30.7%、小学校5年女子が18.2%、中学校2年男子が66.4%、中学校2年女子が41.2%となっています。(図S-23 (p.131) 参照)

2 学校の運動部活動及び学校外のスポーツクラブの参加状況

運動部活動の加入割合

学校の運動部には、小学校5年男子は19.3%、小学校5年女子は10.2%、中学校2年男子は83.4%、中学校2年女子は52.6%が加入しています。男女ともに中学生になると、学校の運動部への加入の割合が増加しています。(図13 参照)

図13 学校の運動部活動の加入の割合



中学校の運動部員数の推移

平成21(2009)年度から平成29(2017)年度までのつくば市中学校体育連盟に所属している部員数の推移をみると、平成21(2009)年度が4,389名であったのに対して平成29(2017)年度は4,677名となっています。平成29(2017)年度の部員数を種目別にみると、テニスが778名、卓球680名、バスケットボール656名、サッカー551名の順に多くなっています。(表6、表7、表S-28 (p.132) 及び表S-29 (p.133) 参照)

表6 つくば市中学校の運動部員数の推移

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
部員数	4,389	4,452	4,530	4,703	4,745	4,565	4,580	4,665	4,677

表7 平成29(2017)年度つくば市中学校運動部員数の運動部別内訳

野球		バレーボール		バスケットボール		テニス		卓球		剣道		柔道	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
308	7	90	386	364	292	354	424	461	219	167	98	38	9
315		476		656		778		680		265		47	
陸上		サッカー		水泳		バドミントン		器械体操		新体操		ハンドボール	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
237	211	543	8	86	55	70	100	16	15	—	11	67	41
443		551		141		170		31		11		108	

中学校の運動部活動の支援

中学校の運動部活動の支援事業として、市立中学校を対象に、各部活動の用具購入費、修繕費及び各種大会に参加するためのバスの賃借料などの費用を支給し、部活動環境の整備と保護者の経済的負担の軽減を図っています。また、全国大会及び関東各種大会出場補助事業も行っています。中学校体育連盟が主催する関東大会以上の大会及びJOCジュニアオリンピックカップに出場する際の交通費・宿泊費を補助しています。

学校外のスポーツクラブの加入割合

学校外のスポーツクラブ（スポーツ少年団、地域スポーツクラブ等を含む）に入っている人の割合は、小学校5年男子が57.5%、小学校5年女子が40.4%、中学校2年男子が24.3%、中学校2年女子が21.9%となっています。小学生のほうが中学生よりも学校外のスポーツクラブに入っている人の割合が高くなっています。（図S-24（p.133）参照）

学校の運動部活動や学校外のスポーツクラブに参加していない人のうち、自分の好きな運動部活動やスポーツクラブがあれば入りたい人の割合は、小学校5年男子は56.9%、小学校5年女子は65%、中学校2年男子は33.3%、中学校2年女子は40.7%となっています。（図S-25（p.133）参照）

学校の運動部活動や学校外のスポーツクラブに参加していない人でも、自分の望むような運動部やスポーツクラブがあれば入りたい人は一定数以上存在しているといえます。特に、小学生は男女ともに50%以上の人が好き運動部やスポーツクラブがあれば入ることを望んでいます。子どもが運動やスポーツに身近に親しむことのできる運動部活動やスポーツクラブの環境を整備・充実させることが課題であるといえます。

3 子どもの運動やスポーツへの欲求

もっと運動やスポーツをしたいか質問したところ、小学校5年男子の86.8%、小学校5年女

子の85.4%、中学校2年男子の80.4%、中学校2年女子の74.1%が、運動やスポーツをしたいと答えています。また、運動やスポーツをなぜしたいのかについては、「もっと、体力をつけたい」と思う割合が小学校5年男子では93.9%、小学校5年女子では94.7%、中学校2年男子では88.9%、中学校2年女子では93.0%となっており、いずれの区分においても最も高い割合となっています。このほか、小学校の男子及び女子では、運動やスポーツを、「もっと、楽しみたい」、「もっと、上手になりたい」と思う割合も高く、中学校の男子及び女子では、「もっと、楽しみたい」、「もっと、上手になりたい」、「もっと、仲間と交流したい」と思っている割合も高くなっています。

4 運動やスポーツをしない理由

運動やスポーツをしない理由は、小学校5年男子では、「塾や勉強が忙しくて時間がないから」が22.2%、「運動・スポーツが嫌いだから」が11.1%、「お金がかかるから」が11.1%、「機会がなかったから」が11.1%、「面倒くさいから」が11.1%となっています。小学校5年女子では、「機会がなかったから」が38.5%、「運動・スポーツが嫌いだから」が30.8%、「面倒くさいから」が15.4%となっています。中学校2年男子では、「他に趣味ややりたいことがあるから」が62.5%、「機会がなかったから」が43.8%、「面倒くさいから」が37.5%、中学校2年女子では、「面倒くさいから」が31.0%、「塾や勉強が忙しくて時間がないから」が24.1%、「他に趣味ややりたいことがあるから」が20.7%、「運動・スポーツが嫌いだから」が20.7%となっています。(表S-30 (p.134) 参照)

5 体育連盟の活動

つくば市小学校体育連盟の活動

本市は、児童の体力の増進及び運動能力の向上を目指し、市民意識を高め、豊かな人間性と社会性の育成を図るとともに、小学校教諭の指導力の向上を図るために、つくば市小学校体育連盟が開催する市内の小学生の陸上記録会（南部および北部地区）、指導者実技講習会、審判講習会などの事業費を補助し、連携を図っています。平成29（2017）年度の陸上記録会は、全37の小学校を北部地区20校、約1,200名、南部地区17校、約1,300名で2日に分けて筑波大学陸上競技場で実施されました。しかしながら本市では、市内全地区の小学校を集めて陸上記録会を開催することができる市営の施設がないことが課題となっています。

つくば市中学校体育連盟の活動

本市は、生徒の運動能力の向上と心身の健全な発達・成長を図るため、つくば市中学校体育連盟が開催するつくば市陸上競技大会、つくば市総合体育大会及びつくば市新人体育大会（野球、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、サッカー、バドミ

ントン、水泳、器械体操、陸上競技、ハンドボール) に対して事業費を補助しています。しかしながら、市総体及び新人戦は、同一会場で大会を実施できない競技があることが課題となっています。できる限り中学校の体育館・グラウンドを利用しているものの、陸上記録会は石岡市総合運動公園、バドミントンにつくばカピオ、サッカー予選は鹿島アントラーズグラウンドを借用して分散開催しています。

また、本市は、つくば市中学校体育連盟と連携して、市内の各中学校チームが参加するつくば市長杯 U-15 サッカー大会を開催しています。

6 子どもの体力の状況

本市、茨城県及び全国の小・中学校の体力テスト合計点の平均値の比較

平成 20 (2008) 年度から平成 29 (2017) 年度までの全国体力・運動能力、運動習慣等調査によれば、本市の小学校 5 年生 (5 学年) 男子及び女子の新体力テスト*合計点の平均値を全国の平均値及び茨城県の平均値と比べると、まず本市の小学校 5 年生の体力テストの平均値は、男女とも茨城県の平均値より低いといえます。また、全国の平均値と比べると、本市の女子の値は全国の値より高い傾向がありますが、男子の値は全国の値より若干低いときもあれば高いときもあります。(表 S-31 (p. 135) 「体力テスト結果の年次推移の比較 (本市・全国・茨城県)」参照)

平成 20 (2008) 年度から平成 29 (2017) 年度までの本市の中学校 2 年生 (8 学年) の体力テスト合計点の平均値は、まず、本市の中学校 2 年生の平均値は、男女とも茨城県の平均値より低いといえます。一方、本市の中学校 2 年生の平均値は、男女とも全国の平均値より高い傾向にあります。(表 S-32 (p. 136) 「新体力テスト結果の年次推移の比較 (本市・全国・茨城県)」参照)

本市及び茨城県の小・中学校の体力テスト総合評価段階別人数の割合の比較

平成 24 (2012) 年度と平成 29 (2017) 年度の体力テストの総合評価段階別人数の割合*を本市と茨城県で比べると、本市の小学校 5 年生と中学校 2 年生の A+B の割合 (体力テストの合計点の 5 段階 ABCDE 評定のうち、よい方の A と B の総合評価段階の者の割合) は、茨城県を下回っています。平成 24 (2012) 年度では、本市の小学校 5 年生が 43.60%、中学校 2 年生が 50.56% であるのに対して、茨城県の小学校 5 年生が 51.72%、中学校 2 年生が 60.46% となっています。平成 29 (2017) 年度では、本市の小学校 5 年生が 48.01%、中学校 2 年生が 56.95% であるのに対して、茨城県の小学校 5 年生が 57.87%、中学校 2 年生が 63.39% となっています。つくば市の小・中学生の A+B の割合自体は、平成 24 (2012) 年度と比べると平成 29 (2017) 年度の値が上昇していますが、茨城県の値に比べると低い結果となっています。(表 S-33(p. 134) 参照)

体力アップ推進プラン

茨城県では、学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り、児童生徒の運動意欲を高め、競い合う楽しさや達成感を味わわせ、困難に立ち向かう「たくましい心と体」を育成するために、子供の体力向上支援事業を行っています。この支援事業には、学校の取り組みとして、「体力づくり推進委員会の設置」「体力アップ推進プランの策定（1校1プラン）の実践」があり、県の取り組みとして、スポーツチャレンジ、体育授業サポーター派遣事業、体育授業アドバイザー派遣事業があります。茨城県では、平成29（2017）年度の体力テストの結果が、小・中学校男女とも全国二位となっており、これらの事業・取組の効果も生じていると考えられます。

本市においても、体力テストの結果を踏まえ、茨城県の子どもの体力向上支援事業においても、各学校の体力的課題に即した「体力アップ推進プラン」の策定や、体力向上のための取組を積極的に実施することが課題となっています。

茨城県スポーツチャレンジへの参加状況

茨城県では、ホームページ上において、キャッチボールマスター、フリースロー・ゲーム、短なわ連続跳び、一輪車スラローム、連続さか上がり、チーム・ジャンプ、連続二重跳び、ベーランリレー、連続8の字縄跳び、ダブルタッチ、スイム・スイム・スイム、懸垂チャンピオンなど各種ゲームや運動を体育の時間、昼休み、放課後などに行い、ランキングを競う「スポーツチャレンジ」を実施し、児童生徒の体力向上を図るとともに、集団で協力して取り組むことにより、好ましい人間関係や社会性を養うことを目的とした取組を行っています。なお、このスポーツチャレンジへの参加は任意となっています。平成29（2017）年度に本市では、51の小・中学校のうち、キャッチボールマスターに7校、フリースロー・ゲームに1校、ベーランリレーに1校、連続8の字縄跳びに13校が参加しました。

7 放課後子ども教室によるスポーツ活動

放課後子ども教室は、放課後等に小学校の余裕のある教室等を活用して、地域の人材の参画を得て、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるものです。放課後子ども教室では、市内の小学校1年生から6年生の児童を対象に、スポーツ活動など様々な体験活動や地域の方々との交流活動も行われています。平成23（2011）年度は計73回の事業を実施し、参加児童数は延べ3,027名、地域の協力スタッフは延べ502名でした。平成24年度は97回の事業を実施し、参加児童数は延べ4,414名、地域の協力スタッフは延べ761名でしたが、平成29（2017）年度には、180回の事業の実施、延べ8,531名の児童の参加、地域ボランティア1,360名の参加と増加しています。このうち、スポーツに関するものは、平成23（2011）年度では22回（全体の28.9%）でしたが、平成29（2017）年度では44回（24.4%）

ありました。スポーツに関するプログラムとしては、スポーツレクリエーション、速く走るコツ、グラウンド・ゴルフ、よさこいダンスなどを実施しました。

8 放課後児童クラブによる遊びやスポーツ活動

放課後児童クラブ事業は、放課後の保育に欠ける児童に対して、児童の健全な育成を図るために、児童館や児童クラブ専有室を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供するものです。また、このために、本市では、放課後児童クラブ施設の整備を行っています。放課後児童クラブは、平成25(2013)年度では、公設19クラブ、民設22クラブでしたが、平成29(2017)年度では、公設公営20クラブ、公設民営18クラブ、民設民営30クラブと増加しています。また、放課後児童クラブの利用者数は、平成20(2008)年度は1,256名でしたが、平成23(2011)年度は1,621名、平成26(2014)年度は2,175名、平成27(2015)年度が2,606名、平成28(2016)年度が2,843名、平成29(2017)年度が3,090名にまで増加しています。児童館には、プレイルーム、館庭などの施設があり、ドッジボールやさまざまな遊びが行われています。また、児童館を利用する児童(2年生～4年生)を対象とした市内全児童館対抗のドッジボール大会を開催しています。

9 スポーツ推進についてのつくば市への要望

つくば市スポーツ活動調査では、スポーツ推進のために本市が今後力を入れるべきかについて質問したところ、肯定的な意見(「かなりそう思う」「そう思う」「ややそう思う」)の割合が最も大きかったものは、小学校男子5年では「地域のスポーツクラブの育成」が83.5%、小学校女子5年では「学校体育施設の開放・整備」が87.5%、中学校男子2年では「学校体育施設の開放・整備」が82.5%、中学校女子2年では「学校体育施設の開放・整備」が89.5%となっています。スポーツ推進のために、小・中学生が「学校体育施設の開放・整備」を望んでいると考えられます。このほか、「野外を除く各種スポーツ活動施設の整備」、「野外スポーツ活動施設の整備」といった運動やスポーツを実施するための施設の整備や「スポーツ指導者の養成」などを望む割合も高くなっています。さらに、今後、どの公共スポーツ施設を新たにつくっていくことが必要だと思いますかと質問したところ、「体育館」と回答した人の割合が最も高く35.5%、次いで、「屋内プール」が17.5%、「多目的広場」が15.0%となっています。

10 子どものスポーツの課題

本市においては、小学校においては地域のスポーツクラブを中心に、中学校においては学校の運動部活動を中心に、スポーツが活発に行われていると考えられますが、スポーツを行う施設や行いたいと思うスポーツクラブ等の環境はまだ十分とはいえず、スポーツ活動調査やスポーツ環境調査の結果を踏まえて、さらに子どものスポーツを行う機会を確保していく取り組みが必要となっています。特に、体育館の整備や学校体育施設の開放を望む割合が高くなって

います。

子どもの体力については、茨城県の中では小学校も中学校も低い状況にあり、茨城県の取組等も参考にしながら、さらに学校等が積極的に体力向上に取り組む必要があります。また、子どもの中には、体力に自信がない者や、運動やスポーツを行わない者もあり、これらの者に対して有効な取組を行い、運動やスポーツに親しむ環境や体力向上に結び付けていくことも必要と考えられます。

また、本市の小学校及び中学校では、公式記録のとれる陸上競技大会を開催するための施設がないことから、近隣の自治体等の施設を借用する問題状況が続いていることが大きな課題となっています。

第5節 障害者のスポーツの現状と課題

1 障害者のスポーツ実施率

～国より高い～

つくば市「障がい者のスポーツ活動に関する調査」（平成30（2018）年1月調査）では、障害者（20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率は、本市は44.6%となっています。一方、スポーツ庁委託調査「地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）報告書」（平成30（2018）年3月）では20.8%となっています。また、若年層（7～19歳）の週1回以上のスポーツ実施率は、本市が71.0%であるのに対して、国が29.6%となっています。（図14及び表S-34（p.134）参照）

障害者（20歳以上）の週3回以上のスポーツ実施率は、本市が19.7%であるのに対して、国が9.8%であり、若年層（7～19歳）の週3回以上のスポーツ実施率は、本市が25.8%であるのに対して、国が13.2%となっています。（図15及び表S-35（p.138）参照）（ただし、本市及び国の各調査は、調査方法などが異なるため正確に比較できるものではありません。これらの数値は、おおよその参考とするものです。資料6（p.100）参照。）

平成29（2017）年に策定された国の第2期スポーツ基本計画においては、成人（障害者）のスポーツ実施率（週1回以上）の成果指標（目標値）は40%程度でしたが、本市は、この国が掲げる目標値を既に達成しています。また、障害者（若年層：7～19歳）のスポーツ実施率（週1回以上）の目標値である50%程度を既に達成しています。他方、成人（障害者）のスポーツ実施率（週3回以上）の目標値である20%程度はまだ達成していません。

図 14 障害者の週1回以上のスポーツ実施率

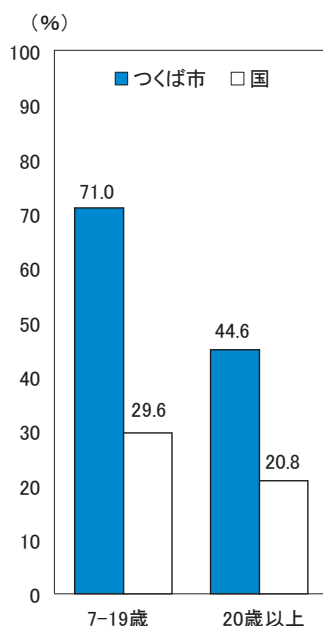
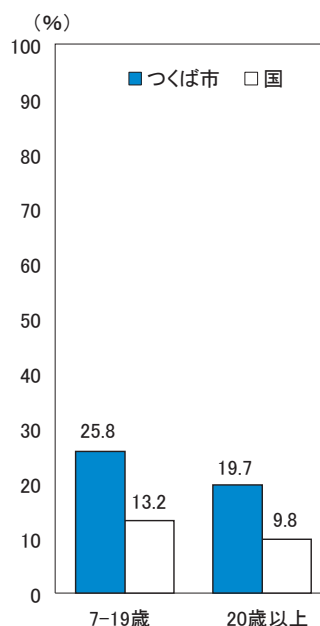


図 15 障害者の週3回以上のスポーツ実施率



出典：つくば市「障害者のスポーツ活動に関する調査」(2018)、
スポーツ庁委託調査「障害児・者のスポーツライフに関する調査」(2017)

2 障害者のスポーツの推進のための取組

障害児スポーツ教室

本市では、障害児の体力増強・交流・余暇の充実等を図るため、また、集団行動により社会生活の基盤を築き、自立と社会参加の促進を図ることを目的として、障害スポーツ専門のインストラクターによる障害児のためのスポーツ教室を開催しています。平成 29 (2017) 年度は、6月から翌年3月までに全10回(月1回)開催し、小学校1年生から6年生まで、合計20名、延べ145名の参加者に対して、的あてゲームなど集団で行う運動プログラムを提供しました。(表8参照)

表 8 障害児スポーツ教室の実施状況の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加者数	14	21	20	19	20
延べ参加者数	100	138	123	152	145

おひさまサンサン生き生きまつり

おひさまサンサン生き生きまつり事業は、平成 13 (2001) 年度に障害者のスポーツ大会と福祉のまちフェスティバルを統合して開催し、平成 18 (2006) 年度からは、高齢者いきいきまつ

りと合同開催し、障害者(児)・高齢者及び一般市民合わせて例年2,000人の参加者がボランティア・市民等の協力を得ながらスポーツやレクリエーション等に参加し、市民の障害に対する理解、普及啓発及び社会参加の促進を目的として実施しています。

平成29(2017)年度は、障害者関係651名、高齢者関係749名の参加があり、障害者(児)、高齢者、市民、児童及びボランティア等が協力して、スポーツやレクリエーション活動を行いました。また、作品の展示・販売等の事業を行いました。実施された競技としては、ボール運び、パン食い競争、大玉送り、玉入れ、宝探し、チャレンジコーナーとして、ストラックアウト、ターゲットバードゴルフ、キックターゲット、ハンドアーチェリー、輪投げなどが行われました。また、よさこいソーラン、チアリーディング、ラートなどのステージも行われました。

みんなでDO! スポーツ

つくば市社会福祉協議会は、市内の知的障害者を対象としたスポーツ交流会として「みんなでDO! スポーツ」を毎年開催し、スポーツを通して地域との交流や仲間づくりを推進しています。毎月1回つくば市大穂体育館を中心に活動を行っており、筑波大学学生団体「スポーティア」がボランティアとして活動をサポートしています。(表S-36(p.138)参照)

体験乗馬療法事業

体験乗馬療法事業は、地域生活支援事業における社会参加支援として行われているもので、乗馬を通して動物とふれあう心を養い、障害児と健常児の交流を図り、市民の障害に対する理解、障害者の社会参加の促進を目的として実施されています。また、「まつりつくば」と同時実施し、「ふれあい広場」(中央公園)で実施されています。平成29(2017)年度は、障害者(児)59名を含む409名の参加がありました。

スポーツフェスティバルにおける障害者のスポーツの機会の提供

本市では、つくばスポーツフェスティバルのときに、ハンドアーチェリー、ブラインドサッカー、車いすバスケ、ボッチャなどのブースを設けて、障害者がスポーツを体験する機会を提供しています。しかしながら、本市における障害者のスポーツ推進のための取組はまだ十分とは言えず、障害者のためのスポーツ教室やイベントの開催、指導者の養成、関連する組織間の連携体制の強化などを通して、さらに推進を図る必要があります。

「障害者スポーツイベント通信」によるメール配信サービス

茨城県内で催される障害者スポーツイベントの情報をメールで配信するサービスを登録者に対して行っています。茨城県主催のスポーツ教室、ゆうあいスポーツ大会、身体障害者スポーツ大会、本市主催の体験乗馬療法、おひさまサンサン生き生きまつり、障害児スポーツ教室などの情報を配信しています。

3 つくば市「障害者のスポーツ活動に関する調査」の結果

本市では、障害者のスポーツの推進の検討に資する基礎資料を収集し、障害者のスポーツ活動の実態を調査し、ニーズを把握するために、つくば市スポーツ活動調査の一環として、平成30（2018）年1月から2月に「障害者のスポーツ活動に関する調査」を実施しました。（資料6（p.100）参照）

障害者が1年間に実施した運動・スポーツ・身体的なレクリエーションの状況

本市の障害者がこの1年間に実施した運動・スポーツまたは身体的なレクリエーションは、散歩（ぶらぶら歩き）が41.6%、体操（軽い体操、ラジオ体操など）が30.7%、ウォーキングが23.8%、リハビリテーションの一環として行っている運動（ストレッチや筋力維持）が12.2%、水泳が11.6%の順となっています。一方、この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションを行わなかった人が18.6%となっています。（表S-37（p.138）参照）

さらに、障害者の1年間に実施した運動・スポーツまたは身体的なレクリエーションの実施状況を、障害者手帳別に見てみると、上位10位までの結果は、表S-37（p.138）の通りとなっています。障害の種別及び等級や障害の状態によって、障害者の運動・スポーツの行動は異なると考えられ、きめの細かい対応を今後とも検討する必要があります。例えば、散歩、体操、ウォーキング、ジョギング、水泳などで高い値を示しており、障害者がスポーツを行う施設や環境をこれらの結果を踏まえてさらに検討し、整備・充実を図る必要があります。（図16参照）

1年間でスポーツ・身体的なレクリエーションを行った日数

1年間でスポーツや身体的なレクリエーションを行った日数は、表S-38（p.139）のとおりとなっています。週1日以上スポーツを実施した人の割合は、障害者全体では46.8%となっています。年齢別にみると、7歳から19歳は71%、20歳以上は44.6%となっています。身体障害者手帳保持者では45.4%、療育手帳所持者では57.8%、精神障害者保健福祉手帳保持者では43.6%となっています。障害の種別によってスポーツの実施日数も異なるといえます。

スポーツや身体的なレクリエーションを行う主な理由

スポーツや身体的なレクリエーションを行う主な理由としては、障害者全体では、「健康維持・増進のため」が29.4%で最も多く、次いで、「リハビリテーションの一環として」が15.5%、「気分転換・ストレス解消のため」が12.7%、「楽しみのため」が8.6%となっています。障害の種別によりスポーツや身体的なレクリエーションを行う理由も異なっています。例えば、療育手帳所持者C判定では、「楽しみのため」が33.3%、「友人や家族との交流のため」が16.7%、「健康維持・増進のため」が16.7%となっています。（表9参照）

図 16 障害者が1年間に実施した運動・スポーツ・身体的なレクリエーション

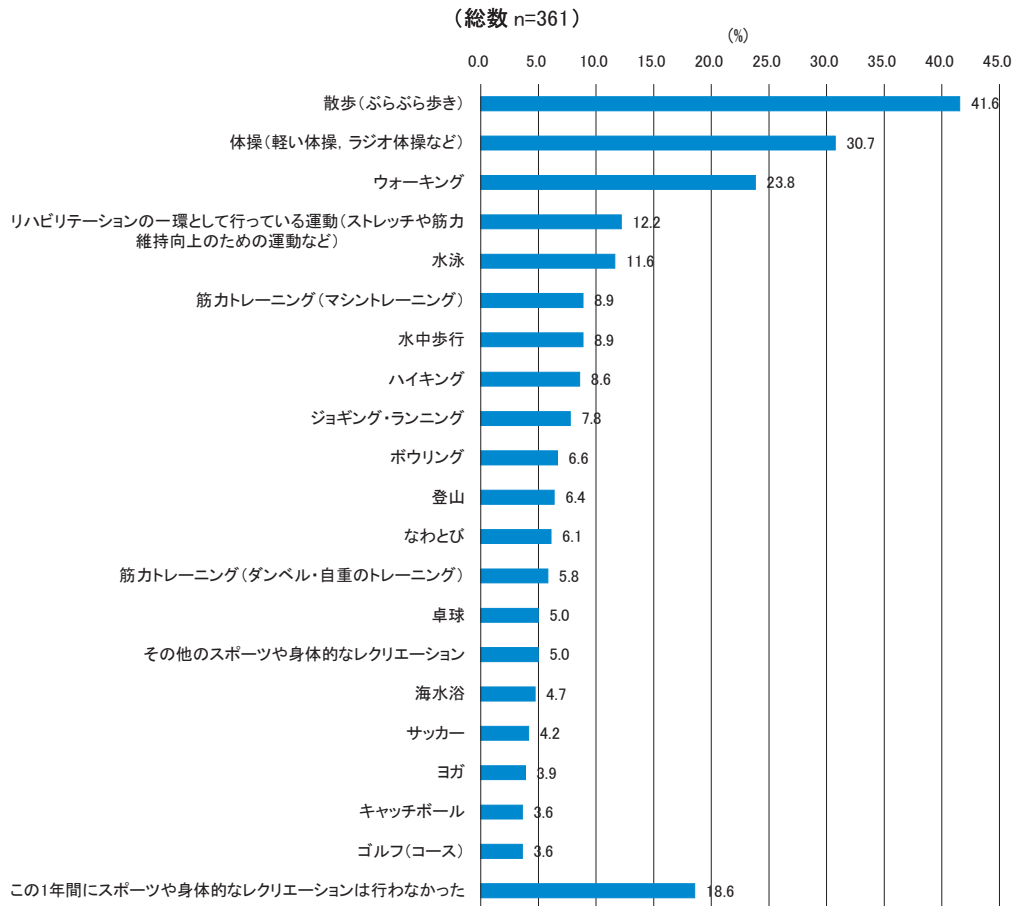


表 9 スポーツや身体的なレクリエーションを行う主な理由

単位：%

	該当数	健康維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他	無回答
総数	361	29.4	12.7	8.6	2.2	0.0	4.2	15.5	1.1	3.0	23.3
身体障害者手帳所持者	280	29.3	10.7	8.9	2.1	0.0	3.2	18.2	1.1	2.9	23.6
視覚障害	9	55.6	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
聴覚障害・平衡機能障害	25	28.0	20.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	32.0
音声・言語・そしゃく機能障害	5	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
肢体不自由(上肢)	53	24.5	3.8	15.1	1.9	0.0	0.0	30.2	0.0	3.8	20.8
肢体不自由(下肢)	105	26.7	3.8	9.5	1.0	0.0	4.8	29.5	0.0	2.9	21.9
肢体不自由(体幹)	29	13.8	3.4	20.7	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	0.0	31.0
内部障害	89	32.6	15.7	7.9	2.2	0.0	3.4	10.1	1.1	3.4	23.6
療育手帳所持者	64	29.7	10.9	15.6	4.7	0.0	1.6	14.1	1.6	3.1	18.8
①判定	25	32.0	8.0	16.0	0.0	0.0	0.0	32.0	0.0	0.0	12.0
A判定	19	42.1	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	10.5	15.8
B判定	8	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
C判定	12	16.7	8.3	33.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	55	21.8	21.8	3.6	1.8	0.0	10.9	12.7	1.8	7.3	18.2
1級	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0	11.1	33.3
2級	26	26.9	26.9	0.0	0.0	0.0	11.5	11.5	3.8	7.7	11.5
3級	20	25.0	25.0	10.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.0	20.0

今よりもスポーツや身体的なレクリエーションを行いたいか

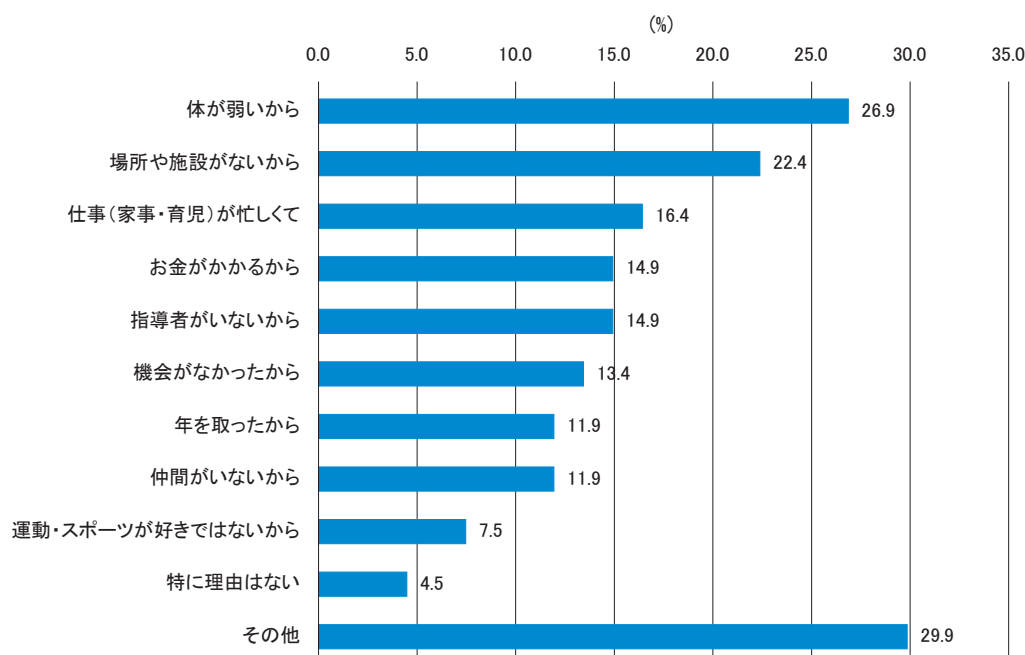
今よりもスポーツや身体的なレクリエーションを行いたいかという質問に対して、障害者全体の46.0%が「はい」と回答しています。(図S-26 (p.140) 参照)

スポーツや身体的なレクリエーションをしなかった理由

1年間にスポーツや身体的なレクリエーションをしなかった理由としては、「体が弱いから」が26.9%、「場所や施設がないから」が22.4%、「仕事(家事・育児)が忙しくて」が16.4%、「お金がかかるから」が14.9%、「指導者がいないから」が14.9%の順となっています。「その他」の理由の記述として、「障害があるのでどんな運動が可能かわからない」、「病気」、「移動が困難」、「寝たきりになってしまった」、「越して来て、日が浅く、市の様子がわからない」などがあります。(図17 参照)

図17 この1年間に、スポーツや身体的なレクリエーションをしなかった理由

(スポーツやレクリエーションをしなかった方 n=67)



スポーツや身体的なレクリエーションを行っている場所

スポーツや身体的なレクリエーションを行っている場所としては、「その他の施設」が24.4%、「公共スポーツ施設」の「プール(屋内)」が10.8%、「特別支援学校」の「体育館」が7.5%、「民間スポーツ施設」の「トレーニング室」が6.1%となっています。「その他施設」として、「自宅」、「自宅周辺や周辺の道路」、「公園」、「交流センター」、「病院」などがあります。(図18 参照)

図18 スポーツや身体的なレクリエーションを行っている場所

(総数 n=361)

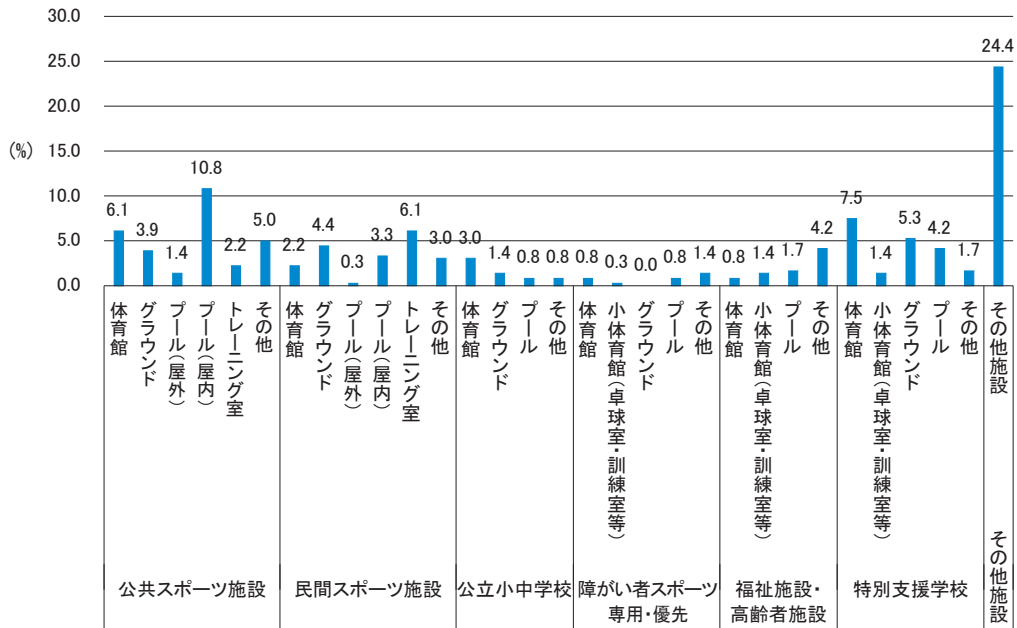
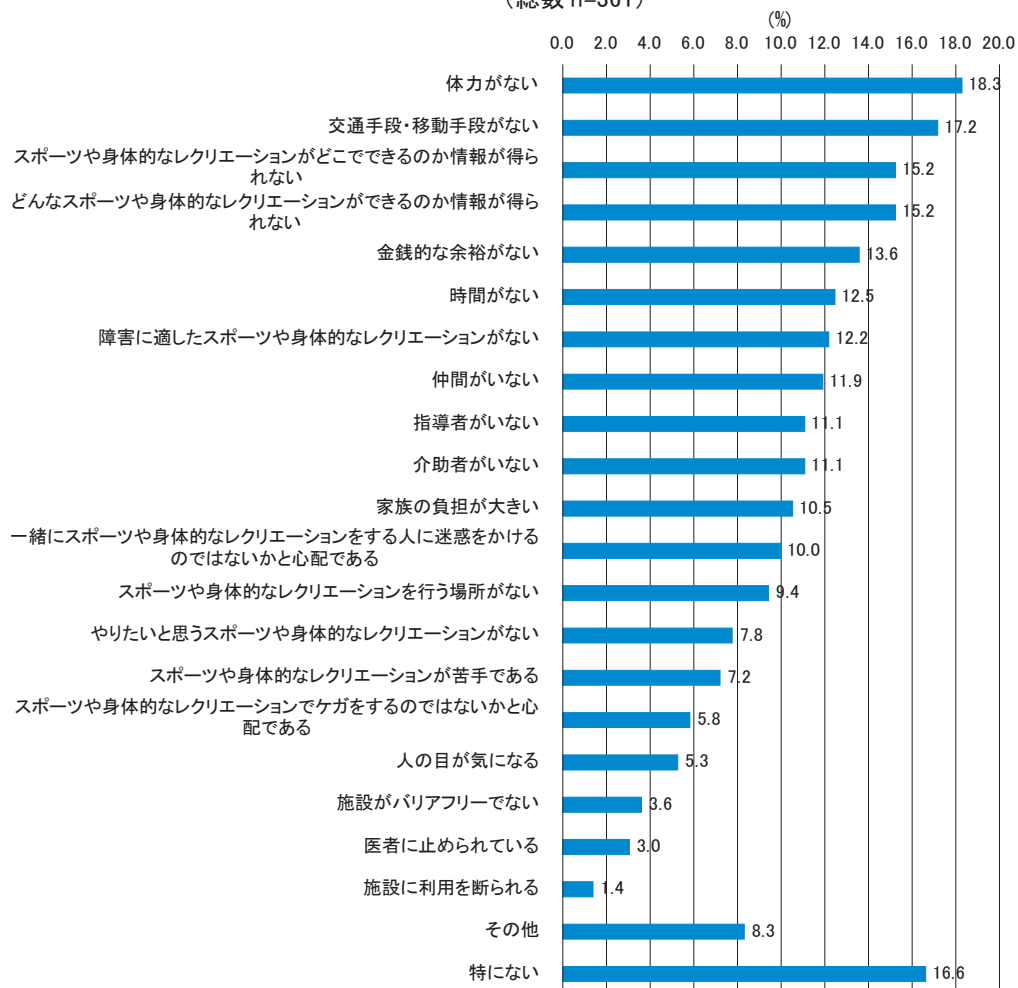


図19 スポーツや身体的なレクリエーションの実施における障壁

(総数 n=361)



スポーツや身体的なレクリエーションの実施における障壁

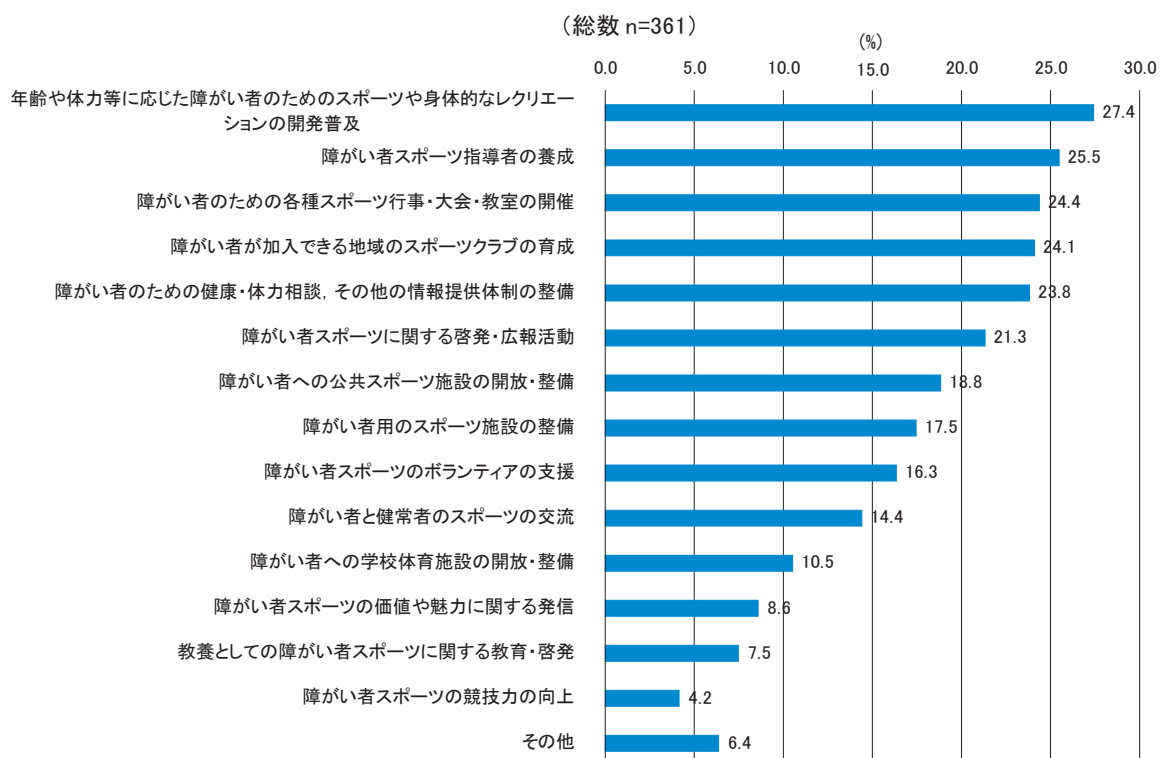
スポーツや身体的なレクリエーションの実施において障壁となっているものとしては、「体力がないから」が18.3%、「交通手段・移動手段がないから」が17.2%、「スポーツや身体的なレクリエーションがどこまでできるか情報が得られないから」が15.2%、「どんなスポーツや身体的なレクリエーションができるのか情報が得られないから」が15.2%の順となっています。（図19参照）

障害者のスポーツの推進のために本市が今後力を入れるべきこと

本市のスポーツ推進計画及び関連する施策において、障害者のスポーツに関する取組が今後さらに推進されることを望むかについて質問したところ、「大いに望む」が23%、「望む」が46.3%であり、本市における障害者のスポーツの推進を望んでいる人の割合は高いといえます。

障害者のスポーツの推進のために、本市が今後力を入れるべきこととしては、「年齢や体力等に応じた障害者のためのスポーツや身体的なレクリエーションの開発普及」が27.4%、「障害者スポーツ指導者の養成」が25.5%、「障害者のための各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が24.4%、「障害者が加入できる地域のスポーツクラブの育成」が24.1%となっています。（図20参照）

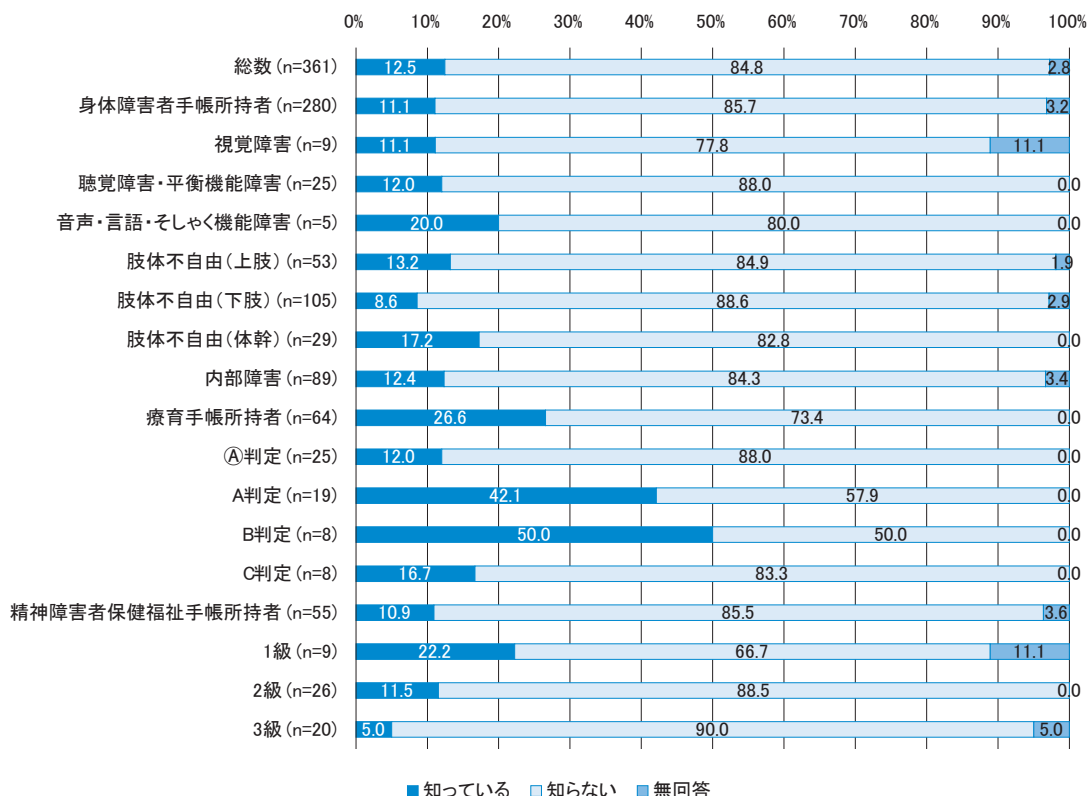
図20 障害者スポーツの推進のために本市は今後どのようなことに力を入れるべきか（複数回答）



本市が行っている障害者のスポーツのための取り組みの認知度

つくば市スポーツ活動調査では、特に障害者のスポーツ活動に関する調査結果において、本市が行っている障害者スポーツの取り組みを知っているか質問したところ、「知っている」が12.5%であるのに対して、「知らない」が84.8%と極めて高く、本市の障害者スポーツの取組に関する認知度が非常に低い結果が示されました。このため、本市では、障害者のスポーツの推進に関する施策・取組の認知度を高める必要性が認められます。(図21参照)

図21 本市が行っている障害者スポーツの取組に関する認知度



本市のスポーツ活動や身体的なレクリエーションの取り組みへの満足度

ふだんの生活の中で、つくば市のスポーツ活動や身体的なレクリエーションの取組について、どの程度満足しているか質問したところ、「満足」が3.3%、「どちらかといえば満足」が8.3%、「どちらかといえば不満」が6.9%、「不満」が6.1%となっています。また、「分からない」が71.2%となっています。障害者が行うスポーツの環境について、全ての年齢層及び地区で「わからない」と回答した割合が高い結果となっていることから、障害者のスポーツを身近な関心事とするための普及啓発や積極的な取組がさらに必要であるといえます。(表10参照)

表 10 本市のスポーツ活動や身体的なレクリエーションの取り組みへの満足度

単位：%

	該当数	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない	無回答
総数	361	3.3	8.3	6.9	6.1	71.2	4.2
身体障害者手帳所持	280	3.2	7.9	5.7	6.1	73.2	3.9
視覚障害	9	0.0	0.0	0.0	22.2	66.7	11.1
聴覚障害・平衡機能障害	25	4.0	8.0	8.0	0.0	76.0	4.0
音声・言語・そしゃく機能障害	5	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0
肢体不自由（上肢）	53	0.0	7.5	7.5	7.5	75.5	1.9
肢体不自由（下肢）	105	1.9	8.6	7.6	9.5	69.5	2.9
肢体不自由（体幹）	29	3.4	13.8	10.3	20.7	51.7	0.0
内部障害	89	3.4	4.5	2.2	4.5	80.9	4.5
療育手帳所持者	64	4.7	10.9	17.2	4.7	60.9	1.6
④判定	25	4.0	4.0	16.0	8.0	68.0	0.0
A判定	19	5.3	10.5	15.8	5.3	57.9	5.3
B判定	8	12.5	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0
C判定	12	0.0	16.7	25.0	0.0	58.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	55	3.6	9.1	5.5	7.3	69.1	5.5
1級	9	0.0	11.1	11.1	0.0	66.7	11.1
2級	26	7.7	11.5	7.7	7.7	57.7	7.7
3級	20	0.0	5.0	0.0	10.0	85.0	0.0

4 障害者のスポーツの推進の課題

障害者のスポーツ実施率は、本市では、国の値より高く、スポーツや身体的なレクリエーションを行いたいと望む障害者の割合も多くなっています。しかしながら、本市の障害者のスポーツの推進のための施策は、まだ十分とは言えず、実際に本市が行っている障害者のスポーツの推進に関する取組について、障害者の多くが知らない実態があります。また、本市の障害者のスポーツの推進に関する満足度も低く、かつ「分からない」と回答した障害者も多いといえます。障害者のスポーツ活動の障壁として、情報がなくとも大きな理由となっていると考えられます。このような実態を踏まえると、本市の障害者のスポーツの推進の方策を今後十分に検討し、実際に障害者が本市の取組についてより詳細な情報を取得できるように工夫し、認知度が向上するようにする必要があります。

このような課題を認識し、本計画においては、新たに数値目標として市民の50%が障害者のスポーツに関する取組を知っており、障害者のスポーツの推進に関する本市の取組に関する認知度が高まることを目標として設定しました。

障害者のスポーツ活動の実施場所としては、「自宅」、「自宅周辺や周辺の道路」、「公園」、「交流センター」などが多く、次いで、公共スポーツ施設、プール、特別支援学校などとなっていることから、まずはこれらの施設への障害者のアクセスやユニバーサルデザイン化をすすめ、気軽にできる散歩、ウォーキング、体操などができる環境の整備から充実を図る必要があります。

また、特別支援学校との連携や茨城県その他の関係団体、ボランティア団体と連携して、障害者のスポーツの推進をさらに充実させる必要があります。

本市には障害者スポーツの団体や組織を統括する組織がなく、障害者スポーツの組織連携を支援していくことが必要となっています。スポーツイベントや大会の開催、障害者のためのスポーツ指導者の養成など、障害者スポーツに関係する団体等が取り組む自主的・主体的な活動を本市としても支援するよう検討する必要があります。

第6節 高齢者のスポーツの現状と課題

1 いばらきねんりんスポーツつくば市大会

茨城県健康福祉祭の一環として、いばらきねんりんスポーツつくば市大会が実施されています。市北部及び南部予選（グラウンド・ゴルフ）を行い、その後つくば市大会を開催しています。実施種目としては、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げなどがあります。この大会は、本市が主催し、事務局としてつくば市社会福祉協議会が実施しています。また、つくば市シルバークラブ連合会の共催、つくば市ゲートボール連合会、つくば市グラウンド・ゴルフ連絡協議会の後援によって実施されています。平成29年度の参加者数は、予選会も含めて567名でした。平成30（2018）年度では、グラウンド・ゴルフ414名、ペタンク10チーム・33名、輪投げ25チーム・117名、ゲートボール5チーム・28名の参加がありました。（表S-39（p.140）参照）

2 高齢者いきいき健康アップ事業

高齢者が住み慣れた地域で、健康で自立した生活ができることを目指して、高齢者いきいき健康アップ事業を実施しています。この事業は、高齢者が活動量計（高機能万歩計）を身につけて、運動した活動のデータを市内に設置する読み取り機器により確認し、健康づくりと介護予防に役立てるものです。平成25（2013）年度から試験的に行い、平成26（2014）年度から本格的に実施しています。具体的には、活動量計（高機能万歩計）を提供し、データトラッキングによって歩数データ等を見える化することで、ウォーキング等の運動習慣を促進する取り組みを行っています。また、歩数データや体力測定等のデータから効果を検証・評価しています。平成29（2017）年度の参加者数は404名でした。（表S-40（p.140）参照）

3 シルバークラブによるスポーツ活動の課題

高齢者が自身の住み慣れた地域で仲間たちと共に健康でいきいきと活動するために、各地区にシルバークラブが自主組織され、つくば市シルバークラブ連合会を構成しています。本市は、このつくば市シルバークラブ連合会及び各シルバークラブの活動に対して補助金を交付し、ス

ポーツ活動を支援しています。各単位シルバークラブでは、グラウンド・ゴルフ、ペタンクなどのスポーツ活動が行われています。シルバークラブ連合会は、ねんりんスポーツ大会やおひさまサンサン生き生きまつりへ参加しています。また、シルバークラブ連合会では、高齢者ニュースポーツ普及交流大会を開催しグラウンド・ゴルフ等のニュースポーツの普及を図りながら、高齢者の健康増進と交流拡大を図っています。単位シルバークラブは、平成20(2009)年度ではクラブ数189、会員数9,292名でしたが、平成24(2013)年度ではクラブ数164、会員数8,043名に減少し、さらに平成29(2017)年度ではクラブ数139、会員数6,766名に減少してきていることが課題として指摘できます。(表S-41(p.140)参照)

4 いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の実施

中・高齢者が自立した生活を営むことができるように、運動習慣を身につけ、生活機能の維持・向上を図るために、40歳以上を対象とした「いきいき運動教室」と75歳以上を対象とした「元気はつらつ運動教室」を開催し、いきいきプラザを会場として転倒防止・筋力の保持を目的とした運動を行い、運動指導、健康相談、栄養相談を行っています。(参加者数の推移については、本章第10節(p.60)参照)

第7節 女性のスポーツの現状と課題

1 本市の女性の運動・スポーツの実施率の状況

つくば市スポーツ活動調査では、本市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は女性が51.7%であるのに対して男性が59.8%、成人の年1回以上のスポーツ実施率は女性が81.9%であるのに対して男性90.3%、成人の週3回以上のスポーツ実施率は女性が22.9%であるのに対して男性が28.6%と、全てのスポーツ実施率で女性の実施率が低い状況があります。また、成人の未実施者の割合も、男性が7.2%であるのに対して女性が11.8%と、女性の方が運動・スポーツを行わない傾向にあります。

子どもの運動・スポーツの実施状況について、ほとんど毎日(週に3日以上)運動やスポーツを実施している子どもの割合は、小学校5年の男子が45.8%であるのに対して女子が30.2%、中学校2年の男子が80.0%であるのに対して女子が55.7%となっており、女子の実施率が低くなっています。週に1日以上実施している子どもの割合は、小学校5年の男子が82.6%であるのに対して女子が77.8%、中学校2年の男子が86.0%であるのに対して女子が69.7%となっています。運動やスポーツを週1日以上実施している子どもの割合は、小学校でも中学校でも男子よりも女子の実施率が低くなっています。一方で、運動やスポーツを全くしない人も存在しており、小学校5年男子が4.2%、小学校5年女子が5.8%、中学校2年男子が6.8%、中学校2年女子が12.7%となっています。また、1週間に運動やスポーツを実施する時

間の合計が0分の割合は、小学校5年の男子が5.2%であるのに対して女子が3.6%、中学校2年の男子が6.8%であるのに対して女子が14.9%となっています。

これらの調査結果を総合すると、本市では男性に比べて女性のスポーツ活動の実施状況が全体的に低く、女性のスポーツ活動を促進することが課題となっています。

2 女性が行う運動・スポーツの活動状況

本市の女性が1年間に実施した運動・スポーツとしては、ウォーキング（53.6%）、体操（36.2%）、トレーニング（21.6%）、エアロビクス・ヨガ（18.9%）、自転車・サイクリング（15.0%）、ランニング（13.9%）、登山（8.7%）、卓球（8.7%）、バドミントン（8.4%）、ボウリング（7.9%）の順となっています。男性に比べて、エアロビクス・ヨガなどの女性に人気のある運動やスポーツもあることが指摘できます。

3 女性がスポーツをしない理由

つくば市スポーツ活動調査では、この1年間に運動やスポーツをしなかった理由として、最も多かったのは「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」が、47.3%となっています。さらに、この理由の割合は、女性だけだと53.4%と著しく高くなっています。特に30歳代の女性のスポーツ実施率が低いことの理由として、仕事・家事・育児が忙しいことがあげられます。女性の場合には、次いで、「機会がなかったから」が30.1%と高くなっており、女性が運動やスポーツを行わない理由は女性を取り巻く環境に主な原因があると考えられます。

4 女性のためのスポーツ推進の取組に対する課題

本市では、地域交流センターにおいてヨガ、体操、ダンスなど人気の高い教室等を一部で実施していますが、その他で女性に限定したスポーツの推進のための取組は十分ではなく、今後、健康やダイエットなどのために自宅や周辺で気軽に女性が運動やスポーツをできる機会の提供や、勤労者や家事・育児に忙しい方に対して、運動やスポーツを行うことができる取組を充実させる必要があります。

また、今後、本市においてスポーツ実施率全体の数値目標を達成するためには、家事・育児をしている人や勤労者が運動やスポーツをできる環境を整備することが重要な課題となっていると考えられます。

第8節 スポーツイベントの現状と課題

1 つくば市主催のスポーツ大会の状況

本市が主催する平成29（2017）年度のスポーツ大会としては、つくばマラソン、つくば健康

マラソン大会（ファミリーからシニアまで計12種目）、つくば学園ウォークラリー大会（指定のコースをグループで問題を解きながら歩く）、つくば陸上競技選手権大会、つくば市長杯サッカー大会があります。（表11参照）

表11 平成29年度のつくば市主催スポーツ大会

大会名	内容	対象	開催日	参加者数	場所
つくば学園ウォークラリー大会	指定のコースをグループで問題を解きながら歩く	オープン参加	5月14日(日)	78組257名	筑波学院大学
つくば陸上競技選手権大会	小学生、中学生、高校生、一般が参加する陸上競技大会	小学生以上	11月12日(日)	2,695名	筑波大学
つくばマラソン	フルマラソン、10kmの部	高校生以上の健康な方	11月26日(日)	15,058名	筑波大学発着の日本陸連公認コース
つくば健康マラソン大会	ファミリーからシニアまでの計12種目 ファミリー・小学3～4年生：2km、小学5～6年生：3km、中学生以上5km	小学生以上	2月3日(土)	1,526名	研究学園駅前公園
つくば市長杯(U-15)サッカー大会	4ブロックによる予選トーナメント。各ブロック1位による決勝トーナメント。	市内中学校	8月11日(金) 8月12日(土) 8月25日(金)	16チーム	セキショウチャレンジスタジアム
つくば市長杯(U-18)サッカー大会	総当たり方式	市内高等学校・クラブチーム	8月8日(火) 8月9日(水) 8月10日(木)	6チーム	Tフィールド(筑波学院大学) 竹園高校 セキショウチャレンジスタジアム

つくばマラソンの開催

特に、つくばマラソンは、本市最大のスポーツイベントとして定着してきています。平成29(2017)年度は、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、フルマラソン15,000人、10kmの部3,500人の募集定員で実施しました。市内在住・在勤・在学者に対しては、先行エントリーが認められており、気軽に大会に参加することができます。また、「ふるさと納税枠エントリー」などの手続きも初めて実施しました。また、平成29(2017)年度につくばマラソンの参加申込数は18,052人、ボランティア数は1,049人であり、平成25(2013)年度に比べて増加しています。さらに、「マラソンを科学する」を大会テーマとした取組(ランニングフォーム・応援を科学する等)、チャリティの実施(義援金の供出)、環境活動の推進(筑波山の間伐事業費の供出、水素自動車の導入等)、つくばマラソン祭り(前日イベント)の実施なども行っています。平成32(2020)年度の大会から日本陸連のコース公認が切れることから、コース変更や主会場の変更などを検討する必要があります。また、スポーツ大会の参加者の増加や規模の拡大に対応して、安心・安全に大会を行うことが課題となっています。(表12参照)

表 12 つくばマラソンの参加申込数及びボランティア数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加申込数	16,429	16,150	18,245	18,175	18,052
ボランティア数	840	763	842	943	1,049

つくば健康マラソン大会の開催

つくば健康マラソン大会は、つくば市研究学園駅前公園を主会場に、小学生から高齢者まで気軽に参加できる、生涯スポーツとしてのランニングと健康促進を図ることを目的としたマラソン大会です。平成 30 (2018) 年 2 月の大会では、ファミリーの部から 40 歳以上の部まで計 12 種目、1,526 名の参加がありました。多くのランナーが登録しているランニングポータルサイトからエントリーができることや、大会前にランニングクリニックを開催し、ランニングを学ぶ機会を提供しています。(表 S-42 (p. 141) 参照)

つくば学園ウォークラリー大会の開催

つくば学園ウォークラリー大会は、主会場を中心にコマ図に従い設問を解きながらコースを読み解き、あらかじめ設定された時間でのゴールを目指して歩く大会です。毎年会場を変更しコースを設定しています。(表 S-43 (p. 141) 参照)

つくばリレーカーニバル

つくばリレーカーニバルは、研究学園駅前公園周辺の周回コースを 2 名以上のチームで 42.195km リレーの部、10km リレーの部などのカテゴリーに分かれて、リレー形式で競技するものです。平成 29 (2017) 年度の参加者数は 1,215 人 178 組あり、年々増加しています。(表 S-44 (p. 141) 参照)

以上のように本市では、マラソン、ウォーキングなどの大会が開催されていますが、市長公約である「ランナーに愛されるまち」の実現を目指し、ランニングに関するイベントや大会をさらに推進していくことが課題となっています。

2 つくば市体育協会のスポーツ行事

つくば市体育協会の専門部会、スポーツ振興会及びスポーツ少年団の平成 30 (2018) 年度のスポーツ行事としては、以下のものがあります。(表 13、表 14 及び表 15 参照)

表 13 平成 30 (2018) 年度のスポーツ専門部会のスポーツ行事

種 目	行 事 名 ()内は実施予定期日および参加対象
軟式野球	春季大会(4/1～登録チーム) 連盟杯大会(5/3～市内中学生、6/24～市内・近隣代表社会人、10/21～少年) 秋季大会(9/2～登録チーム) 審判講習会(H31,3/3審判部、3/31春季大会参加チーム)
ソフトボール	連盟杯大会(5/13～登録チーム) 市民大会(9/30～登録チーム) 市内大会(11/4～登録チーム) 女子大会(10/21登録チーム他、6/10ひまわり杯) 審判講習会(4/21登録チーム3名以上)
バレーボール	社会人部：6人制大会(春季 5/27、つくばオープン男子7/1、市民 9/9登録チーム、近隣男子 10/14、秋季 11/25登録チーム) 6人制混合大会(春季 6/3登録チーム) 女子部：市民(6/24 市内チーム) 女子オープン(11/11 登録チーム) 近隣(2/3・17) 他、地区大会 審判講習会(4/22) ソフトバレーボール大会(5/27)、ビーチボールバレー大会(9/30) 近隣マスターズ大会(10/28)
バドミントン	クラブ対抗団体戦2回(5/20・11/18登録クラブ・登録者) 市民大会(7/8市内社会人) 初心者親睦大会(9/16) つくばオープン(10/14市内外愛好者) 師走大会(12/3登録者) 新春大会(1/20登録者) ミックス大会(2/24 登録者)シニア大会(6/17)
ソフトテニス	つくばオープン(6/3 高校生以上) 市民大会(10/21高校生以上、市在住在勤の社会人) つくばオープンシニア大会(3/17)
テニス	シングルス大会(4/7・8 予備4/14・15市在住在勤の社会人) 体協テニス部大会(6/9・10ダブルス 登録者) 秋季市民大会(9/29・30予備10/6・7ダブルス 登録者) ミックスダブルス大会(11/10・11)
剣道	市民大会(6/10) 少年大会運営協力(市長杯 10/8、錬成 12/2)
スキー	市民スキーツアー(2月 市民、小中学生は保護者同伴) 講習会(年4回 登録者)
バスケットボール	市民大会(6/10～登録チーム) 市民リーグ(9/9～日曜日 登録チーム) 市選手権(2/10～登録チーム) 審判講習会(1/27)
卓球	春季大会(5/13団体戦) 市民大会(6/10個人戦) 秋季大会(9/30個人戦) 冬季大会(1/27個人戦) ラージボール卓球(11/25)
空手道	つくば市大会(9/17体協・スポ少登録者・他)
陸上競技	つくば選手権(11/11) つくば健康マラソン協力(2/2予定)
パワーリフティング	近隣大会(4/29登録者・近隣愛好者) ベンチプレス大会(9/30 登録者) 全日本選手権大会(6/16・17)
ゲートボール	第1回大会(5/12) 第2回大会(7/14) 第3回大会(9/8) 第4回大会(11/10)
ゴルフ	地区対抗(4/20 1チーム8名～15名 市民登録者 つくばねカントリークラブ) 市民大会(8/2 筑波東急ゴルフクラブ) 市アマチュアオープン大会(11/8市民 豊里ゴルフクラブ)
ハンドボール	市総合大会(H31 1/12 大人から子供まで、トッププレーヤーから初心者まで) 学園オープン(6/23)
フォークダンス	フォークダンス大会(未定) スポーツダンス大会(未定)
サッカー	サッカーリーグ戦(4/7～) シニアサッカーリーグ戦(4/1～)
グラウンドゴルフ	新緑大会(5/23登録者) 市民大会(9/19 登録者) 冬季大会(11/21登録者) 新春大会(2/20登録者)
アーチェリー	各種大会出場

表 14 平成 30 (2018) 年度の振興会のスポーツ行事

支 部 名	行 事 名 ()内は実施予定期日ほか
大 穂	グラウンドゴルフ大会(6/3・12/1) ハイキング(10/14) 文化祭遊びの広場(11/3市文化祭時) 歩け歩け大会(2/16)
豊 里	グラウンドゴルフ大会(5/19 川口公園) ソフトボール大会(8/5) ソフトバレーボール大会(6/17・10/14) グラウンドゴルフ大会(11/3 川口公園)
谷田部	グラウンドゴルフ大会(2/10谷田部支部5地区選抜) [地区別行事 谷田部(グラウンドゴルフ 6/24・11/11 運動会10/14) 真瀬(ソフトミニバレー 6/10・12/16、グラウンドゴルフ 7/8・11/4、運動会 9/30、スポーツ交流会 1/20) 島名(グラウンドゴルフ 7/1、歩く会9/30、ゴルフ 10/25、スポーツ交流会 1/20) 葛城(グラウンドゴルフ 10/7・3/17) 小野川(グラウンドゴルフ 7/15、運動会 10/7、ファミリーソフトボール 10/28～、ペタンク 5/13)]
桜	グラウンドゴルフ大会(10/28)健康ハイキング(10/14) [地区別行事 栗原(歩く会 1/1 栗原小～の矢神社往復、3/17グラウンドゴルフ大会) 桜南(歩く会・レクリエーション大会 10/ 桜南小～洞峰公園、スポ少交流会 12/) 竹園(スポーツ大会10/27) 梅園(梅園地区 運動会 10/21) 九重(スポーツフェスティバル) 栄(ハイキング6/ ハイキング 3/ ボーリング大会12/)]
筑 波	ハイキング(6/2) ファミリーサイクリング大会(7/7) マラソンソフトボール大会(10/20) グラウンドゴルフ大会(9/22、2/16) 筑波山ハイキング(11/10) 歩く会(3/16) 初心者テニス教室(11/4～全5回 日曜日)
荃 崎	グラウンドゴルフ大会(5/23) 親善混合ソフトボール大会(9/8) ファミリーウォーキング(10/28) ファミリー球技大会(11/4)

表 15 平成 30 (2018) 年度のスポーツ少年団のスポーツ行事

種 目	単位団数	主 な 行 事 ・ 活 動
軟式野球	15単位団	市本部長杯大会(4/29～) 市長杯大会(8/4～) 他に地区大会を実施
剣 道	14単位団	市長杯大会(10/7) 錬成大会(12/2) 交流会(11/23)
サッカー	25単位団	市長杯大会(9/9～) 低学年大会(6/24・7/1) フットサル大会(12/16) 近隣大会(3/10～)
ミニバスケット ボール	18単位団	市長杯大会(5/3・4) 男女サマーゲーム(7/28・29 8/4・5) ウインターゲーム(12/8・9) 新人戦(1/5・6) 審判講習会(4/22 7/1)
空 手 道	4単位団	市大会(9/16) 他に団ごとに県・県南・近隣大会などに参加
ハンドボール	3単位団	県大会参加 市総合大会(1/12) 他、各種大会参加
柔 道	1単位団	単位団ごとに県大会などに参加
バレーボール	7単位団	単位団ごとに県大会などに参加
パドミントン	1単位団	市長杯大会(11/23 市内登録者の個人戦)
陸上競技	1単位団	市競技会、近隣市町村・県競技会に参加
少林寺拳法	1単位団	近隣市町村大会などに参加
飛込み	1単位団	近隣市町村大会などに参加
ゴルフ	1単位団	近隣市町村大会などに参加
新体操	1単位団	近隣市町村大会などに参加
ストリートダンス	1単位団	近隣市町村大会などに参加
スポーツ鬼ごっこ	2単位団	つくば市大会・近隣市町村大会などに参加

3 つくばウォークの日の開催

本市では、毎月第1日曜日をつくばウォークの日と定め、運動に親しむ機会をつくり、市民にウォーキングコースを紹介しています。また、約6kmから約10kmまでのコースが設定されており、一部のコースは茨城県ヘルスロードとしても認められています。平成29(2017)年度は14回、延べ1,509名のイベント参加者がありましたが、参加者数は減少傾向にあることが課題となっています。資格を持った約142名の運動普及推進員と協働してイベントを実施していますが、運動普及推進員が活動しやすい仕組みづくりの検討などが今後の課題となっています。(表S-45 (p.141) 参照)

4 つくば市によるスポーツイベントの後援

本市では、市以外の各種団体等が主催して行う市の推進する事業や政策に沿ったもののうち、文化芸術やスポーツ等の振興に寄与する行事に対して、「つくば市」の名義をもって後援しています。平成29(2017)年度は、32のスポーツ関連行事について後援名義の使用を承認しました。(表S-46 (p.142) 参照)

5 スポーツの日の実施及びつくばスポーツフェスティバルの開催

本市においては、これまでスポーツイベントは、スポーツ大会などの「する」スポーツ*のイベントが中心でしたが、市民がスポーツ文化を理解するためのフォーラム・講習会の開催や、すべての市民が参画し、お互い交流することができるスポーツフェスティバルやスポーツの日

の行事などを新たに検討することがスポーツ推進計画の課題となっていました。そこで、平成26（2014）年度より子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツフェスティバルを開催し、市民が集い交流する機会を提供しています。

つくばスポーツフェスティバルの平成29（2017）年度の参加者数は1,107人で、年々参加者数が増加傾向にあります。また、スポーツフェスティバルでは、つくばユナイテッドサンガイアによるソフトバレーボールコーナー、つくばFCによるサッカー体験ブース、ボルダリング体験コーナー、ラート体験コーナー、ハンドアーチェリー及びブラインドサッカーの障害者スポーツ体験ブースなどが設けられました。今後は、「スポーツの日」を本市として正式に制定するか、またスポーツの日において市民が交流しスポーツ文化を学ぶためのプログラムや行事をさらにどのように企画するかが課題といえます。（表S-47（p.142）参照）

6 つくば市レクリエーション協会の行事

平成29（2017）年度のつくば市レクリエーション協会の関連する行事や取組としては、茨城県レクリエーション協会50周年記念事業ニュースポーツ交流「輪投げ大会」、遊びの日「チャレンジ・ザ・ゲーム」二の宮（洗面器お手玉投げ、輪投げ、魚釣り、割りばしダーツ、ペットボトルボーリング、キャップ積み、ラダーゲッター、1分間豆つまみ、おはじきジャンケン）、第32回土浦市民ウオークラリー大会、放課後子ども教室、ニュースポーツ体験教室、放課後児童クラブ支援員研修、平成29年度わくわくニュースポーツ推進員養成講習会、JAバンク茨城年金友の会グラウンド・ゴルフ交流記念大会、健康保険組合連合会茨城連合会「健康ハイキング」、真瀬地区サロン輪投げ大会、つくばマラソンボランティア、若栗・若葉子ども会「卒業生を送る会」などがありました。

また、本市は、つくば市レクリエーション協会へ補助金を交付して活動を支援するとともに、本市のスポーツ事業に対して協力を得ています。

第9節 スポーツ指導者の現状と課題

1 スポーツ推進委員の現状

本市では、つくば市スポーツ推進委員規則に基づきスポーツ推進委員*が任命されています。平成29・30年度の本市のスポーツ推進委員は大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎の地区に分かれて合計70名が任命されています。平成29（2017）年度の活動実績としては、つくば市スポーツ推進委員協議会研修会の開催、市主催スポーツ関連事業（つくばマラソン、つくば学園ウオークラリー大会、つくば健康マラソン大会、スポーツフェスティバルなど）への協力、県南スポーツ推進委員協議会研修会等への参加などがあります。（表S-48（p.143）参照）

この他、スポーツ推進委員には、地域住民のニーズを踏まえたスポーツのコーディネート

役割が期待されていますが、現状では、スポーツの専門家として地域で活発に活動する委員から名誉職的な立場で活動に参画する委員まで、活動内容がさまざまであることが考えられます。また、拠点クラブや総合型地域スポーツクラブの創設・運営などへの参画はあまりみられない状況があります。地域のスポーツの推進におけるスポーツ推進委員の役割は非常に重要であることから、スポーツ推進委員の資格条件、任期、研修教育などを整備し、スポーツ推進委員の資質向上の取組が行われ、地域でスポーツを指導するだけでなく、関係者や関連団体を結び付け、地域のスポーツ活動の組織化に貢献することが期待されています。

2 スポーツ少年団の指導者

平成 19（2007）年度から平成 25（2013）年度までのつくば市のスポーツ少年団の指導者数の推移をみると、610 名から 545 名へと減少傾向にありましたが、平成 29（2017）年度には 618 名に増加しており、指導者数は回復してきています。

また、地域のスポーツの活性化と定着化を実現することができる高い資質と能力を備えた指導者の養成が必要となっているため、つくば市スポーツ少年団では、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき、スポーツ指導者をサポートする「スポーツリーダー」の養成を目的として、日本スポーツ協会日本スポーツ少年団、茨城県スポーツ少年団と共催でスポーツリーダー養成講習会を開催しています。この講習会は、スポーツ少年団認定員養成講習会を兼ねるものとなっています。

本市のスポーツ少年団認定員は、平成 25（2013）年では 215 名でしたが、平成 29（2017）年には 301 名となっています。また、認定育成員の資格を有する有資格指導者が 2 名となっています。

3 本市における日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の状況

スポーツ指導者の資格としては、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格が全国的な資格として認められており、本市における平成 25（2013）年の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者*の登録者数は 209 人でしたが、平成 29（2017）年には 307 人と増加しています。しかしながら、これらの公認スポーツ指導者がどのような活動をしているかは十分に把握されておらず、今後どのような連携ができるのか検討することが課題であるといえます。（表 S-49（p. 143）参照）

4 学校におけるスポーツ指導者の状況

学校においては、まず、各学校の部活動の顧問による指導が行われています。しかし、学校における体育・スポーツの指導は安全のために専門性が求められ、顧問教諭の指導法や運動部活動の在り方を検討する必要があります。これらの学校の運動部活動を巡る問題・課題については、外部指導員を導入したり、地域のスポーツクラブを活用するなど、多様な取り組みを検討する必要が生じています。

例えば、本市でも、平成24（2012）年度には、日本体育協会の委託事業としてスポーツ選手活用体力向上事業を実施し、小学校にトップ選手を派遣して、運動の実技指導や交流会が行われています。平成25（2013）年度には、国の委託事業である地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクトを本市と連携してつくばFCが国の委託を受け、人材をコーディネートし、小学校の体育授業に派遣することが行われています。

さらに、茨城県の中学校武道（柔道）授業における外部指導者の派遣支援事業を活用して、平成24（2012）年度には体育授業（柔道）に茨城県柔道連盟と県警の連携による人材バンクから外部指導者の派遣を受けています。

茨城県体育授業サポーター派遣事業

茨城県体育授業サポーター派遣事業があり、平成29（2017）年度には栗原小学校と竹園東小学校で活用されました。

茨城県体育授業アドバイザー派遣事業

学校の教員のために体育・スポーツに関して体育授業のアドバイザーを派遣する事業があり、平成29（2017）年度には二の宮小学校と谷田部東中学校で活用されました。

学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施

茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が開催され、各校1名が参加しています。平成29（2017）年度では、51名が研修会に参加しました。

また、市総研の保健体育科研修講座に各校1名以上が参加して研修を行っています。

5 運動普及推進員の状況

本市は、運動普及推進員*の養成・資格・講座・委嘱を行い、地域での運動のきっかけづくり、地区組織活動の推進を図っています。特に、運動普及推進員は、「つくばウォークの日」「多世代交流出前教室」などの健康推進事業に有償ボランティアとして参画し、活動を推進しています。運動普及推進員の活動は、平成23（2011）年度は55名により21回、平成24（2012）年度は63名により105回実施されていましたが、平成29（2017）年度では、141名により454回実施されています。

また、運動普及推進員の養成のために運動普及推進員養成講座と運動普及推進員継続講座を実施しています。平成23（2011）年度には運動普及推進員養成講座を1コース、30名、延べ197名に実施し、運動普及推進員継続講座を6回、85名、延べ256名に実施していましたが、平成29（2017）年度には、運動普及推進員養成講座を1コース、13名、延べ87名に実施し、運動普及推進員継続講座を5回、142名、延べ342名に実施しました。

6 シルバーリハビリ体操指導士

「シルバーリハビリ体操」は、茨城県で高齢者の介護予防を推進するために普及を進めているもので、この体操を地域の住民へ指導・普及するボランティアとして「シルバーリハビリ体操指導士」の養成を行っています。本市では、シルバーリハビリ体操指導士3級養成講座を実施しています。また、シルバーリハビリ体操指導士は、本市の出前体操教室などで指導を行っています。

7 スポーツ指導者の課題

本市では、スポーツ推進委員の研修会、スポーツ少年団の指導者養成講習会、運動普及推進員に関連する養成講座など、スポーツ指導者の育成や資質の向上が行われていますが、スポーツ指導者の研修及び資質向上を質・量ともにさらに充実させる必要があります。地域のスポーツ指導者の人材育成、資質向上、系統的な研修会などの開催は、地域のスポーツ指導者が地域のスポーツ活動を推進していく上で最も重要な支援策であるといえます。スポーツを通じた地域の交流やスポーツ団体の活性化を進めるためにも、十分な資質と能力を備えたスポーツ指導者が必要となっています。スポーツ指導者に関する育成及び支援が遅れると、今後とも各地区・地域における組織的なスポーツ活動の停滞や指導者の減少へとつながる危険性があると考えられます。

また、本市におけるスポーツ指導者の活動実態を把握するとともに、本市におけるスポーツの推進のための様々な取組について関係するスポーツ指導者と連携を図る必要があります。特に、地域のスポーツ指導者には、スポーツ種目の技術指導だけでなく、スポーツ文化とその価値の継承、人格的・道徳的な教育、スポーツ団体間の連携やマネジメント、地域と行政との橋渡し役などを行うことが求められています。さらに、障害者のスポーツの指導者については明白な取組が行われておらず、関連する制度の構築を検討する必要があります。

第10節 スポーツ教室の現状と課題

1 つくば市によるスポーツ教室

本市は、平成29（2017）年度のスポーツ教室の活動実績としては、トレイルラン教室、スポーツ鬼ごっこ教室、ストリートダンス教室、体幹トレーニング教室、バレーボール教室、アーチェリー教室、ラート教室、ランニング教室、子どものスキー教室などを実施しています。延べ参加者数は、927名となっています。スポーツ教室の情報は市報、ホームページ、チラシのほか、Facebook ページにおいても情報提供をしています。（表S-50（p.144）参照）

2 出前教室

健幸長寿日本一をつくばからを掲げて、本市ではすべての世代の健康づくりと高齢者介護予防事業を推進するために出前教室を行っています。出前教室には、「多世代交流出前教室」と「シルバーリハビリ出前体操教室」の2つがあります。

多世代交流出前教室

多世代交流出前教室は、つくば市民で常時5人以上が参加できる団体を対象に、年間一団体最大12回（月1回）、1回のみからでも利用できるものです。次のメニューを自由に組み合わせることができます。さらに、市教室にプラスして自主的な活動をサポートしています。（表S-51（p.145）参照）

①運動インストラクターによる簡単体操	6回
②リハビリ専門職による講話・実技	1回
③スクエアステップエクササイズ	6回
④カラオケ体操（ストレッチ・歌って踊る体操）	3回
⑤運動普及推進員によるウォーキング教室	1回
⑥専門職による健康講話	1回
⑦高齢者健康遊具の体験教室	1回
⑧体力測定・体組成測定	1回
⑨食生活改善推進員による食事の講話・試食	1回

シルバーリハビリ出前体操教室

シルバーリハビリ体操は、一人でも、椅子でも、床でも、寝て、立ってできる体操で、ピンポイントで標的の筋力を強化・維持するものです。毎月2回まで年24回まで行うことができます。5人以上の参加で近くの集会所等へ無料で伺い実施されます。

平成28（2016）度は2,415回、延べ参加者数24,013人、平成29（2017）年度は2,665回、延べ参加者数24,015人に対してシルバーリハビリ出前体操教室を実施しました。出前体操には、シルバーリハビリ体操指導士が指導に当たっています。（表S-51（p.145）参照）

市民・企業連携事業

健康教室の開催については、企業などから会場・駐車場・景品等を無料で提供してもらい、提供された会場で簡単な体操や健康講話の教室などを実施する市民・企業連携事業を行っています。

3 いきいき運動教室

いきいき運動教室は、いきいきプラザにおいて40歳以上の中・高齢者を対象に有酸素運動を中心に軽い運動・ストレッチなどの運動教室を行うとともに、体力測定、運動指導、栄養指導を行い、高齢者のスポーツ活動の促進や健康意識の高揚を図る運動教室です。平成29（2017）年度は5コースを各41回、実人数205人に対して行い、延べ6,187人の参加がありました。

平成30（2018）年度からは対象年齢クラスを40歳から64歳、65歳から74歳の2つに分け、アクティブ運動教室（40歳から64歳）を追加実施し、年齢に応じた運動教室の実施・改善を行っています。（表S-52（p.145）参照）

4 元気はつらつ運動教室

元気はつらつ運動教室は、いきいきプラザにおいて75歳以上の高齢者を対象に生活習慣病予防や健康維持増進に効果のある運動（リズム運動など）を行い、健康相談、栄養相談、健康講話、栄養講話、体力測定を行う運動教室です。（表S-53（p.145）参照）

5 アクティブ運動教室

アクティブ運動教室は、いきいきプラザにおいて40歳から64歳の方を中心に楽しみながら運動習慣を身につけることを目的とした運動教室です。インストラクターによる持久力、柔軟性、バランス、筋力アップ運動を行っています。

6 スポーツ教室の課題

本市においては、スポーツ教室の開催を積極的に行っています。毎年、教室の参加者実績を考慮し、内容を精選し、事業の改善を図っています。また、民間のスポーツクラブとの事業内容の差別化をどのように図るかが課題となっています。

さらに、これまでのスポーツ教室の内容は、「する」スポーツ*のための技術指導や健康のための体操や運動の実践指導を中心に行われてきましたが、今後は、地域住民の交流が促進されることに主眼を置いたスポーツ教室の開催や、スポーツ文化やスポーツを通じた人と人との結びつきの在り方を学ぶような講演会等の開催も行う必要があると考えられます。

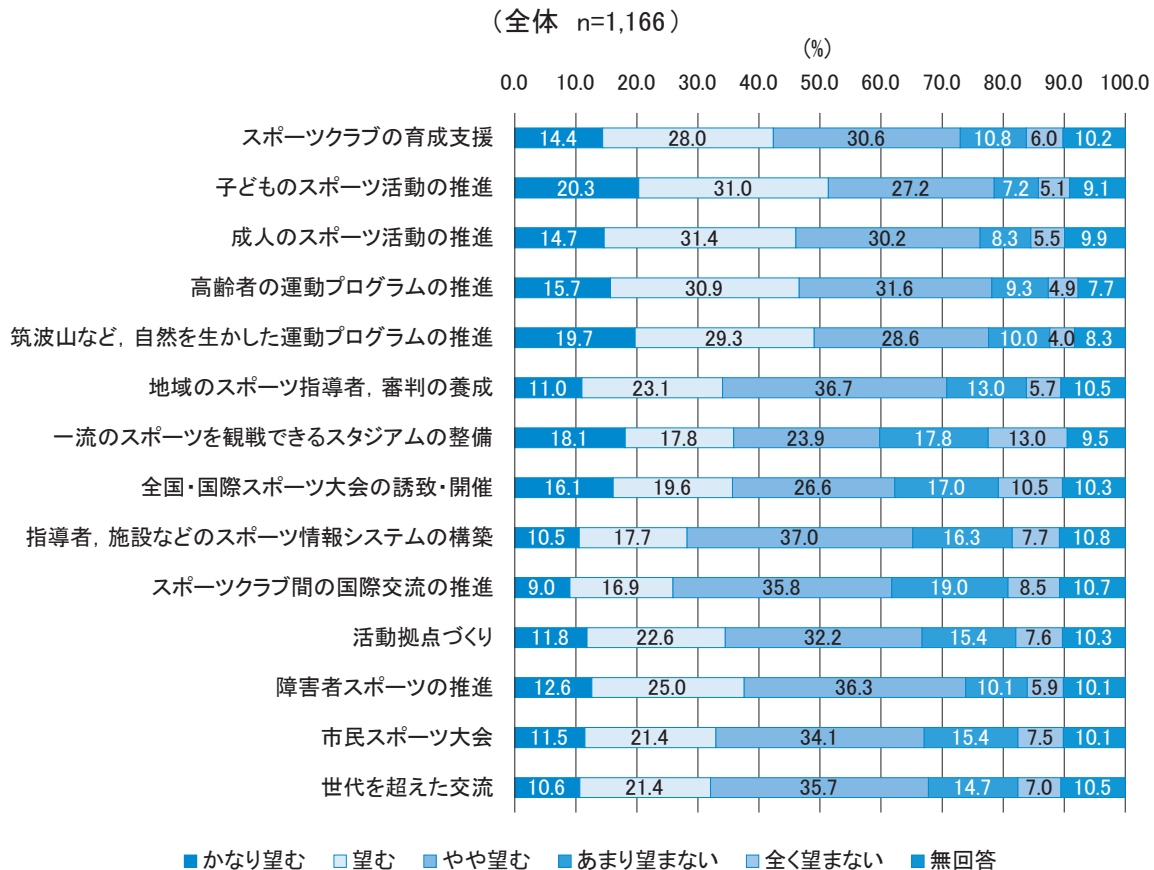
第11節 つくば市の行政組織とスポーツ関連事業の現状と課題

1 本市のスポーツ推進についての要望

つくば市スポーツ活動調査では、本市のスポーツ推進についての要望として、「かなり望む」「望む」「やや望む」を合わせた数値が最も高かったのは、「子どものスポーツ活動の推進」で、

「かなり望む」が20.3%、「望む」が31.0%、「やや望む」が27.2%となっています。次いで、「高齢者の運動プログラムの推進」が「かなり望む」15.7%、「望む」30.9%、「やや望む」31.6%、「筑波山など、自然を生かした運動プログラムの推進」が「かなり望む」19.7%、「望む」29.3%、「やや望む」28.6%の順となっています。(図22参照)

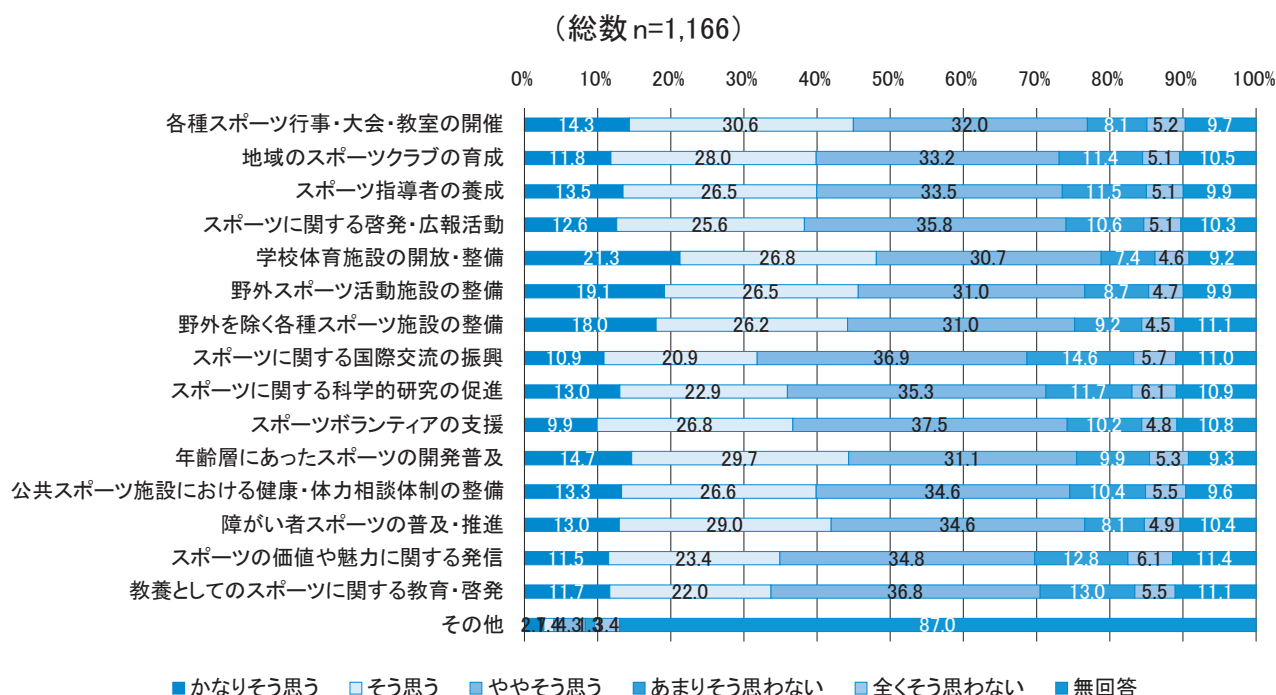
図22 本市のスポーツ推進についての要望



2 スポーツ推進のために本市が今後力を入れるべきこと

スポーツ推進のために本市が今後力を入れるべきこととしては、「かなりそう思う」「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた数値が最も高かったのは「学校体育施設の開放・整備」で、「かなりそう思う」が21.3%、「そう思う」が26.8%、「ややそう思う」が30.7%、合計で78.8%となっています。次いで、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が、「かなりそう思う」14.3%、「そう思う」30.6%、「ややそう思う」32.6%、合計76.9%、「野外スポーツ活動施設の整備」が、「かなりそう思う」19.1%、「そう思う」26.5%、「ややそう思う」31.0%で、合計76.6%、「障害者スポーツの普及・推進」が、「かなりそう思う」13.0%、「そう思う」29.0%、「ややそう思う」34.6%、合計76.6%の順となっています。(図23参照)

図 23 スポーツ推進のために本市が力を入れるべきこと



3 つくば市のスポーツ関連事業の状況と関連部局間の連携

本市の内部部局が実施しているスポーツと関連がある事務事業は、市民のスポーツの振興に関する事務については、市民部スポーツ振興課（スポーツ振興係、スポーツ・レクリエーション係、施設管理係）が分掌し、さらにいきいき茨城ゆめ国体及びいきいき茨城ゆめ大会に向けた対応については国体推進課（総務企画係、競技運営係）が担当しています。その他にも、スポーツの推進と関連する事務事業は、第4章で示すように教育、文化、福祉、健康、観光、公園、都市計画、道路、交通、子育てなど様々な関連があり、多様な部局で関連する事業や取組が実施されています。本市におけるスポーツの推進を実現していくためには、関連する事務事業の分散を改善し、行政組織内部で連携体制を構築し、情報の集約や組織的・効率的な関連事業の調整を総合的に図っていくことが課題となっています。

このため、つくば市スポーツ推進計画に基づいて、まず、スポーツの推進に関する基本的な情報をスポーツ振興課が集約できる体制を整備してきました。具体的には、資料9「つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧」(p.102)を策定し、本市のスポーツの推進に関連する事業及び取組の進捗状況等の情報を集約し、進行管理を行っています。これによって、特にスポーツ施設の利用状況、スポーツ関連イベントの開催状況、各関係施設でのスポーツ活動の実施状況、住民のスポーツに関する意識、民間スポーツ団体の活動実態など、スポーツの推進に関する基本的な情報を集約し、政策課題の分析、関連部局間の連携、計画及び施策の統一性・体系性の確保などのために活用できるようにしています。

次に、本市のスポーツに関連する事務事業を行っている担当部局が情報を交換し、連携を深

め、本市のスポーツ推進を総合的に実施していくために、平成26(2016)年度よりスポーツ関連部局による推進会議を創設し、連携体制について協議しています。今後さらに、推進会議のあり方やつくば市スポーツ推進審議会と推進会議との連携をどのように図っていくかが課題であると考えられます。

第12節 スポーツ推進のための連携・協働の現状と課題

1 茨城県との連携

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会の開催

茨城県では平成31(2019)年に「いきいき茨城ゆめ国体」(大会正式名称:第74回国民体育大会)と「いきいき茨城ゆめ大会」(大会正式名称:第19回全国障害者スポーツ大会)が開催されることから、本市も連携体制を整備しています。つくば市市民部に国体推進課を設置して、本市で開催する競技に関して、県や競技団体と連携し、準備を進めています。

本市では、国体の正式競技として、自転車(ロード・レース)とアーチェリー、国体の公開競技としてパワーリフティング、デモンストレーションスポーツとしてダンス&パフォーマンスとスポーツ鬼ごっこ、全国障害者スポーツ大会の正式競技としてアーチェリーと車いすバスケットボール、オープン競技としてハンドアーチェリーの、合計8つの競技が開催されます。

2 筑波大学との連携

本市のスポーツ推進の連携先機関として、筑波大学に期待する市民の割合は大きいといえます。つくば市スポーツ活動調査では、「今後、筑波大学に期待する」内容として、「かなりそう思う」「そう思う」の合計で数値が高かったのは、「スポーツ施設の開放」が55.6%で最も高く、次いで、「専門的なスポーツ指導」が49.7%、「専門的な健康運動プログラムの指導」が48.7%、「高齢者のスポーツ活動の指導・支援」が46.1%、「地域のスポーツ指導者の養成」が45.5%、「障害を持つ人のスポーツ活動の指導・支援」が44.7%となっています。本市と筑波大学との連携に期待する市民の期待が高いことは、前回調査と同様の傾向であるといえます。(図S-27(p.141)参照)

本市は、平成26(2014)年のつくば市スポーツ推進計画において、同計画を策定後に取り組むべき連携体制の強化の課題として筑波大学とのスポーツ推進のための協定の締結を示していましたが、実際に「国立大学法人筑波大学とつくば市とのスポーツ連携推進に関する協定を平成26(2014)年11月14日に締結し、スポーツ連携推進連絡協議会を設置し、連携に関するマッチング制度を構築するなどして、今後さらに連携の強化を図る予定です。(図S-28(p.145)参照)

また、平成30(2018)年4月に、本市は、2020年の東京オリンピック競技大会に向けて、スイス選手団の事前キャンプ等に関して筑波大学、茨城県、スイス・オリンピック協会と事前

キャンプ基本合意書を締結し、今後の連携を検討することになっています。

この他にも、本市は、つくばマラソン、各種スポーツ教室などの開催において筑波大学との連携を行っています。

3 つくば健康マイレージ事業

「つくば健康マイレージ」は、市民の健康づくりの促進と健康づくりの意識を高めることを目的として、本市に在住する20歳以上を対象にして、健康づくりに取り組むと健康ポイントが付与され、ポイントがたまったら応募用紙で景品を抽選でもらうことができる制度です。本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合にもポイントが付与されます。平成29（2017）年度は、応募期間5か月間に655人の参加がありました。また、このつくば健康マイレージ事業は、平成29（2017）年度では14社の事業協賛実施団体・企業の連携・協力のもと実施されています。

4 スポーツに関する情報の提供

本市のスポーツに関する情報は、主にホームページ、Facebook、広報紙、チラシ、ポスター、地域情報紙などで提供されています。ホームページとしては、「つくば市公式ウェブサイト」があり、「観光・文化・スポーツ」の分類の中に「スポーツ」の項目があります。「つくば市スポーツ推進計画」「スポーツ施設」「スポーツ推進」「スポーツイベント・教室」「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」「学校体育施設開放」「東京2020オリンピック・パラリンピック」などに関する情報を発信しています。

スポーツに関するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報提供は、スポーツ振興課が運用するFacebook（<https://ja-jp.facebook.com/tsukuba.sports>）によって行われており、本市のスポーツ振興に関する情報全般、スポーツイベントやスポーツ教室の情報等を発信しています。

今後、スポーツに関する情報をより市民に届けるためには、障害者スポーツ、スポーツ推進審議会などについても、スポーツに関する情報としてとりまとめ、一元的に発信していくことが必要であると考えられます。

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 基本理念

1 本計画の基本理念

本計画は、「スポーツで“つながる”まち つくば」を基本理念とし、スポーツを通じて人と人、人と地域、文化・社会が“つながる”まちを将来像として、本市のスポーツを推進します。

スポーツとは、ただ単に身体を動かし競技することだけでなく、人と人とが近づいて親しくなり、家庭や職場とは異なる人間同士が交流し“つながる”場を醸成し、こころとからだを癒し育む文化的社会的な活動と空間を形成する営みです。

この基本理念には、スポーツを通じて人と人をつなげ、まちや人を元気にし、人々がスポーツ文化のもつ素晴らしさを体感し理解し、地域にスポーツ文化が生じ、受け継がれ、根づき、そして、まわりの人々や社会へと波及していくことによって、つくばからスポーツ文化を発信したい、スポーツでこの国をもっと幸せにしたいという熱い思いが込められています。

2 スポーツ基本法の8つの基本理念

スポーツ基本法第4条（地方公共団体の責務）は、地方公共団体が同法第2条に定める基本理念（資料参照）にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有することを定めています。本市においても、スポーツ基本法第2条に定める8つのスポーツに関する基本理念にのっとりスポーツを推進します。

また、本市は、これらの基本理念の中でも、市民の身近な行政と福祉の増進にかかわることを中心に施策を実施します。特に基本理念の③地域の人々のスポーツを通じた交流の促進に関することは、本計画の基本理念と共通する理念となっています。さらに、基本理念の①生涯にわたるスポーツの実践に関することは、本計画で重視する基本方針「する」スポーツの重視及び基本戦略1「ライフステージに応じたスポーツ活動の促進」と共通する理念となっています。

スポーツ基本法の8つの基本理念

- ①スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、国民が生涯にわたりあらゆる機会と場所において、自主的・自律的に適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるようにする
- ②青少年のスポーツが国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動を相互に連携
- ③地域において、主体的に協働することによりスポーツを身近に親しむことができるようにすると

もに、スポーツを通じて、地域のすべての世代の人々の交流を促進し、交流の基盤を形成

- ④スポーツを行う者の心身の健康の保持増進、安全の確保
- ⑤障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進
- ⑥我が国のスポーツ選手（プロスポーツ選手を含む。）が国際競技大会等において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進
- ⑦スポーツに係る国際的な交流及び貢献を推進することにより、国際相互理解の増進及び国際平和に寄与
- ⑧スポーツを行う者に対する不当な差別的取扱いの禁止、スポーツに関するあらゆる活動を公正かつ適切に実施することを旨として、スポーツに対する国民の幅広い理解及び支援が得られるよう推進

（出典：文部科学省「スポーツ基本法リーフレット」）

3 本市の基本理念

つくば市未来構想では、本市のまちづくりの理念としては、次の4つが掲げられています。本市は、これらのまちづくりの理念をスポーツのまちつくばを推進するうえでも実行していきます。

- ① 人を育み、みんなで支えあうまち
- ② 快適で安全・安心を実感できるまち
- ③ 環境にやさしく、次世代へつなぐまち
- ④ つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち

また、本市は、平成30（2018）年2月に「持続可能都市ヴィジョン」を公表し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の考えを取り入れ、持続可能都市の実現を目指しています。スポーツに関しても、このSDGsの基本理念を尊重して具体的な取り組みを進めていきます。

第2節 基本方針

1 「する」スポーツの重視

本計画は、基本理念の実現のために、「する」スポーツを重視し、市民がスポーツを楽しみ、いつでも、どこでも、スポーツを「する」ことができるように、スポーツを推進することを基本方針とします。

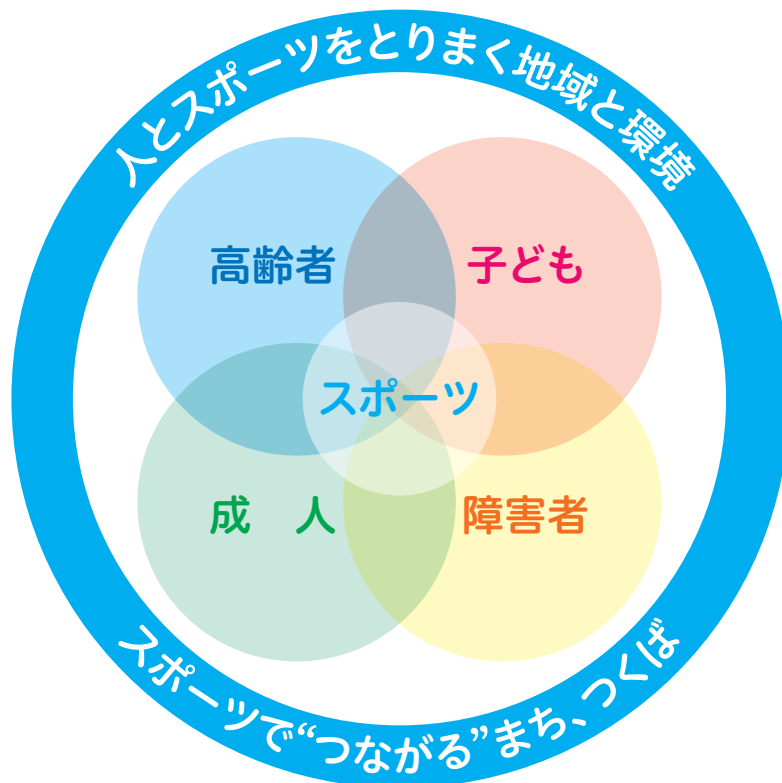
2 子ども、高齢者、障害者、成人の4つの主体

本計画は、スポーツをする主体を「子ども」「高齢者」「障害者」「成人」の4つに分けて、それぞれの主体によるスポーツを推進することを基本方針とします。このようにして、本計画は、ライフステージに応じたスポーツの推進及び適性や健康状態に応じたスポーツの推進を行います。

3 人と人との「つながり」と「交流」の重視

本計画は、「子ども」「高齢者」「障害者」「成人」がお互いにスポーツでつながりあい、人間関係を築き、地域で交流することができるように、「つながり」や「交流」を重視してスポーツを推進することを基本方針とします。

図24 スポーツで子ども、高齢者、障害者、成人がお互いに
“つながる”まちつくばのイメージ図



第3節 基本目標及び数値目標

1 基本目標

本計画は、基本理念及び基本方針を踏まえて、以下の2つの基本目標を定めます。

基本目標 1

「子ども」「高齢者」「障害者」「成人」など、すべての市民が、いつでも、どこでも、体力や年齢、適性や健康状態、興味や目的に応じて、スポーツをすることができるようにする。

平成 29（2017）年度つくば市市民意識調査では、「年齢層にあったスポーツの開発普及」に関する市民の要望が 38.8%と最も高く、すべての市民がスポーツをすることができるようにすることが最も重要な目標となっています。

基本目標 2

スポーツを通じて市民がつながり合い、交流が活発になるように、地域社会全体が連携・協働して地域のスポーツ環境を整備できるようにする。

2 数値目標

本計画は、基本目標の達成状況を評価する成果指標として、①定期的にスポーツをする市民の割合と②スポーツの推進について満足している市民の割合を設定します。また、本市、国及び他の自治体の関連する成果指標の現状と本計画の第2章で示された本市のスポーツの現状を踏まえて、以下の5つの数値目標を定めます。このうち、障害者のスポーツ実施率に関する数値目標とつくば市のスポーツ推進施策の認知度に関する数値目標は、本計画で新たに追加された数値目標となります。

成果指標① 定期的にスポーツをする市民の割合**数値目標 1**

成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%以上にする。

国の数値目標と同じ65%を本市の数値目標として設定

数値目標 2

成人の年1回以上のスポーツ実施率を85%以上にする。

平成29（2017）年度の実施率の現状を維持

数値目標 3

障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率を50%以上にする。

障害者の2人に1人が実施することを目標

※平成29年度つくば市スポーツ活動調査での障害者（7歳から79歳対象を調査）

成果指標② スポーツの推進について満足している市民の割合**数値目標 4**

スポーツの推進について満足している市民の割合を55%以上にする。

平成26（2014）年のつくば市スポーツ推進計画の数値目標を維持

数値目標 5

つくば市が実施している障害者のスポーツに関する取組の認知度の割合を50%以上にする。

市民の半数以上に認知度が高まることを目標

※平成29年度つくば市スポーツ活動調査での障害者（7歳から79歳対象を調査）

第4節 基本戦略

本計画は、「スポーツで“つながる”まち つくば」を実現するために、次の4つの基本戦略を定めます。

基本戦略 1**ライフステージに応じたスポーツ活動の促進**

施策の対象を「子ども」「高齢者」「障害者」「成人」の4つの主体に分けて、ライフステージに応じたスポーツ活動の促進を図る。また、それぞれの主体に応じたスポーツ活動の支援方策を構築する。

基本戦略 2**スポーツを通じた交流と組織基盤の強化**

スポーツを通じた「つながり」や「交流」を促進させ、スポーツをささえる団体や組織などの基盤を強化し、地域全体でスポーツ文化を理解し、推進する。

基本戦略 3**スポーツ環境の整備・充実**

スポーツイベントやスポーツ教室を通して、スポーツを楽しむ、学び、理解する機会を提供するとともに、施設、指導者、情報提供などの環境を整備する。

基本戦略 4**スポーツ推進のための連携・協働の推進**

スポーツの推進を図るために、地域の団体、関係するスポーツ団体、学校、大学・研究機関、行政部局、国、茨城県などとの連携・協働の体制を強化する。また、いきいき茨城ゆめ国体（第74回国民体育大会）及びいきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）並びに2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた連携を推進する。

第4章 施策及び事業・取組

本計画は、4つの基本戦略の側面から基本目標を実現するために、それぞれの基本戦略ごとに、具体的な施策及び事業・取組を定め、本計画の実現を目指します。

第1節 ライフステージに応じたスポーツ活動の促進（基本戦略1）

施策の対象を「成人」「子ども」「高齢者」「障害者」の4つの主体に分けて、ライフステージに応じたスポーツ活動の促進を図る。

施策① 成人のスポーツ活動の促進

成人のスポーツ活動の促進のために、関連する施策及び事業を実施するとともに、関係する団体・組織の間での連携体制の充実を図る。

主な事業・取組

- **スポーツのイベント、大会、フォーラム等の開催** 【スポーツ振興課】
市民が気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催し、市民がスポーツに参加する機会を促進する。
- **スポーツの日の実施** 【スポーツ振興課】
子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。
- **スポーツ教室・運動教室の開催** 【スポーツ振興課】【健康増進課】
スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。また、勤労者、家事・育児をしている人、女性などを対象としたスポーツ教室を開催する。
- **スポーツ関連情報の提供** 【スポーツ振興課】
スポーツに関する情報を市報、Webサイト、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ポスターなどを活用して市民に提供し、スポーツ活動の促進を図る。

● **つくば健康マイレージ事業** 【健康増進課】

本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。

● **スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進**

【公園・施設課】【スポーツ振興課】【文化芸術課】

スポーツ施設及び関連する公共空間*を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。

● **学校体育施設の開放**

【教育施設課】

学校体育施設を市民に開放し、スポーツをする場と交流の機会を提供する。

施策② 子どものスポーツ活動の促進

子どものスポーツ活動の促進のために、関連する施策及び事業を実施するとともに、学校、地域のスポーツクラブ、スポーツ少年団など関係する団体・組織の間での連携体制の充実を図る。

主な事業・取組

● **中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査** 【学務課】【教育指導課】

中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。また、中学校の運動部活動の活動状況を調査するとともに「つくば市運動部活動の運営方針」に基づいて必要なフォローアップを行う。

● **全国大会・関東大会出場補助事業**

【教育総務課】

全国及び関東各種スポーツ大会に出場する児童・生徒に対して補助・支援を行う。

● **児童・生徒の体力の向上**

【教育指導課】【健康教育課】

各学校で児童・生徒の体力向上のための取組を行う。また、茨城県の体力アップ関連事業と連携する。

● **体力テストの実施**

【健康教育課】【教育指導課】

小学校及び中学校で体力テストを実施し、その結果を学校体育施策に活用する。また、子どもの体力・運動能力の向上に役立てる。

- **放課後子ども教室の推進** 【こども育成課】
市内の小学生を対象に放課後子ども教室を実施し、スポーツ活動や文化活動などの体験活動や地域の住民との交流活動を行う。
- **放課後児童クラブの育成・支援** 【こども育成課】
小学校や児童館の体育・スポーツ施設を利用して、放課後児童クラブの遊びの場を提供し、児童の健全育成を図る。また、放課後児童クラブ施設を整備する。
- **体育授業への外部指導員等の派遣** 【教育指導課】
体育授業に外部指導員やサポーター等を派遣し、児童・生徒の体力向上や体育授業の活性化を図る。
- **スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施** 【スポーツ振興課】【教育指導課】
市内に拠点を置くスポーツ選手やスポーツ指導者などの人材を学校や地域スポーツクラブ等に派遣し、体力向上や技術指導を行う。また、子どもを含めた多くの市民とトップスポーツ選手との交流を提供する。

施策③ 高齢者のスポーツ活動の促進

高齢者のスポーツ活動の促進のために、関連する施策及び事業を実施するとともに、関係する団体・組織の間での連携体制の充実を図る。

主な事業・取組

- **いばらきねんりんスポーツつくば市大会の開催** 【高齢福祉課】
茨城県健康福祉祭の一環として、いばらきねんりんスポーツつくば市大会を開催する。
- **高齢者いきいき健康アップ事業** 【高齢福祉課】
65歳以上の高齢者を対象に、活動量計を身につけて、ウォーキングなどの運動を行い、健康づくりと介護予防を図る。
- **いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催** 【健康増進課】
高齢者を対象に、有酸素運動を中心とした軽い運動・ストレッチなどの運動教室を開催する。

- **出前体操教室の開催** 【健康増進課】
地域交流センター等を利用して、専門の指導者による介護予防のための出前体操教室を開催する。
- **シルバークラブでのスポーツ活動の促進** 【高齢福祉課】
地域の高齢者の生きがいと健康づくりのためにシルバークラブでのスポーツ活動を促進させる。

施策④ 障害者のスポーツ活動の促進

障害者のスポーツ活動の促進のために、関連する施策及び事業を実施するとともに、関係する団体・組織の間での連携体制の充実を図る。また、様々なイベントや教室を実施することによって、参加の機会を増やし、認知度の向上を図る。さらに、障害者スポーツの指導者を育成・支援するため、活躍の場を提供する。

主な事業・取組

- **障害者のスポーツイベントの実施** 【スポーツ振興課】
障害者のスポーツイベントを実施し、障害者のスポーツ活動を促進する。
- **障害者のためのスポーツ教室の実施** 【スポーツ振興課】
障害者のためのスポーツ教室を実施し、障害者がスポーツを楽しむ機会を提供する。
- **障害者スポーツのサポーターや指導者の育成の支援** 【スポーツ振興課】
障害者スポーツのサポーターやボランティアの育成の支援に取り組み、指導者へとステップアップできるような仕組みづくりと活躍の場を提供する。
- **障害児スポーツ教室の開催** 【障害福祉課】
障害者の社会参加を促進するために、専門の指導者による障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション教室を開催する。
- **おひさまサンサン生き生きまつりの開催** 【障害福祉課】
障害者社会参加促進事業として、「おひさまサンサン生き生きまつり」を開催し、市民の障害に対する理解及び障害者の社会参加の促進を目指す。

- 「みんなで DO ! スポーツ」の開催 【つくば市社会福祉協議会】

障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催する。

- 体験乗馬療法事業の開催 【障害福祉課】

地域生活支援事業における社会参加支援として、乗馬を通して、動物とふれあう心を養うとともに、障害児と健常児との交流を図る。

第2節 スポーツを通じた交流と組織基盤の強化（基本戦略2）

スポーツを通じた「つながり」や「交流」を促進させ、スポーツをささえる団体や組織などの基盤を強化し、地域全体でスポーツ文化を理解し、推進する。

施策⑤ スポーツを通じた交流の促進

市民のスポーツ活動や関係する団体の組織的な活動を支援することを通して、地域でのスポーツ活動と住民の交流を促進させる。また、スポーツを通じて生じた交流の輪を地域から広げ、スポーツ交流を発展させる。

主な事業・取組

- 地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援 【スポーツ振興課】【市民活動課】

地域の区会*、スポーツ振興会*などにおけるスポーツを通じた交流を支援する。また、そのために近隣の公共施設等の利用の便宜を図る。

- 地域交流センターの活用 【文化芸術課】

各地域交流センターにおいて、スポーツ関連の講座を開講し、また付属する施設でスポーツをすることによって、住民の自発的な活動の促進を図り、地域の交流を促す。

- ふれあいプラザの活用 【文化芸術課】

市民の自主的なスポーツ活動及び交流と生涯学習の機会を提供するために、ふれあいプラザのフィットネスプール、ホール、軽運動室を積極的に活用する。

- **スポーツ合宿の誘致** 【観光推進課】

スポーツツーリズム向上の一環として、スポーツ合宿の誘致の推進を図る。

- **森林体験パークの整備及び通年型観光拠点の構築** 【観光推進課】

筑波山梅林周辺の市有地に森林体験パークを整備し、新たな年代層をターゲットとした通年型観光拠点を構築し、スポーツツーリズムの促進を図る。

- **スポーツを通じた国際交流**

日本人・外国人を問わず、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた国際交流を行うとともに、多文化共生*の意識を啓発する。

【国際交流室】

- **スポーツ関連情報の提供（再掲）**

- **全国大会・関東大会出場補助事業（再掲）**

- **シルバークラブでのスポーツ活動の促進（再掲）**

施策⑥ スポーツをささえる組織基盤の強化

スポーツ関係団体やスポーツの推進を支援する関係団体などの組織基盤を強化する。また、子どものスポーツや体力の向上について学校、体育関係団体などの組織・連携の充実を図る。

主な事業・取組

- **つくば市体育協会との連携及び事業の補助** 【スポーツ振興課】

つくば市体育協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツを目的とする事業に対して補助を行う。

- **つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助** 【スポーツ振興課】

つくば市レクリエーション協会と連携し、本市のスポーツ・レクリエーションを推進する。また、同協会が行う事業に対して補助を行う。

- **つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助** 【教育総務課】

市内の小学生を対象につくば市小学校体育連盟が陸上記録会等を開催するために、必要な経費を補助する。

- **つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助** 【教育総務課】【スポーツ振興課】
市内の中学生を対象につくば市中学校体育連盟が陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会等を開催するために、必要な経費を補助する。
- **中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査（再掲）**
- **放課後児童クラブの育成・支援（再掲）**
- **シルバークラブでのスポーツ活動の促進（再掲）**

施策⑦ 住民が参画するスポーツイベントの機会の提供

子どもから高齢者まで、住民が参画するスポーツイベントの機会を提供し、スポーツの交流の場を提供する。

主な事業・取組

- **つくばマラソン開催事業** 【スポーツ振興課】
地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。
- **つくば健康マラソン大会開催事業** 【スポーツ振興課】
小学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るために、つくば健康マラソン大会を開催する。
- **つくば学園ウォークラリー大会開催事業** 【スポーツ振興課】
いつでも気軽に市民がスポーツをすることができるプログラムとして、筑波研究学園都市におけるウォークラリー大会を開催する。
- **「つくばウォークの日」運動普及事業** 【健康増進課】
毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しむ機会を提供する。
- **フットパスコースの設定、PRの取組** 【観光推進課】
筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しみながら歩くフットパスコースを設定し、PRを行う。

- **スポーツイベントに関するつくば市の後援名義の使用承認** 【秘書課】

各種団体が主催するスポーツイベント等に対して、申請に基づき、本市の後援名義の使用を承認する手続きを行う。

- **おひさまサンサン生き生きまつりの開催（再掲）**

- **いばらきねんりんスポーツつくば市大会の開催（再掲）**

第3節 スポーツ環境の整備・充実（基本戦略3）

スポーツイベントやスポーツ教室を通して、スポーツを楽しむ、学び、理解する機会を提供するとともに、施設、指導者などの環境を整備する。

施策⑧ スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理

市民がスポーツを行うことができる環境を充実させるために、スポーツ施設及び関連する公共空間を整備する。また、スポーツ施設及び関連する公共空間の利用状況を調査し、利用の効率化を図るとともに、市民のニーズを把握し、施設等の整備及び維持管理を行う。

主な事業・取組

- **陸上競技場の整備** 【スポーツ振興課】

陸上競技会等を開催することができる陸上競技場が市内にないことから、陸上競技場の整備を検討する。

- **体育施設の改修及び維持管理** 【スポーツ振興課】

市内の体育施設（グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館）の改修及び維持管理（施設修繕、施設管理）を行う。

- **公園の運動施設の改修及び管理** 【公園・施設課】

市内の公園の運動施設（プール、テニスコート、野球場、多目的広場など）を改修し、維持管理する。

- **ペDESTリアンデッキ等の歩行空間・遊歩道の整備、維持管理及び活用**

【道路計画、道路整備、道路管理課】【健康増進課】【スポーツ振興課】

ペDESTリアンデッキ等の歩行空間・遊歩道を整備するとともに、老朽化した部分の改修を進め、安全・安心な歩行空間の維持管理を図り、ウォーキングな

どの実施に活用する。

- **自転車のまちづくりの推進** 【総合交通政策課】【防犯交通課】

安全・安心、環境、健康等に視点をおき、自転車を利用する子どもから高齢者までの全ての市民を対象に「ひと・自転車・クルマが共生できるまちつくば〈安全で快適なりんりんつくば〉」を推進する。また、子どもたちには、交通ルールや自転車のマナーを学ぶ機会を提供し、安全に正しく利用できるよう推進する。
- **体育施設耐震化事業** 【スポーツ振興課】

体育施設の耐震化を行い、体育施設の安全性を確保し、また体育館を災害時の予備避難所としての活用を図る。
- **つくばウェルネスパークの管理** 【スポーツ振興課】

市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のために、ヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば（セキショウ・チャレンジスタジアム）、スポーツフィールドなどのスポーツ施設を管理・運営する。
- **小学校・中学校の施設(体育施設含む)の耐震改修事業(事業終了)** 【教育施設課】
- **学校施設開放事業** 【教育施設課】

つくば市立の学校体育施設の地域への開放を推進する。
- **県立高等学校体育施設開放事業** 【スポーツ振興課】

茨城県の県立学校体育施設開放促進事業に基づき、つくば市内の県立高等学校の体育施設を開放する。
- **つくばカピオ管理運営事業** 【文化芸術課】

つくばカピオを管理運営し、アリーナなどをスポーツ活動や市民の交流の場として提供する。
- **いきいきプラザの活用** 【健康増進課】

つくば市健康増進施設いきいきプラザを活用して、運動を通して市民の体力の向上を図り、健康の維持増進を図る。

● **野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理** 【観光推進課】

野外活動・キャンプ等のための施設を備えている豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、荃崎こもればい六斗の森などの施設の管理運営を行う。

● **筑波山麓の整備・筑波山周辺観光の活性化** 【観光推進課】

筑波山周辺の登山道、ハイキングコース、フォレストアドベンチャー・つくば、フットパス、ウォーキングコース、道案内表示、関連マップを整備し、筑波山周辺地域と観光の活性化を図る。

● **フットパスコースの設定、PRの取組（再掲）**

● **地域交流センターの活用（再掲）**

● **ふれあいプラザの活用（再掲）**

施策⑨ スポーツ指導者の養成及び資質の向上

スポーツの専門的な知識を身につけ、スポーツを安全に、正しく、楽しく指導し、スポーツの文化と本質を伝えることができる指導者を養成し、資質を向上させることを支援する。また、地域におけるスポーツを通じた交流を推進するリーダーとしての指導者の活動を支援する。

主な事業・取組

● **スポーツ推進委員協議会の組織及び研修** 【スポーツ振興課】

スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修会その他の事業を実施することによって、スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図る。

● **つくば市体育協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上** 【スポーツ振興課】

つくば市体育協会及び関係団体のスポーツ指導者の養成及び資質向上を支援する。

● **学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施** 【教育指導課】

学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。

● **学校体育コーディネート事業** 【教育指導課】

茨城県の学校授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。

● **運動普及推進員の養成講座及び活動の実施** 【健康増進課】

運動普及推進員の養成講座を行い、資格を付与し、委嘱を行い、健康増進事業の協力、企画運営、地域での運動のきっかけづくり、地区での組織的な活動の推進を図る。

施策⑩ スポーツ・運動を学ぶ機会の提供

市民が主体的にスポーツ活動を行うことができるように、スポーツに関する知識を習得するためのスポーツ教室、講習会等の機会を提供する。また、スポーツや運動を学ぶ場における市民の交流を促進させる。

主な事業・取組

● **スポーツ教室開催事業** 【スポーツ振興課】

市民のニーズに応じて多様なスポーツ教室を開催する。

● **いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催** 【健康増進課】

いきいきプラザにおいて中・高齢者を対象としたいきいき運動教室及び元気はつらつ運動教室を行い、体力測定を実施するとともに、運動講話などの生活指導を行う。

● **出前体操教室の開催** 【健康増進課】

インストラクターやシルバーリハビリ体操指導士などによる体操を実施する。

● **障害者のためのスポーツ教室を実施し、障害者がスポーツを学ぶ機会を確保する。(再掲)**

● **障害児スポーツ教室の開催 (再掲)**

● **学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施 (再掲)**

● **運動普及推進員の養成講座及び活動の実施 (再掲)**

施策⑪ スポーツ活動における安全の確保

スポーツ活動を行う上での安全教育を徹底するとともに、安全な環境を提供する。

主な事業・取組

● **スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底** 【スポーツ振興課】

運動やスポーツの指導者や推進員の資格認定や講習会において、安全管理に関

する教育研修を徹底する。

- **中学校武道等指導推進** 【教育指導課】
中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。
- **ペDESTリアンデッキ等の歩行空間・遊歩道等の整備、維持管理及び活用（再掲）**

第4節 スポーツ推進のための連携・協働の推進（基本戦略4）

スポーツの推進を図るために、地域の団体*、関係するスポーツ団体、大学・研究機関、行政部局、国、茨城県などとの連携・協働の体制を強化する。

施策⑫ スポーツ団体との連携・協働

スポーツの推進を図るために、民間のスポーツ団体、その他の関係機関との連携・協働の体制を推進する。

主な事業・取組

- **スポーツ推進審議会事業** 【スポーツ振興課】
スポーツ団体関係者、学識経験者などから構成されるつくば市スポーツ推進審議会を設置し、本市のスポーツの推進に関する事項について市長の諮問に応じて調査、審議及び建議を行う。
- **民間スポーツ団体との協定締結及び地域連携** 【スポーツ振興課】
民間のスポーツ団体と相互協力に関する協定を締結し、地域連携を行う。また、本市に拠点を置くトップスポーツチームと連携して、スポーツの振興や地域の活性化を行う。
- **つくば市体育協会との連携及び事業の補助（再掲）**
- **つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助（再掲）**
- **つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助（再掲）**
- **つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助（再掲）**
- **スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施（再掲）**

施策⑬ 大学及び研究機関との連携・協働

本市の大学教育機関及び研究機関と連携・協働してスポーツを推進する。

主な事業・取組

- **つくばマラソン開催事業** 【スポーツ振興課】
大学や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。
- **筑波大学とのスポーツ推進のための協定締結に基づく協議会の開催** 【スポーツ振興課】
筑波大学とスポーツ振興等に関する連携を推進するために協定締結に基づくスポーツ連携推進連絡協議会を開催する。
- **2020年東京オリンピック競技大会に向けてのスイス選手団事前キャンプ等に関する連携（新規）** 【企画経営課】
2020年の東京オリンピック競技大会に向けて、スイス選手団事前キャンプ等に関して筑波大学、茨城県、スイス・オリンピック協会と連携・協力する。

施策⑭ 行政部局間の連携の促進

スポーツの推進を総合的に行うために、本市の関係する行政部局間の連携を促進させる。また、スポーツの推進に関して、関係部局間で協議して関係する計画等を策定する。

主な事業・取組

- **つくば市未来構想・戦略プラン等の企画・策定における連携・協議** 【企画経営課】【スポーツ振興課】
つくば市未来構想・戦略プラン等の企画・策定においてスポーツ関連施策に関する事業を調整し、関係部局と連携・協議して計画を策定する。
- **スポーツ推進計画の策定** 【スポーツ振興課】
スポーツ推進審議会、関係部局、関係団体、市民などと協議し、スポーツ推進計画を策定する。

施策⑮ 国、茨城県等との連携

国、茨城県、その他関係する公的機関等が実施している取組と連携してスポーツを推進する。

(1) 国との連携

主な事業・取組

- **国のプロジェクトの活用** 【スポーツ振興課ほか関係各課】
 国等が実施する多様なプロジェクトなどを本市のスポーツの推進に積極的に活用する。国から委託を受けて公益的なスポーツ事業を実施している民間のスポーツ団体と連携する。
- **総合型地域スポーツクラブ・拠点クラブの支援** 【スポーツ振興課ほか関係各課】
 国及び関係団体が実施している総合型地域スポーツクラブ及び拠点クラブに関する事業と連携し、本市における地域スポーツクラブの設立及び運営を支援する。

(2) 茨城県との連携

主な事業・取組

- **学校体育関連事業との連携** 【教育指導課】
 外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネート事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。
- **つくばりんりんロード活性化レンタサイクル事業** 【観光推進課】
 茨城県「いばらきサイクルツーリズム推進事業」によるつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進活動と連携して、つくば霞ヶ浦りんりんロードを有効活用するためにレンタサイクル事業を実施する。
- **県立高等学校体育施設開放事業（再掲）**
- **いばらきねんりんスポーツつくば市大会の開催（再掲）**

第5章 施策の推進のために取り組む事項及び連携体制の強化

第5章では、本計画の策定後5年間のうちに施策の推進のために取り組む事項と本計画の実現のために必要な連携体制の強化を示す。

第1節 施策の推進のために取り組む事項

1 陸上競技場の整備

本市の小学校及び中学校では、公式の陸上競技大会を開催するための施設がないことから、大会を開催するために近隣の自治体等の施設を借用する問題状況が続いており、このような状況を改善するために公式記録のとれる陸上競技場の整備を検討する。

【スポーツ振興課】

2 障害者のためのスポーツの推進に関する事業及び連携体制の構築

障害者のためのスポーツの推進について必要な事業を検討するとともに、関連する行政組織、関係団体、特別支援学校、大学などとの間での組織的連携や実施体制を構築し、関連する事業及び取組を企画、立案し、実施する。

【スポーツ振興課】【障害福祉課】

3 スポーツに関する調査研究の継続的な実施と行政評価等への反映

スポーツの推進のための基礎情報を収集し、施策や計画の企画・立案に活用するために、継続的にスポーツ施策の調査を実施する。

また、本市の統計情報において、スポーツに関する情報と関係がある事項について把握し、施策で活用することが可能な施策指標の改良を行う。

本市の行政評価に対応し、スポーツの推進の状況を評価・分析できるスポーツ施策に関する評価指標を研究し考案する。また、これらの検討の結果を実際の施策に反映させる。

【スポーツ振興課】

4 いきいき茨城ゆめ国体及びいきいき茨城ゆめ大会に向けた対応

つくば市で開催される競技に関して、県や競技団体と連携しながら準備を進める。

【国体推進課】

5 河川敷などのスポーツ的利用について関係機関との連携及び調整

河川敷や堤防のスポーツ・レクリエーション的利用について、関係機関との連携及び調整を行い、利用方策について検討する。

【スポーツ振興課】

6 つくば市 SDGs の対応

つくば市 SDGs とスポーツ推進計画に示す事業・取組との関係を検討する。

【スポーツ振興課】

7 スポーツ施設のユニバーサルデザインへの対応

スポーツ施設の整備については、平成 29（2017）年に策定した「つくば市公共施設等総合管理計画」（公共施設等資産マネジメント方針）における基本方針 1（保有資産を効率的に維持管理する）に示された方向性に基づき、大規模な修繕や更新等の際に障害者や高齢者などが安心・安全に施設を利用できるようユニバーサルデザインへの対応を進める。

【公共施設マネジメント推進室】【スポーツ振興課】【公園・施設課】

8 ランニングなどの普及啓発と環境の整備

ウォーキング、ジョギング・ランニング・トレイルランニングに適したコースを選定し、教室等の講座を開催して普及啓発を図るとともに、本市ならではの環境の整備を検討する。

【スポーツ振興課】

9 子どものスポーツの推進のための連携体制の検討

子どものスポーツの推進のために学校や関係するスポーツ団体などとの連携体制を検討する。

【スポーツ振興課】【教育指導課】【教育総務課】

10 安心・安全なスポーツ環境の充実

スポーツ施設や学校体育施設などの安全管理対策や事故防止対策を図るなど、安心・安全なスポーツ環境の充実を進める。

【スポーツ振興課】【教育指導課】【教育施設課】【公園施設課】

第2節 連携体制の強化

今後5年間をかけて本計画の実現に向けて次の連携体制の強化を検討し、具体的な事業または取組を行う。また、本計画の見直しのときに検討した事項を反映させる。

1 本市のスポーツ関連部局による連携体制の強化

本市のスポーツに関連する事務事業を行っている担当部局が情報を交換し、連携を深め、本市のスポーツ推進を総合的に実施していくために、スポーツ関連部局による推進会議を開催し、本市のスポーツの推進とそのための連携体制について強化する。

【スポーツ振興課ほか関係各課】

2 スポーツ振興課による情報の集約体制の確立

スポーツの推進に関する基本的な情報をスポーツ振興課が集約できる体制の創設を検討する。これによって、特に、スポーツ施設の利用状況、スポーツ関連イベントの開催状況、各関係施設でのスポーツ活動の実施状況、住民のスポーツに関する意識、民間スポーツ団体の活動実態など、スポーツの推進に関する基本的な情報を集約し、政策課題の分析、関連部局間の連携、計画及び施策の統一性・体系性の確保などのために活用できるようにする。

【スポーツ振興課】

3 筑波大学とのスポーツ推進のための連携の促進の検討

本市のスポーツ推進を図り、関係者の連携・協働体制を整備・充実を図るために、筑波大学との連携協定に基づき実施すべき具体的な取組を検討する。

【スポーツ振興課ほか関係各課】

4 国及び茨城県の関連施策との連携の促進

子どもの体力向上、地域スポーツクラブの育成・推進、国際競技大会等の招致・開催に関する連携、スポーツ指導者の養成・研修など、国及び茨城県の関連するスポーツに関する事業を積極的に連携・活用できるように、その体制や方策を検討する。さらに、必要があるときは、関係するスポーツ団体やその他の関係機関との連携や協議を行う。

【スポーツ振興課ほか関係各課】

資料 1 「スポーツ基本法」(平成 23 年法律第 78 号) 一部抜粋

第一章 総則

(目的)

第一条 この法律は、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第二条 スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、国民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じて行うことができるようにすることを旨として、推進されなければならない。

2 スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体(スポーツの振興のための事業を行うことを主たる目的とする団体をいう。以下同じ。)、家庭及び地域における活動の相互の連携を図りながら推進されなければならない。

3 スポーツは、人々がその居住する地域において、主体的に協働することにより身近に親しむことができるようにするとともに、これを通じて、当該地域における全ての世代の人々の交流が促進され、かつ、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければならない。

4 スポーツは、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進及び安全の確保が図られるよう推進されなければならない。

5 スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。

6 スポーツは、我が国のスポーツ選手(プロスポーツの選手を含む。以下同じ。)が国際競技大会(オリンピック競技大会、パラリンピック競技大会その他の国際的な規模のスポーツの競技会をいう。以下同じ。)又は全国的な規模のスポーツの競技会において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準(以下「競技水準」という。)の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進されなければならない。

7 スポーツは、スポーツに係る国際的な交流及び貢献を推進することにより、国際相互理解の増進及び国際平和に寄与するものとなるよう推進されなければならない。

8 スポーツは、スポーツを行う者に対し、不当に差別的取扱いをせず、また、スポーツに関するあらゆる活動を公正かつ適切に実施することを旨として、ドーピングの防止の重要性に対する国民の認識を深めるなど、スポーツに対する国民の幅広い理解及び支援が得られるよう推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、スポーツに関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（関係者相互の連携及び協働）

第七条 国、独立行政法人、地方公共団体、学校、スポーツ団体及び民間事業者その他の関係者は、基本理念の実現を図るため、相互に連携を図りながら協働するよう努めなければならない。

第二章 スポーツ基本計画等**（スポーツ基本計画）**

第九条 文部科学大臣は、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツの推進に関する基本的な計画（以下「スポーツ基本計画」という。）を定めなければならない。

2 文部科学大臣は、スポーツ基本計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第二百十号）第八条に規定する機関をいう。以下同じ。）で政令で定めるものの意見を聴かななければならない。

3 文部科学大臣は、スポーツ基本計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の施策に係る事項について、第三十条に規定するスポーツ推進会議において連絡調整を図るものとする。

（地方スポーツ推進計画）

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあつては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

2 特定地方公共団体の長が地方スポーツ推進計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、当該特定地方公共団体の教育委員会の意見を聴かななければならない。

資料 2 「第 2 期スポーツ基本計画」(概要)

出典 (http://www.mext.go.jp/prev_sports/comp/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afiedfile/2017/03/01/1382789_002.pdf)

第 1 章 第 2 期スポーツ基本計画の策定に当たって

スポーツ基本法に基づく第 2 期スポーツ基本計画は、平成 29～34 年度の 5 年間における、スポーツ立国の実現を目指す上での重要な指針。

スポーツ審議会において審議を行い、平成 29 年 3 月 1 日に答申をとりまとめ。この答申を踏まえ、第 2 期スポーツ基本計画を策定。

第 2 期計画では、第 2 章で計画の理念を「スポーツの価値」として具体化。

第 3 章で施策体系を大括り化し(4 つの政策目標)、数値目標を 8 から 20 に増加。

第 2 章 中長期的なスポーツ政策の基本方針

～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports、Enjoy Life～

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

1 スポーツで「人生」が変わる！

スポーツを「する」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できる。

スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにできる。

2 スポーツで「社会」を変える！

スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に寄与できる。

スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。

3 スポーツで「世界」とつながる！

スポーツは「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーンでフェアな世界」の実現に貢献できる。

4 スポーツで「未来」を創る！

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、オリンピックムーブメントやパラリンピックムーブメントを推進。

本計画期間においては、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野との連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」を実現する。

第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実

【政策目標】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度（障害者は40%程度）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度）となることを目指す。

※スポーツ実施率：週1以上が42.5（障害者19.2）%、週3以上が19.7（障害者9.3）%

(1) スポーツ参画人口の拡大

- ① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・スポーツの楽しみ方等を示す「ガイドライン」の策定・普及
 - ・新たなスポーツや高齢者が取り組める「スポーツプログラム」の策定・普及
- ② 学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上
 （スポーツをする時間を持ちたいと思う中学生を増加（58.7%→80%）、スポーツが嫌い・やや嫌いである中学生を半減（16.4%→8%）、子供の体力を昭和60年頃の水準に）
 - ・学習指導要領の改訂や全国的な体力調査等を通じた体育・保健体育の授業等の改善
 - ・教員の研修、施設の整備等を通じた武道の指導の充実
 - ・運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定
 - ・学校体育活動中の重大事故を限りなくゼロにするという認識の下での事故防止の取組の推進
- ③ ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ
 （成人のスポーツ未実施者の数がゼロに近づくことを目指す）
 - ・ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくりと民間事業者における「健康経営」の促進
 - ・女性がスポーツに参画しやすい環境整備、障害者スポーツの裾野拡大に向けた取組の推進
 - ・スポーツと食、エンターテインメント等他分野との融合やITの活用による魅力向上

(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

- ① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保
 - ・スポーツに関わる人材の数や属性の特徴などの全体像の明確化
 - ・アスリートの雇用促進や地域での指導機会の拡大等によるキャリア形成の支援
 - ・指導者養成のモデル・コア・カリキュラムの大学等への普及
 - ・専門スタッフ、審判員、ボランティア等の育成・確保
- ② 総合型地域スポーツクラブの質的充実
 - ・総合型クラブの登録・認証等の制度と中間支援組織の整備（47都道府県）
 - ・PDCAサイクルにより運営の改善等を図る総合型クラブの増加（37.9%→70%）
 - ・地域課題解決に向けた取組を行う総合型クラブの増加（18.4%→25%）
- ③ スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保
 - ・ストックの適正化に関するガイドラインの活用促進

- ・学校体育施設の開放の在り方に関する手引きを策定し施設を有効活用
- ・キャッチボール等が気軽にできる場としてオープンスペース等の有効活用の促進

④ 大学スポーツの振興

- ・大学においてスポーツ分野を統括する部局の設置促進、アドミニストレーターの配置促進（100 大学）
- ・大学横断的・競技横断的統括組織（日本版 NCAA）の創設を支援

2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

【政策目標】

社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。

(1) スポーツを通じた共生社会等の実現

① 障害者スポーツの振興等

（障害者の週 1 回のスポーツ実施率：成人 19.2%→40%、7～19 歳 31.5%→50%）

- ・地方公共団体等において障害者スポーツを総合的に振興する体制の整備
- ・障害のある人とない人が一緒に親しめるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・スポーツ施設のバリアフリー化、不当な差別的取扱いの防止による利用促進
- ・全ての特別支援学校が地域の障害スポーツの拠点となることの支援
- ・総合型クラブへの障害者の参加促進（40%→50%）
- ・障害者スポーツ指導者の養成の拡充（2.2 万人→3 万人）
- ・活動する場がない障害者スポーツ指導者を半減（13.7%→7%）
- ・障害者スポーツの理解促進により、直接観戦経験者を増加（4.7%→20%）
- ・全ての学校種の教員に対する理解促進、学校における障害児のスポーツ環境の充実

② スポーツを通じた健康増進

- ・スポーツによる健康寿命の延伸の効果について、エビデンスの収集・整理・情報発信
- ・効果的な「スポーツプログラム」や「ガイドライン」の策定・普及
- ・スポーツ事故等の情報収集、安全確保に向けた方策のとりまとめ、普及・啓発
- ・被災地でのスポーツによる身体的・精神的支援

③ スポーツを通じた女性の活躍促進

- ・女子生徒の運動習慣の二極化を含め女性特有の課題の整理
- ・女性指導者増加に取り組むとともに、スポーツ団体における女性登用を促進
- ・女性トップアスリートについて女性特有の課題に対応した医・科学支援の実施

(2) スポーツを通じた経済・地域の活性化

① スポーツの成長産業化

（スポーツ市場規模 5.5 兆円を 2020 年に 10 兆円、2025 年に 15 兆円へ拡大）

- ・スポーツの成長産業化、地域活性化の基盤としてのスタジアム・アリーナの実現
- ・各種スポーツ団体等と連携した新たなビジネスモデルの開発支援
- ・スポーツ経営人材の育成・活用、スポーツ団体におけるビジネス手法、IT の活用

② スポーツを通じた地域活性化

- ・スポーツツーリズムの推進（スポーツ目的の訪日外国人数を138万人→250万人、スポーツツーリズム関連消費額を2,204億円→3,800億円）
- ・地域スポーツコミッションの設置促進（56→170）、地域コミュニティの維持・再生
- ・オリンピック・パラリンピック教育やホストタウンの推進

(3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展

- ・国際競技団体等における役員数の増加（25人→35人）や政府間会合への積極的な参加等を通じて国際スポーツ界の意思決定に参画
- ・スポーツ・フォー・トゥモローによりスポーツの価値を100カ国以上1,000万人以上に広げる
- ・諸外国におけるスポーツ情報を戦略的に収集・分析、スポーツ団体等における国際業務の体制強化
- ・ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京大会について、政府の基本方針に基づき円滑な開催を支援、ワールドマスターズゲームズ2021関西等に協力

3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

【政策目標】

国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。

日本オリンピック委員会（JOC）及び日本パラリンピック委員会（JPC）の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。

① 中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立

- ・中央競技団体は中長期の強化戦略を実践し、JSC、JOC及びJPCは中央競技団体の強化戦略を多面的に支援。国は、ここで得た知見をターゲットスポーツの指定に活用
- ・ナショナルコーチやサポートスタッフの配置と資質向上、世界トップレベルのコーチの育成

② 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築

- ・地域ネットワークを活用したアスリートの発掘や種目転向の支援
- ・将来メダルの獲得可能性のある競技やアスリートをターゲットとした集中的な強化
- ・国民体育大会にオリンピック競技種目の導入を促進

③ スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実

- ・ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターを包含する「ハイパフォーマンスセンター」の機能強化
- ・トップアスリートに対してスポーツ医・科学、情報等を活用し多方面から支援

④ トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実

- ・ナショナルトレーニングセンター中核拠点の拡充棟を2020年の約1年前までに整備し、オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化を実現
- ・ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の活用

4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

【政策目標】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、クリーンでフェアなスポーツ（スポーツ・インテグリティ）の推進に一体的に取り組むことを通じて、スポーツの価値の一層の向上を目指す。

- ① コンプライアンスの徹底、スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進
 - ・ 全てのアスリート等が主体的に取り組むことができる教育研修の推進
 - ・ スポーツ団体の組織運営をモニタリング・評価し、必要な助言・支援を実施
 - ・ スポーツ仲裁自動応諾条項の採択等により、全てのスポーツ団体におけるスポーツに関する紛争解決の仕組みの整備を促進
- ② ドーピング防止活動の推進
 - ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けてドーピング検査員の育成をはじめ必要な体制の整備
 - ・ ドーピング防止活動に係る情報を共有できる仕組みの構築
 - ・ アスリートやサポートスタッフ、医師や薬剤師等に対する教育と、国際的なドーピング防止活動への貢献

第4章 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項

計画の広報活動の推進。SNSをはじめ多様なメディアを活用し国民に直接発信。

大きな潜在力にふさわしいスポーツ関連予算の更なる強化はスポーツ関係者の総意。併せて、予算の効率的・効果的な活用と、スポーツ団体等における公的資金の適正使用を徹底。

スポーツ振興投票制度（toto）等を活用、スポーツに対する寄附や投資を活性化。

計画の進捗状況をスポーツ審議会において定期的に検証。検証プロセスを公開し、検証結果を第3期スポーツ基本計画の策定における改善に反映。

資料 3 「平成 29 年度つくば市スポーツ活動調査」(概要)

平成 29 (2017) 年度のつくば市スポーツ活動調査は、成人、子ども及び障害者に対してそれぞれ調査を行った。

調査名	平成 29 年度つくば市「スポーツ活動に関する調査」(2017)	平成 29 年度つくば市「子どものスポーツ活動に関する調査」(2017)	平成 29 年度つくば市「障がい者のスポーツ活動に関する調査」(2017)
新規・継続	継続 (前回調査 2013)	継続 (前回調査 2013)	新規
調査対象 (母集団)	つくば市に在住する 18 歳以上 79 歳以下の男女個人	つくば市立小学校および中学校に在籍する小学 5 年生と中学 2 年生の男女	つくば市に在住する 7 歳以上 79 歳以下の男女個人で、障害者手帳 (身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳) の所持者
標本数	4,000	1,041	1,017
有効回収数 (率)	1,166 (29.15%)	914 (87.80%)	361 (35.10%)
調査時期	2018 年 1 月 22 日から 2 月 2 日 (回収期限)	2018 年 1 月 22 日から 2 月 2 日 (回収期限)	2018 年 1 月 22 日から 2 月 2 日 (回収期限)
標本抽出の方法	住民基本台帳から層化無作為抽出法 (男女比、年齢比) (障がい者のスポーツ活動に関する調査対象者を除外する。)	層化二段抽出法。つくば市の 15 中学校区から小学 5 年児童数が最も多い小学校を 1 校選択し、小学 5 年と中学 2 年のクラスから無作為に 1 クラスを抽出。	障害者手帳所持者データから無作為抽出 視覚障害、聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能、肢体不自由、内部機能障害、知的障害、精神障害の各手帳保持者ごとに一定の割合 (14%) * に基づきサンプルを抽出し、その総和が 1000 名となるようにする。
調査方法	郵送留置き法による質問紙調査 (自記式)	集合配布回収法による質問紙調査 (自記式)	郵送留置き法による質問紙調査 (自記式または家族・介護者による記入)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの活動状況 (活動日数、時間、場所) ・今後の実施・継続希望種目、非実施理由、指導状況 ・応援、支援及び観戦の状況 ・体力、健康、運動不足、健康維持について ・仲間、スポーツクラブ、スポーツ施設、スポーツ大会、代表選手について ・スポーツ参加及びスポーツ推進に関する要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの活動状況 (活動日数、時間、場所) ・今後の実施・継続希望種目 ・好きか嫌いか ・することが得意か否か ・体力、運動不足について ・運動部・クラブ参加有無 ・今後の運動部・クラブ参加希望及び期待 ・応援・観戦の状況 ・スポーツ大会について ・代表選手について ・スポーツ参加及びスポーツ推進に関する要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者の基本情報 (障害の種類、障害者手帳の保有状況など) ・運動・スポーツの実施状況 (実施種目、活動日数、時間、場所、目的など) ・運動・スポーツの実施における障壁 ・今後行いたいスポーツ ・スポーツクラブや同好会・サークルへの加入 ・過去 1 年間の観戦状況 ・スポーツ参加及びスポーツ推進に関する要望
関連統計	平成 28 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁健康スポーツ課)	平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(スポーツ庁政策課学校体育室)	平成 28 年笹川スポーツ財団「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」(スポーツ庁委託調査)

資料 4 関連するスポーツ活動に関する調査の概要

	平成 29 年度つくば市 「スポーツ活動に関する調査」 (2017)	茨城県 「県政世論調査」 (2016)	スポーツ庁 「スポーツの実施状況等に関する 世論調査」(2017)
調査対象 として設定 している運 動・スポー ツ種目数、 スポーツの 定義	60 種目： 器械体操・新体操・トランポリン、エアロビクス・ ヨガ、体操（ラジオ体操・職場体操・美容体 操・ストレッチ等）、縄跳び、トレーニング（筋 力トレーニング・重量挙げ・トレッドミル（ラン ニングマシン）・室内運動器具を使ってする 運動等）、ダンス（フォークダンス・ジャズダンス・ 社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等）、チア リーディング・バントワリング、ウォーキング （歩け歩け運動・散歩などを含む）、ランニ ング（ジョギング）・マラソン・駅伝、陸上競技、 水泳（競泳・水球・飛び込み・シンクロナ イズドスイミング等）、アクアエクササイズ・水中 ウォーキング、スキー、スノーボード、クロス カントリースキー・スノーシュー、アイススケート・ アイスホッケー・カーリング、登山・トレイルラ ンニング・ロッククライミング、フリークライミ ング・ボルダリング、キャンプ・オートキャンプ、 ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテー リング、ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラ フティング、ヨット・水上スキー・ウェイクボ ード・水上バイク・ジェットスキー、スクーバダイ ビング・スキndaイビング・フリーダイビング、サー フィン・ボディボード・ボードセーリング・ウ ィンドサーフィン、釣り、野球（硬式・軟式等）、 ソフトボール、キャッチボール、テニス・ソフト テニス、バドミントン、卓球（ラージボール含 む）、ゴルフ（コースでのラウンド）、ゴルフ（練 習場・シミュレーションゴルフ）、グラウンドゴ ルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッ グゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等、バ レーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボ ール、バスケットボール・ポートボール、ドッジボ ール、ハンドボール・その他屋内球技、サッカー、 フットサル、ラグビー・アメリカンフットボール・ タグラグビー、グラウンドホッケー・ラクロス・ その他屋外球技、ボウリング、ゲートボール、 レクリエーションスポーツ（ティーボール・フ ライングディスク・インディアカ・スポーツチャン バラ・ユニカール・アルティメット・インディアカ・ キンボール・シャフルボード・ペタンク・綱引き・ ダーツ等）、レスリング・相撲・ボクシング、テ コンドー・太極拳、柔道、剣道、フェンシング、 空手、自転車・サイクリング、ローラースケ ート・インラインスケート・一輪車、トライアス ロン、アーチェリー・弓道・射撃・クレール射撃、 グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・ スカイダイビング、乗馬、障害者スポーツ（肢 体不自由）：車いすテニス・車いすバスケット ボール・ウィルチェアラグビー・車いすマラソン・ 車いすダンス・チェアスキー・シッティングバ レーボール等、障害者スポーツ（視覚障害）： ブラインドテニス・ゴールボール・サウンドテ ーブルテニス・ブラインドサッカー・フロアバ レーボール等障害者スポーツ（その他）：ポッチャ ローリングバレーボール・卓球バレー	20 種目： ウォーキング（散 歩を含む）、空 手道・合気道、 軽い体操、弓 道、グラウンド ゴルフ・ゲート ボール、剣道、 ゴルフ（練習 を含む）、サイ クリング（日 常生活の移動 を含む）、サッ カー、柔道、 ジョギング・ マラソン、水 泳、スキー・ス ノーボード、卓 球、テニス、 登山・ハイキ ング、バスケ ットボール、バ レーボール、 ボウリング、 野球（キャッ チボールを含 む）やソフト ボール	57 種目： ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一 駅歩きなどを含む）、階段昇降（2 アップ 3 ダウン等）、ランニング（ジョギング）・ マラソン・駅伝、陸上競技、自転車（BMX 含む）・サイクリング、ローラースケート・ インラインスケート・一輪車、トレーニ ング（筋力トレーニング・トレッドミル（ラン ニングマシン）・室内運動器具を使って する運動等）、体操（ラジオ体操・職場 体操・美容体操等）、エアロビクス・ヨガ・ バレエ・ピラティス、縄跳び、器械体操・ 新体操・トランポリン、ダンス（フォーク ダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡 踊り・フラダンス等）、チアリーディング・ バントワリング、水泳（競泳・水球・飛 び込み・シンクロナイズドスイミング等）、 アクアエクササイズ・水中ウォーキング、 野球（硬式・軟式等）、ソフトボール、キャ ッチボール、テニス・ソフトテニス、バドミ ントン、卓球（ラージボール含む）、ゴルフ （コースでのラウンド）、ゴルフ（練習場・ シミュレーションゴルフ）、グラウンドゴ ルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナ ッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等、 バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレー ボール、バスケットボール・ポートボール、 ドッジボール、ハンドボール・その他屋 内球技、サッカー、フットサル、ラグビー・ アメリカンフットボール・タグラグビー、 グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外 球技、ボウリング、ゲートボール、レクリ エーションスポ ーツ（ティー ボール・フ ライング ディスク・ インディア カ・スポー ツチャン バラ・ユニ カール・ア ルティメ ット・キン ボール・シ ャフルボ ード・ペ タンク・ 綱引き・ ダーツ・ スポーツ 吹き矢 等）、レス リング・ 相撲・ ボクシ ング、テ コンド ー・太極 拳・合気 道、柔 道、剣 道、居 合道・ なぎな た・銃 剣道、 空手・ 少林寺 拳法、 登山・ トレッ キング ・トレ イルラ ンニン グ・ロ ックク ライミ ング、 フリー クライ ミング ・ボル ダリン グ、キ ャン プ・オ ートキ ャン プ、ハ イキン グ・ワ ンダー フォー ゲル・ オリ エン テー リン グ、ボ ート・ 漕艇・ カヌ ー・カ ヤック ・ラフ ティ ング、 ヨット ・水上 スキ ー・ウ ェイク ボ ード・ 水上 バイ ク・ジ ェット スキ ー、ス クーバ ダイ ビン グ・ス キン ダイ ビン グ・フ リー ダイ ビン グ・シ ュ ノー ケリ ング、 サー フィ ン・ボ ディ ボ ード ・ボ ード セー リン グ・ウ ィン ドサー フィ ン、釣 り、ス キー、 スノー ボ ード、 クロス カ ン ト リー スキ ー・ス ノー シュー、 アイス スケ ート・ アイス ホッ ケー ・カー リン グ、ア ー チェ リー ・弓 道・射 撃・ク レー 射 撃、グ ライ ダー ・ハ ン ググ ライ ダー ・パ ラグ ライ ダー ・スカ イ ダイ ビン グ、 乗馬、 障害 者ス ポー ツ

実施状況に関する質問文	問1.「あなたがこの1年間に実施した運動・スポーツがあれば、あてはまる番号を○印で囲んでください。(学校の体育の授業として実施したものや、職業として実施したものは除きます。)」 問2.「この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。」	問37「あなたは、この1年間にどれくらいスポーツをしましたか。」 問37-1「具体的に、どのようなスポーツをしましたか。行った種目であてはまるものをすべて選んでください。」	問4「この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。(学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。)」 問5「この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。」
調査対象(母集団)	18歳以上の日本国籍の男女、12月1日時点で6ヶ月以上つくば市に住所を有する市民	県内に居住する満18歳以上の男女個人	調査地域：全国 調査対象：18～79歳以上の男女 調査パネル：「Mapps パネル」約131万人
標本数	4,000	1,500	20,000
有効回収数(率)	1,166 (29.21%)	1,093 (72.9%)	計 20,000 件
調査時期	2018年1月22日～2月2日	2016年8月25日～9月7日	2017年11月24日～12月5日
標本抽出の方法	住民基本台帳から系統抽出法を用いて、地区別、年代別、男女別で無作為抽出	住民基本台帳等からの層化二段無作為抽出法	調査対象の人口構成比(平成29年度住民基本台帳を基に設定)に準拠した割付
調査方法(調査票への記入法)	郵送留置き法による質問紙調査(自記式)	調査員による個別面接聴取法(他記式)	上記パネルの登録モニターを対象としたWebアンケート調査(他記式)

資料5 スポーツ実施率に関する統計表及び数値目標

① つくば市スポーツ推進計画(2014)第3節 基本目標及び数値目標 2 数値目標

成果指標①定期的にスポーツをする市民の割合

数値目標1：成人の週1回以上のスポーツ実施率を55%程度にする。

(つくば市「スポーツに関する調査」平成24(2012)年度40.3% →平成35(2023)年度55%)

数値目標2：成人の年1回以上のスポーツ実施率を80%程度にする。

(つくば市「スポーツに関する調査」平成24(2012)年度74.3% →平成35(2023)年度80%)

成果指標②スポーツの推進について満足している市民の割合

数値目標3：スポーツの推進について満足している市民の割合を55%程度にする。

(つくば市「市民意識調査」平成23(2012)年度43.7% →平成35(2023)年度55%)

② 第2期スポーツ基本計画において関連する成果指標

・成人のスポーツ実施率(週1回以上)：目標値65%程度

・成人のスポーツ実施率(週3回以上)：目標値30%程度

・成人のスポーツ未実施者の数：ゼロに近づく

・成人(障害者)のスポーツ実施率(週1回以上)：目標値40%程度

・成人(障害者)のスポーツ実施率(週3回以上)：目標値20%程度

・障がい者(若年層：7～19歳)のスポーツ実施率(週1回以上)：目標値50%程度

資料 6 関連する障害者のスポーツ活動に関する調査の概要

	平成 29 年度つくば市「障がい者のスポーツ活動に関する調査」(2018)	「障害児・者のスポーツライフに関する調査」(2017)
調査対象として設定している運動・スポーツ種目数、スポーツの定義	66 種目： キャッチボール、ソフトボール、野球、グラウンドゴルフ、ゴルフ（コース）、ゴルフ（練習場）、ゲートボール、サッカー、フットサル、フットベースボール（キックベースボール）、ソフトテニス（軟式テニス）、テニス（硬式テニス）、卓球、ドッジボール、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ソフトバレーボール、フライングディスク（frisbee）、ボウリング、ラグビー、つな引き、なわとび、エアロビクスダンス、体操（軽い体操、ラジオ体操など）、ダンス（社交ダンス、フォークダンス、フラダンス）、ヨガ、筋力トレーニング（マシントレーニング）、筋力トレーニング（ダンベル・自重のトレーニング）、ウォーキング、散歩（ぶらぶら歩き）、ジョギング・ランニング、マラソン・駅伝などのロードレース、陸上競技、アクアエクササイズ、水泳、水中歩行、空手、柔道、太極拳、海水浴、スクーバダイビング、キャンプ、サイクリング、乗馬、釣り、登山、ハイキング、アイススケート、スキー、スノーボード、グランドソフトボール（盲人野球）、車いすテニス、ブラインドテニス、車いすバスケットボール、ゴールボール、シットイングバレーボール、フロアバレーボール、卓球バレー、サウンドテーブルテニス、ティーボール、ハンドサッカー、ブラインドサッカー、ふうせんバレー、ボッチャ、リハビリテーションの一環として行っている運動（ストレッチや筋力維持向上のための運動など）	65 種目： キャッチボール、ソフトボール、野球、グラウンドゴルフ、ゴルフ（コース）、ゴルフ（練習場）、ゲートボール、サッカー、フットサル、フットベースボール（キックベースボール）、ソフトテニス（軟式テニス）、テニス（硬式テニス）、卓球、ドッジボール、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ソフトバレーボール、フライングディスク（frisbee）、ボウリング、ラグビー、つな引き、なわとび、エアロビクスダンス、体操（軽い体操、ラジオ体操など）、ダンス（社交ダンス、フォークダンス、フラダンスなど）、ヨーガ、筋力トレーニング（マシントレーニング）、筋力トレーニング（ダンベル・自重のトレーニング）、ウォーキング、散歩（ぶらぶら歩き）、ジョギング・ランニング、マラソン・駅伝などのロードレース、陸上競技、アクアエクササイズ、水泳、水中歩行、空手、柔道、太極拳、海水浴、スクーバダイビング、キャンプ、サイクリング、乗馬、釣り、登山、ハイキング、アイススケート、スキー、スノーボード、グランドソフトボール（盲人野球）、車いすテニス、ブラインドテニス、車いすバスケットボール、ゴールボール、シットイングバレーボール、フロアバレーボール、卓球バレー、サウンドテーブルテニス、ティーボール、ハンドサッカー、ブラインドサッカー（ロービジョンフットサル含む）、ふうせんバレー、ボッチャ
実施状況に関する質問文	問 9. 「あなたがこの 1 年間に実施した運動・スポーツまたは身体的なレクリエーションがあれば、あてはまる番号をすべて○印で囲んでください。」 問 10. 「あなたがスポーツや身体的なレクリエーションを行った日数を全部合わせると、1 年間に何日くらいになりますか。（○は 1 つだけ）」	問 5 「障害のあるあなたは、過去 1 年の間にどのようなスポーツ・レクリエーションを行いましたか。（学校の部活動や休み時間の活動は含めますが、学校の授業や学校行事のキャンプやマラソン大会などは含めません。）」 問 7 「障害のあるあなたがスポーツ・レクリエーションを行った日数を全部合わせると、1 年間に何日くらいになりますか。」
調査対象（母集団）	つくば市に在住する 7 歳以上 79 歳以下の男女個人で、障害者手帳（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳）の所持者。ただし、全区分において、外国人、住民登録外者、7 歳未満 79 歳以上（平成 29 年 12 月 1 日現在）、免疫機能障害、支援申請該当者は対象から除く。	インターネット調査会社が保有するリサーチモニターのうち、以下に該当する者を調査対象とした。 ・障害児・者本人あるいは同居する家族で障害児・者がいる ・障害児がいる場合、7 歳以上である
標本数	1,020	該当する回答者は 5,909 人であった。兄弟、姉妹、第 2 子以降の子で障害児・者が複数いる場合は、それぞれ年齢が一番上の者についてのみ、回答を依頼した。その結果、回答者本人及び同居する家族内の障害児・者を含めた障害児・者の総数は 8,094 人であった。
有効回収数（率）	361 (35.10%)	8,094 人
調査時期	2018 年 1 月 22 日～2 月 2 日	2017 年 9 月 1 日～9 月 30 日
標本抽出の方法	障害者手帳所持者データから、それぞれの障害手帳区分（身体障害者手帳は障害区分）ごとに地区順に並べ、無作為抽出した。視覚障害、聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能、肢体不自由、内部機能障害、知的障害、精神障害の各手帳保持者ごとに一定の割合(14%)*に基づきサンプルを抽出し、その総和が 1,000 名となるようにした。	—
調査方法（調査票への記入法）	郵送留置き法による質問紙調査（自記式または家族・介護者による記入）	無記名式のインターネット調査

資料 7 つくば市スポーツ推進審議会委員名簿

	氏名	所属
会長	阿江 通良	筑波大学名誉教授、日本体育大学特別招聘教授
委員	金谷 麻里子	筑波大学体育系准教授
委員	山口 香	筑波大学体育系教授
委員	八重樫 通	つくば市中学校体育連盟会長（つくば市立荃崎中学校校長）
委員	北口 ひとみ	つくば市議会議員（市民経済委員会委員長）
委員	糸賀 睦夫	つくば市体育協会副会長、つくば市スポーツ少年団本部長
委員	齊藤 まゆみ	筑波大学体育系准教授
委員	橋 香織	茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科准教授
委員	加藤 賢	ミズノ株式会社関東営業所販売3課長
委員	高橋 靖彦	法政大学非常勤講師（ラート競技世界チャンピオン）

資料 8 本計画策定の流れ

年度	月日	内容
平成29年度	6月1日(木)	第1回つくば市スポーツ推進審議会
	10月27日(金)	第2回つくば市スポーツ推進審議会
	平成30年1月22日(月)～2月2日(金)	平成29年度つくば市スポーツ活動調査
	3月22日(木)	第3回つくば市スポーツ推進審議会
平成30年度	5月8日(火)	第1回つくば市スポーツ推進審議会【諮問】
	5月9日(水)～5月21日(月)	関係課等ヒアリング
	6月22日(金)	第2回つくば市スポーツ推進審議会
	7月24日(火)	第3回つくば市スポーツ推進審議会
	8月28日(火)	第4回つくば市スポーツ推進審議会
	10月10日(水)～	関係課等意見調整
	10月4日(木)	第5回つくば市スポーツ推進審議会
	10月31日(水)	教育委員会
	12月7日(金)～平成31年1月7日(月)	パブリックコメント
	平成31年	第6回つくば市スポーツ推進審議会
	庁議	

資料 9 つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧

No.	施策	担当課	主な事業・取組
1	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツイベント、大会、フォーラム等の開催
2		スポーツ振興課	スポーツ教室・運動教室の開催
3		スポーツ振興課	スポーツ関連情報の提供
4		公園・施設課	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進
5		教育施設課	学校体育施設の開放
6	子どものスポーツ活動の促進	学務課	中学校部活動の支援
7		教育総務課	全国大会・関東大会出場補助事業
8		教育指導課	児童・生徒の体力向上
9		健康教育課	体カテストの実施
10		こども育成課	放課後子ども教室の促進
11		こども育成課	放課後児童クラブの育成・支援
12		教育指導課	体育授業へのサポーター等の派遣
13		スポーツ振興課	スポーツ選手を活用した各種事業の実施
14	高齢者のスポーツ活動の促進	高齢福祉課	いばらきねりんスポーツつくば市大会の開催
15		高齢福祉課	高齢者いきいき健康アップ事業
16		健康増進課	いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催
17		健康増進課	出前体操教室の開催
18	高齢福祉課	シルバークラブでのスポーツ活動の推進	
19	障害者のスポーツ活動の促進	障害福祉課	障害児スポーツ教室の開催
20		障害福祉課	おひさまサンサン生き生きまつりの開催
21		つくば市社会福祉協議会	「みんなで DO! スポーツ」の開催
22		障害福祉課	体験乗馬療法事業の開催
23	スポーツを通じた交流の促進	スポーツ振興課	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援
24		文化芸術課	地域交流センターの活用
25		文化芸術課	ふれあいプラザの活用
26		観光推進課	スポーツツーリズムの促進
27		観光推進課	スポーツツーリズムの促進
28		国際交流室	スポーツを通じた国際交流
29	スポーツをささえる組織基盤の強化	スポーツ振興課	つくば市体育協会との連携及び事業の補助
30		スポーツ振興課	つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助
31		教育総務課	つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助
32		スポーツ振興課	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助
33		教育総務課	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助
34	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	スポーツ振興課	つくばマラソン開催事業
35		スポーツ振興課	つくば健康マラソン大会開催事業
36		スポーツ振興課	つくば学園ウォークラリー大会開催事業
37		健康増進課	「つくばウォークの日」運動普及事業
38		観光推進課	フットパス空間整備及びイベント開催の取組
39		秘書課	スポーツイベントに関するつくば市の後援名義使用の承認

※平成 29 (2017) 年度

40	スポーツ施設の整備	体育施設企画室	総合運動公園等の整備
41		スポーツ振興課	体育施設の改修及び維持管理
42		公園・施設課	公園の運動施設の改修及び管理
43		道路維持課	ペDESTリアンデッキの整備及び改修
44		スポーツ振興課	体育施設耐震化事業
45		スポーツ振興課	つくばウェルネスパークの管理
46	スポーツ施設の整備	教育施設課	小学校・中学校の施設（体育施設含む）の耐震改修事業
47		教育施設課	学校施設開放事業
48		スポーツ振興課	県立高等学校体育施設開放事業
49		文化芸術課	つくばカピオ管理運営事業
50		健康増進課	いきいきプラザの活用
51		観光推進課	野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理
52		観光推進課	筑波山麓の整備・筑波山周辺観光の活性化
53	スポーツ指導員の養成 及び資質の向上	スポーツ振興課	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修
54		スポーツ振興課	つくば市体育協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上
55		教育指導課	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施
56		教育指導課	学校体育コーディネート事業
57		健康増進課	運動普及推進員の養成講座及び活動の実施
58	スポーツを学ぶ機会の 提供	スポーツ振興課	スポーツ教室開催事業
59		健康増進課	いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催
60		健康増進課	出前体操教室の開催
61	スポーツの安全の確保	スポーツ振興課	スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底
62		教育指導課	中学校武道等指導推進
63	スポーツ団体との 連携・協働	スポーツ振興課	スポーツ推進審議会事業
64		スポーツ振興課	民間スポーツ団体との協定締結及び地域連携
65	大学及び研究機関との 連携・協働	スポーツ振興課	つくばマラソン開催事業
66	行政部局間の連携の 促進	企画経営課	総合計画等の企画・策定
67		スポーツ振興課	スポーツ推進計画の策定
68	国・茨城県等との連携	スポーツ振興課	国のプロジェクトの活用
69		スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ・拠点クラブの支援
70		教育指導課	学校体育関連事業との連携
71		観光推進課	つくばりんりんロード活性化
72	施策の推進のために 取り組む事項	体育施設企画室	総合運動公園の整備
73		スポーツ振興課	スポーツ施設の管理並びに利用状況の調査及び改善
74		スポーツ振興課	障害者スポーツの推進のための組織の整備
75		スポーツ振興課	スポーツ施策調査の継続的な実施と行政評価
76		国体推進課	茨城国体に向けた対応
77		スポーツ振興課	スポーツ指導者等の資質の向上及び支援
78		スポーツ振興課	スポーツの日の実施
79		健康増進課	スポーツ参加者に対するポイント制度の導入
80		スポーツ振興課	河川敷などのスポーツ的利用について関係機関との連携及び調査
81		連携体制の強化	スポーツ振興課
82	スポーツ振興課		スポーツ振興課による情報の集約体制の確立
83	スポーツ振興課		筑波大学とのスポーツ推進のための協定の締結
84	スポーツ振興課		国及び茨城県の関連施策との連携の促進

資料 10 つくば市「スポーツ環境に関するアンケート調査」の概要

「スポーツで“つながる”まちつくば」の実現に向け、市内公共スポーツ施設のあり方を主としたスポーツ環境の整備・充実について検討するにあたり、市民、市内中学校・高等学校の生徒及び公共スポーツ施設利用者を対象に、スポーツ環境の現状、スポーツをすること、スポーツをみること、今後のスポーツ環境などについての考えや意向を把握すること目的として3つのアンケート調査を実施しました。

①つくば市 スポーツ環境に関する市民アンケート

実施目的：つくば市の更なるスポーツ環境向上のため、市内スポーツ施設に関する、既存施設の考えや新たな施設整備の必要性等について、市民の意向を把握し、市内のスポーツ環境の整備・充実に関する検討の参考とすることを目的として、本調査を実施しました。

調査対象：つくば市在住の18歳以上の方5,040人

調査方法：地区別、年齢別に無作為抽出し、調査票を郵送（回答は郵送またはweb）

地区別：筑波、大穂、豊里、谷田部、桜、荃崎、研究学園、TX沿線

年齢別：18～23歳、24～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～64歳、65歳以上

調査期間：平成28年10月7日から10月23日まで

回答数：2,148人

回収率：42.6%

②つくば市 スポーツ環境に関する中高生アンケート

実施目的：つくば市の更なるスポーツ環境向上のため、市内のスポーツ施設に関する既存施設の考えや新たな施設整備の必要性等について、部活動などのスポーツ活動が身近な存在であり、つくば市の将来の担い手である中高生の意向を把握し、市内のスポーツ環境の整備・充実に関する検討の参考とすることを目的として、本調査を実施しました。

調査対象：市内中学校18校の2年生（8年生）約2,400人

①大穂中学校、②豊里中学校、③谷田部中学校、④高山中学校、⑤手代木中学校、⑥谷田部東中学校、⑦桜中学校、⑧竹園東中学校、⑨並木中学校、⑩筑波西中学校、⑪筑波東中学校、⑫吾妻中学校、⑬荃崎中学校、⑭高崎中学校、⑮春日学園義務教育学校、⑯並木中等教育学校前期課程、⑰茗溪学園中学校、⑱つくば特別支援学校中学部市内高等学校9校の2年生（5年生）約1,400人

①筑波高等学校、②竹園高等学校、③並木中等教育学校後期課程、④つくば工科高等学校、⑤荃崎高等学校、⑥つくば秀英高等学校、⑦茗溪学園高等学校、⑧つくば特別支援学校高等部、⑨つくば松実高等学校

調査方法：アンケート用紙による調査

調査期間：平成28年10月21日から11月9日まで

回答数：3,538人

③つくば市 公共スポーツ施設に関するアンケート調査

実施目的：つくば市の更なるスポーツ環境向上のため、市内の公共スポーツ施設に関する利用状況や満足度、今後のスポーツ施設の整備・充実等について、市内公共スポーツ施設利用者の意向を把握し、市内のスポーツ環境の整備・充実に関する検討の参考とすることを目的として、本調査を実施しました。

調査対象：市内公共スポーツ施設全60施設のうち57施設の利用者

※豊里柔剣道場（工事中）、花畑近隣公園プール、二の宮公園プール（ともに営業期間外）は使用不可のため対象外

調査方法：アンケート用紙による調査

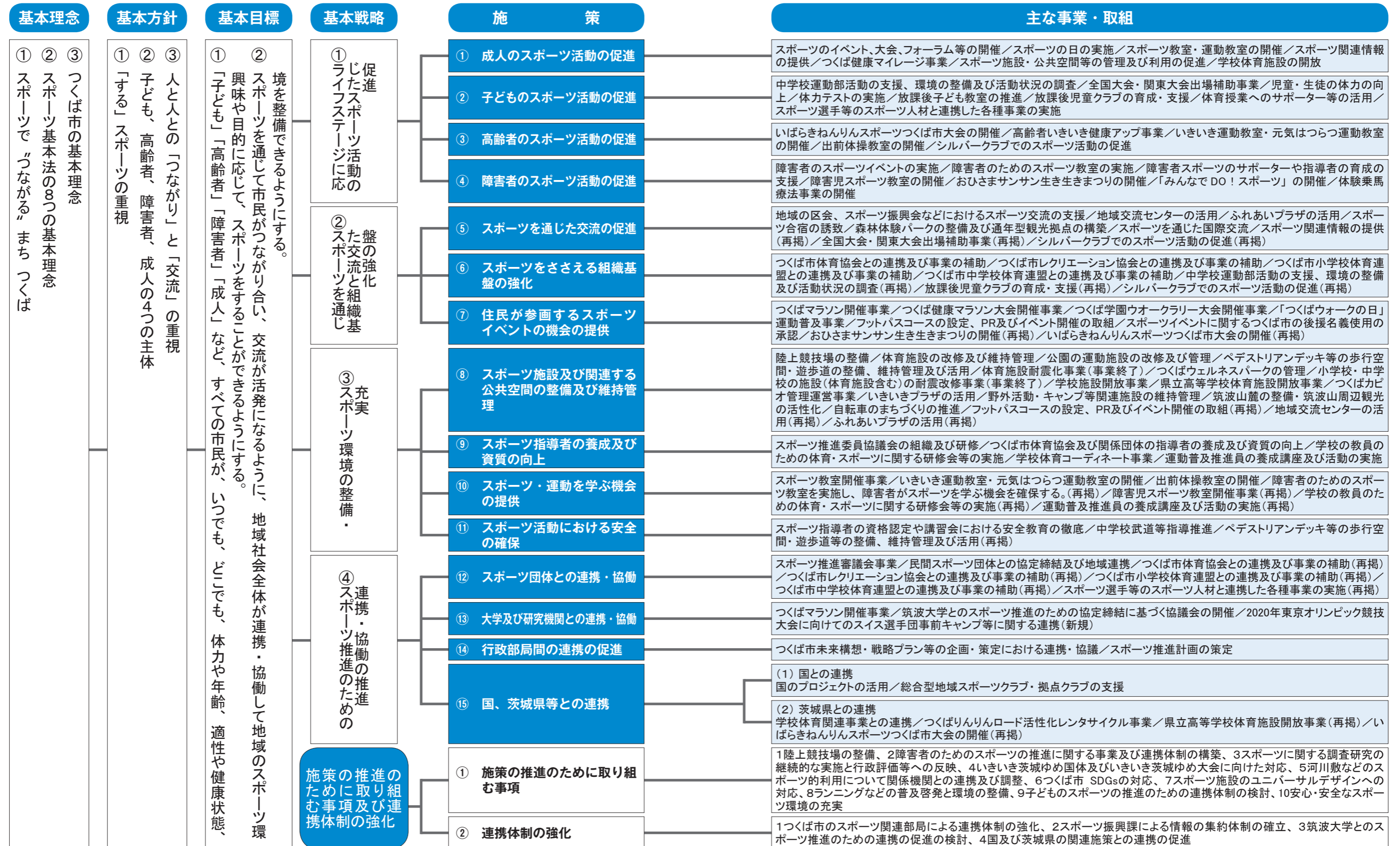
調査期間：平成28年9月22日から11月6日まで

回答数：2,066人

報告書

平成29（2017）年3月につくば市「スポーツ環境に関するアンケート調査報告書」を作成しました。

資料 11 本計画の政策体系



資料 12 用語集

いきいきプラザ

運動を通じて市民の基礎体力の向上を図り、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成に寄与するために設置された健康増進施設のこと。

運動普及推進員

健康づくりのための運動を地域で普及推進するボランティア資格のこと。運動普及推進員になるためには、運動普及推進員養成講座を受講することになっている。

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称のこと。2015年に国連において採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」において示された17の目標と169のターゲットのこと。

小学校、中学校

本市において、小学校、中学校とは、義務教育を一貫して行う、義務教育学校を含んだものをいう。

学校体育施設

本計画においては、学校体育施設とは、学校施設のうち、体育館、グラウンド、武道場などの体育・スポーツのために使用される施設のことをいう。

区会

地域の市民同士が知り合い、助け合い、地域環境の向上に向けて取り組み、身近な情報の提供やレクリエーション活動を通して住民相互の交流を深めるために自主的に組織された団体のこと。本市では、一般的名称である自治会や町内会を区会とよんでいる。本市には、約600の区会があり、これら区会は、それぞれが大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、筑波地区、荃崎地区の地区区会連合会に属しており、さらにその上部組織としてつくば市区会連合会が組織されている。

公共空間

本計画においては、スポーツ活動を行う場となる関連する公共空間のこと。例えば、公園、ペDESTリアンデッキ、サイクリングのための専用道路、ウォーキングコースなどがある。また、つくば市都市計画マスタープラン2015では、公園やオープンスペースについて市民の憩いの場、交流の場、安らぎの場として貴重な空間であるとともに、災害時の避難場所や環境の保全等、都市において重要な役割を担っていると位置づけており、広く活用される施設とみなされている。さらに、ペDESTリアンデッキや公園等の公共空間を活用する手法の検討は、公共空間活用推進事業としてつくば市戦略プランにおいても重点的に取り組む事業とされている。

「ささえる」スポーツ

スポーツ団体の運営やスポーツの指導などスポーツをささえるために行われる様々な活動。

社会的包摂（Social Inclusion）

社会的な孤立や排除がない社会、誰一人取り残さない包摂的な社会の克服を目指す一連の政策的な対応のこと。

新体力テスト

文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするために実施している「体力・運動能力調査」において、平成 11（1999）年度から体力テストを全面的に見直して導入されたもの。

社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）

人間の調整された諸活動を活発にすることによって人と人をつなぐことができたり、社会の効率性を改善できたりする、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴のこと。

スポーツ関連施設

本計画においてスポーツ関連施設とは、つくば市体育施設条例に定める体育施設、学校施設の中の体育館等スポーツに関連する施設、その他の施設等で実際にスポーツ活動が行われている施設など、スポーツと関連があるすべての施設を意味する。

スポーツ実施率

一定期間に一定回数のスポーツを実施した割合のこと。例えば、週 1 回、週 3 回、年 1 回などのスポーツ実施率がある。

スポーツ少年団

日本スポーツ協会がスポーツを通じた青少年の健全育成を目的として事業を行っている団体のこと。日本スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、市町村スポーツ少年団及び単位スポーツ少年団の 4 つの段階で構成され運営されている。つくば市体育協会の構成組織として、スポーツ少年団がある。

スポーツ振興会

つくば市体育協会を構成する組織の 1 つ。スポーツ振興会は、大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、茎崎の 6 支部から構成され、各支部で地域住民を対象としたスポーツ大会・行事、スポーツ教室、スポーツ交流会などが行われている。

スポーツ推進委員

スポーツ基本法第 32 条に基づき、市町村のスポーツの推進に係る体制を整備するために市町村から委嘱を受け、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う者。

「する」スポーツ

スポーツを実際に実践し、活動すること。スポーツをして楽しむこと。「みる」スポーツや「ささえる」スポーツなど、その他のスポーツに関する行動様式区別して用いられることがある。

専門部会

つくば市体育協会を構成する組織の 1 つ。社会人を対象とした競技種目の各専門部会がある。

総合型地域スポーツクラブ

文部科学省が地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として、地域住民の自主的な運営を目指すために行ってきたクラブのこと。人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、①子どもから高齢者まで（多世代）、②様々なスポーツを愛好する人々が（多様目）、③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という

特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される公益性・地域性を備えたスポーツクラブのこと。

総合評価段階別人数の割合

体力テストの合計点のよい方から基準表に基づきABCDEの5段階で評定した体力の総合評価段階別の人数の割合。

体育施設

本計画において体育施設とは、つくば市体育施設条例に定める施設のことであり、スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するために設置された施設のこと。

多文化共生

国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として生きていくこと。

地域交流センター

市民の自主的な活動の促進を図り、豊かな活力ある地域社会の形成に資するために設置された施設。

地域の団体

区会、自治会などの地域の団体のこと。

つくばカピオ

アリーナ、ホール、会議室から成る複合文化施設。アリーナについては、バスケットボール2面の広さに固定席1,036席の2階席を有し、各種室内スポーツや集会等に利用されている。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者で、スポーツ医・科学の知識を活かし、スポーツを安全に、正しく、楽しく指導し、スポーツの本質的な素晴らしさを伝える指導者のこと。

フットパス

イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並み等地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のこと。

ふれあいプラザ

市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯学習の活動を総合的に支援するために設置された施設。

ペDESTリアンデッキ

立体交差などによって車道から分離された歩行者や自転車専用の通路のこと。本市では、ユニバーサルデザインの理念に配慮した安心・安全な歩行空間を創出するためにペDESTリアンデッキの整備が行われている。

「みる」スポーツ

スポーツの大会やイベントなどを見たり観戦したりすることでスポーツを楽しむこと。このような「みる」スポーツのために、多くの観客が集まるスポーツイベントを開催したりプロスポーツクラブなどを誘致し、地域の活性化を図る自治体もある。

資料 13 図表一式

表 S-1 成人の週 1 回以上のスポーツ実施率

週 1 回以上	参考：つくば市 (H25)	つくば市 (H30)	茨城県 (H28)	国 (H29)
総数	40.3	55.1	34.9	51.8
男性	42.4	59.8	34.6	53.4
女性	38.4	51.7	35.3	50.2
18-19 歳	—	50.0	—	63.3
20 歳代	37.3	43.2	—	50.0
30 歳代	34.0	39.8	—	45.4
40 歳代	42.8	53.2	—	42.2
50 歳代	36.8	61.1	—	45.5
60 歳代	50.0	66.1	—	58.4
70 歳以上	39.0	64.9	—	71.3

* つくば市：「週に 5 日以上」、「週に 3 日以上」、「週に 2 日以上」及び「週に 1 日以上」の合算値。

* 茨城県：「週に 4 回以上」、「週に 2～3 回」及び「週に 1 回」の合算値。

* 国：「週に 5 日以上」、「週に 3 日以上」、「週に 2 日以上」及び「週に 1 日以上」の合算値。

注)「—」：つくば市 (H25) では調査対象外 (20 歳以上)、茨城県 (H28) では未公表。

表 S-2 成人の週 3 回以上のスポーツ実施率

週 3 回以上	参考：つくば市 (H25)	つくば市 (H30)	茨城県 (H28)	国 (H29)
総数	17.0	25.7	24.7	26.2
男性	18.7	28.6	25.6	27.2
女性	15.4	22.9	23.9	25.1
18-19 歳	—	29.5	—	33.1
20 歳代	12.7	17.6	—	22.9
30 歳代	8.9	12.0	—	19.2
40 歳代	15.0	24.0	—	18.6
50 歳代	13.1	20.0	—	21.6
60 歳代	28.6	33.0	—	32.4
70 歳以上	23.2	40.2	—	44.0

* つくば市：「週に 5 日以上」及び「週に 3 日以上」の合算値。

* 茨城県：「週に 4 回以上」及び「週に 2～3 回」の合算値。

* 国：「週に 5 日以上」及び「週に 3 日以上」の合算値。

注)「—」：つくば市 (H25) では調査対象外 (20 歳以上)、茨城県 (H28) では未公表。

表 S-3 成人の年 1 回以上のスポーツ実施率

年 1 回以上	参考：つくば市 (H25)	つくば市 (H30)	茨城県 (H28)	国 (H29)
総数	74.3	85.5	59.2	74.1
男性	76.6	90.3	60.6	76.2
女性	72.0	81.9	58.0	72.0
18-19 歳	—	87.2	—	88.8
20 歳代	81.4	88.8	—	81.1
30 歳代	77.4	88.6	—	73.6
40 歳代	81.2	87.1	—	68.4
50 歳代	74.2	89.5	—	66.3
60 歳代	75.5	83.7	—	73.8
70 歳以上	54.2	79.3	—	83.1

* つくば市：「週に 5 日以上」、「週に 3 日以上」、「週に 2 日以上」、「週に 1 日以上」、「月に 1～3 日」、「3 か月に 1～2 日」及び「年に 1～3 日」の合算値。

* 茨城県：「週に 4 回以上」、「週に 2～3 回」、「週に 1 回」、「月に 2～3 回」、「月に 1 回」及び「月に 1 回未満」の合算値。

* 国：「この 1 年間に運動やスポーツを行った」とする者の値。

注)「—」：つくば市 (H25) では調査対象外 (20 歳以上)、茨城県 (H28) では未公表。

表 S-4 成人のスポーツ未実施者の割合

未実施者	参考：つくば市 (H25)	つくば市 (H30)	茨城県 (H28)	国 (H29)
総数	23.6	9.4	40.4	23.8
男性	21.8	7.2	39.1	21.7
女性	25.4	11.8	41.7	25.8
18-19 歳	—	6.4	—	8.4
20 歳代	17.9	7.2	—	15.2
30 歳代	22.6	7.2	—	23.5
40 歳代	18.4	9.3	—	29.0
50 歳代	25.3	9.5	—	32.0
60 歳代	20.5	10.4	—	25.2
70 歳以上	45.8	12.6	—	15.7

* つくば市：「運動やスポーツはしなかった」とする者の値。

* 茨城県：「まったくしなかった」とする者の値。

* 国：「この1年間に運動・スポーツはしなかった」とする者の値。

注)「—」：つくば市 (H25) では調査対象外 (20 歳以上), 茨城県 (H28) では未公表。

図 S-1 1年間に実施した運動・スポーツ (総数 n=1,166)

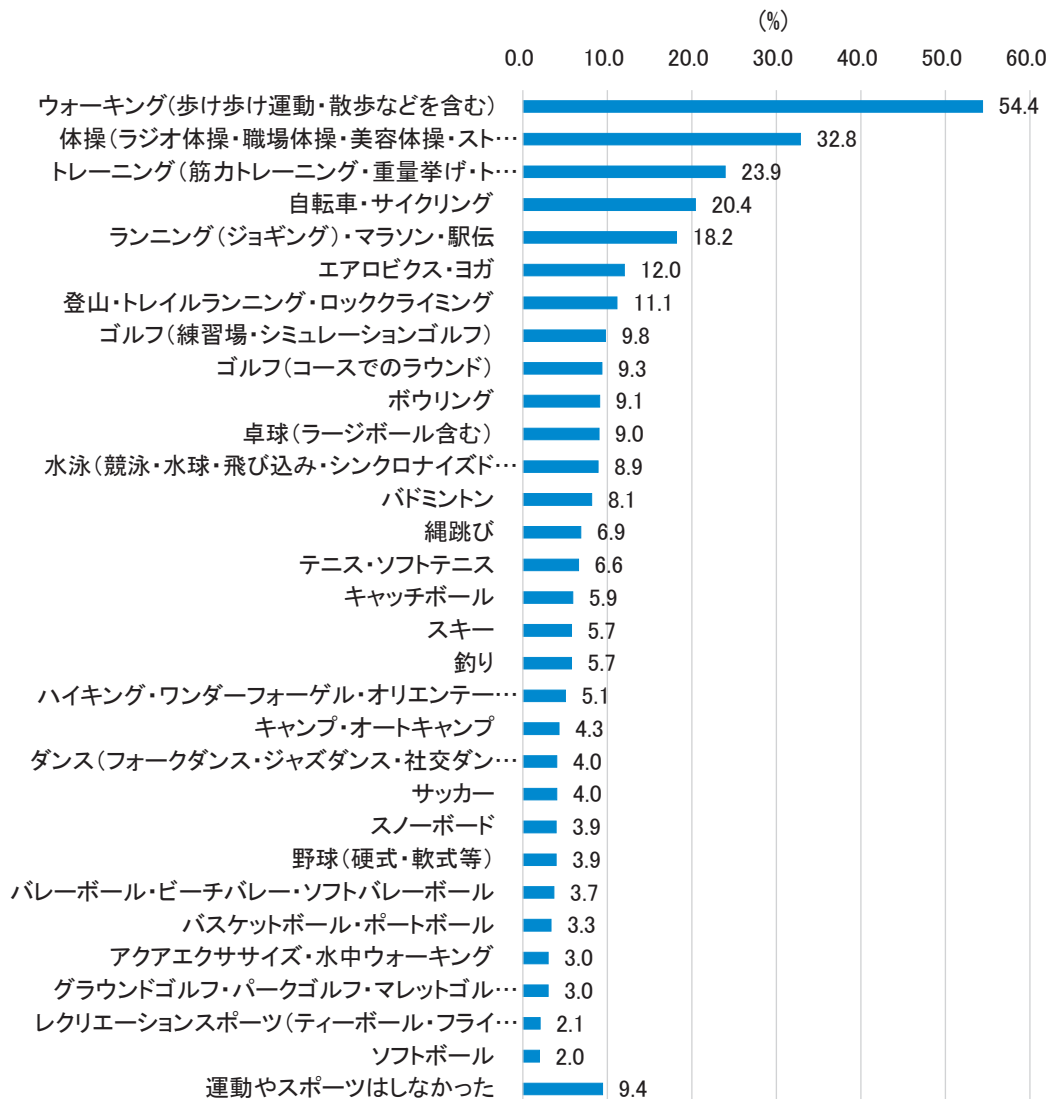


表 S-5 1年間に実施した運動・スポーツ

この1年間に実施した運動・スポーツ（複数回答）

		総数 n=1166		男性 n=517		女性 n=619	
1位	ウォーキング(歩け歩け運動・散歩などを含む)	54.4	ウォーキング(歩け歩け運動・散歩などを含む)	55.3	ウォーキング(歩け歩け運動・散歩などを含む)	53.6	
2位	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操・ストレッチ等)	32.8	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操・ストレッチ等)	28.4	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操・ストレッチ等)	36.2	
3位	トレーニング(筋力トレーニング・重量挙げ・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)	23.9	自転車・サイクリング	27.7	トレーニング(筋力トレーニング・重量挙げ・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)	21.6	
4位	自転車・サイクリング	20.4	トレーニング(筋力トレーニング・重量挙げ・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動)	26.9	エアロビクス・ヨガ	18.9	
5位	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	18.2	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	23.8	自転車・サイクリング	15.0	
6位	エアロビクス・ヨガ	12.0	ゴルフ(コースでのラウンド)	15.3	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	13.9	
7位	登山・トレイルランニング・ロッククライミング	11.1	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	14.1	登山・トレイルランニング・ロッククライミング	10.8	
8位	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	9.8	登山・トレイルランニング・ロッククライミング	12.2	卓球(ラージボール含む)	8.7	
9位	ゴルフ(コースでのラウンド)	9.3	水泳(競泳・水球・飛び込み・シンクロナイズドスイミング等)	11.8	バドミントン	8.4	
10位	ボウリング	9.1	ボウリング	10.8	ボウリング	7.9	
11位	卓球(ラージボール含む)	9.0	卓球(ラージボール含む)	9.7	縄跳び	7.4	
12位	水泳(競泳・水球・飛び込み・シンクロナイズドスイミング等)	8.9	キャッチボール	9.5	ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等)	6.5	
13位	バドミントン	8.1	釣り	8.9	水泳(競泳・水球・飛び込み・シンクロナイズドスイミング等)	6.3	
14位	縄跳び	6.9	野球(硬式・軟式等)	8.3	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	6.1	
15位	テニス・ソフトテニス	6.6	テニス・ソフトテニス	8.1	テニス・ソフトテニス	5.7	
16位	キャッチボール	5.9	バドミントン	7.5	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	5.0	
17位	スキー	5.7	サッカー	7.5	スキー	4.7	
18位	釣り	5.7	スキー	7.0	スノーボード	4.4	
19位	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	5.1	縄跳び	6.4	キャンプ・オートキャンプ	4.4	
20位	キャンプ・オートキャンプ	4.3	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	5.0	ゴルフ(コースでのラウンド)	4.4	
21位	ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等)	4.0	キャンプ・オートキャンプ	4.4	アクアエクササイズ・水中ウォーキング	4.2	
22位	サッカー	4.0	エアロビクス・ヨガ	4.1	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	4.0	
23位	スノーボード	3.9	ソフトボール	4.1	釣り	3.2	
24位	野球(硬式・軟式等)	3.9	グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	4.1	キャッチボール	3.2	
25位	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	3.7	バスケットボール・ポートボール	4.1	バスケットボール・ポートボール	2.7	
26位	バスケットボール・ポートボール	3.3	フットサル	3.9	グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	2.3	
27位	アクアエクササイズ・水中ウォーキング	3.0	スノーボード	3.5	器械体操・新体操・トランポリン	2.1	
28位	グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	3.0	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	3.3	レクリエーションスポーツ(ティーパーン・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・インディアカ・キンボール・シャフルボード・ベタンク・綱引き・ダーツ等)	1.9	
29位	レクリエーションスポーツ(ティーパーン・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・インディアカ・キンボール・シャフルボード・ベタンク・綱引き・ダーツ等)	2.1	レクリエーションスポーツ(ティーパーン・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・インディアカ・キンボール・シャフルボード・ベタンク・綱引き・ダーツ等)	2.3	乗馬	1.9	
30位	ソフトボール	2.0	剣道	1.7	ドッジボール	1.6	
31位	フットサル	2.0	ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等)	1.4	テコンドー・太極拳	1.5	
32位	器械体操・新体操・トランポリン	1.5	アクアエクササイズ・水中ウォーキング	1.4	サッカー	1.3	
33位	ドッジボール	1.3	フリークライミング・ボルダリング	1.2	フリークライミング・ボルダリング	1.1	
34位	乗馬	1.3	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	1.2	チアリーディング・バトントワリング	1.0	
35位	フリークライミング・ボルダリング	1.1	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	1.2	ローラースケート・インラインスケート・一輪車	0.8	
36位	テコンドー・太極拳	1.0	器械体操・新体操・トランポリン	1.0	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	0.6	
37位	剣道	0.9	陸上競技	1.0	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	0.6	
38位	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	0.9	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	1.0	ハンドボール・その他屋内球技	0.6	
39位	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	0.8	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	1.0	ヨット・水上スキー・ウエイクボード・水上バイク・ジェットスキー	0.5	
40位	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	0.7	ドッジボール	1.0	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	0.5	
41位	陸上競技	0.6	クロスカントリースキー・スノーシュー	0.8	野球(硬式・軟式等)	0.5	
42位	チアリーディング・バトントワリング	0.5	スクーパーダイビング・スキndaイビング・フリーダイビング	0.8	フットサル	0.5	
43位	ヨット・水上スキー・ウエイクボード・水上バイク・ジェットスキー	0.5	ヨット・水上スキー・ウエイクボード・水上バイク・ジェットスキー	0.6	アーチェリー・弓道・射撃・クレール射撃	0.5	
44位	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	0.5	柔道	0.6	陸上競技	0.3	
45位	アーチェリー・弓道・射撃・クレール射撃	0.5	アーチェリー・弓道・射撃・クレール射撃	0.6	ゲートボール	0.3	
46位	クロスカントリースキー・スノーシュー	0.4	乗馬	0.6	レスリング・相撲・ボクシング	0.3	
47位	スクーパーダイビング・スキndaイビング・フリーダイビング	0.4	グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	0.4	剣道	0.3	
48位	ハンドボール・その他屋内球技	0.4	ゲートボール	0.4	障害者スポーツ(視覚障害) ブラインドテニス・ゴールボール・サウンドテーブルテニス・ブラインドサッカー・フロアバレーボール等	0.3	
49位	ローラースケート・インラインスケート・一輪車	0.4	トライアスロン	0.4	クロスカントリースキー・スノーシュー	0.2	
50位	ゲートボール	0.3	ハンドボール・その他屋内球技	0.2	スクーパーダイビング・スキndaイビング・フリーダイビング	0.2	
51位	柔道	0.3	テコンドー・太極拳	0.2	ソフトボール	0.2	
52位	障害者スポーツ(視覚障害) ブラインドテニス・ゴールボール・サウンドテーブルテニス・ブラインドサッカー・フロアバレーボール等	0.3	空手	0.2	柔道	0.2	
53位	グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	0.2	障害者スポーツ(視覚障害) ブラインドテニス・ゴールボール・サウンドテーブルテニス・ブラインドサッカー・フロアバレーボール等	0.2	障害者スポーツ(肢体不自由) 車いすテニス・車いすバスケットボール・ウィルチェアラグビー・車いすマラソン・車いすダンス・チェアスキー・シッティングバレーボール等	0.2	
54位	レスリング・相撲・ボクシング	0.2	障害者スポーツ(その他) ポッチャ・ローリングバレーボール・卓球バレー	0.2	障害者スポーツ(その他) ポッチャ・ローリングバレーボール・卓球バレー	0.2	
55位	トライアスロン	0.2	チアリーディング・バトントワリング	0.0	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	0.0	
56位	障害者スポーツ(その他) ポッチャ・ローリングバレーボール・卓球バレー	0.2	レスリング・相撲・ボクシング	0.0	グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	0.0	
57位	空手	0.1	フェンシング	0.0	フェンシング	0.0	
58位	障害者スポーツ(肢体不自由) 車いすテニス・車いすバスケットボール・ウィルチェアラグビー・車いすマラソン・車いすダンス・チェアスキー・シッティングバレーボール等	0.1	ローラースケート・インラインスケート・一輪車	0.0	空手	0.0	
59位	フェンシング	0.0	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング	0.0	トライアスロン	0.0	
60位	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング	0.0	障害者スポーツ(肢体不自由) 車いすテニス・車いすバスケットボール・ウィルチェアラグビー・車いすマラソン・車いすダンス・チェアスキー・シッティングバレー	0.0	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング	0.0	
	運動やスポーツはしなかった	9.4	運動やスポーツはしなかった	7.2	運動やスポーツはしなかった	11.8	
	その他	3.8	その他	3.1	その他	4.2	
	わからない	0.3	わからない	0.4	わからない	0.2	
	無回答	1.4	無回答	0.4	無回答	2.1	

表 S-6 継続したい運動・スポーツ

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
春	ウォーキング 21.5	ゴルフ 11.9	ランニング ジョギング 9.8	自転車 サイクリング 6.2	テニス 6.2
夏	ウォーキング 13.5	水泳 11.7	ランニング ジョギング 7.2	ゴルフ 7.0	エアロビクス・ヨガ トレーニング 5.3 5.4
秋	ウォーキング 18.5	ランニング 10.8	ゴルフ 10.7	テニス 5.8	エアロビクス・ヨガ 自転車・サイクリング 登山 5.2 5.2 5.2
冬	ウォーキング 17.3	スキー 11.5	ランニング 9.7	スノーボード 6.5	トレーニング 6.3

表 S-7 1年間で運動やスポーツを実施した理由

単位：(%)

総数 n=1037		男性 n=479		女性 n=532	
健康のため	63.6	健康のため	63.3	健康のため	63.3
楽しみ、気晴らしとして	50.3	楽しみ、気晴らしとして	52.0	楽しみ、気晴らしとして	49.6
運動不足を感じるから	41.1	体力増進・維持のため	39.9	運動不足を感じるから	44.5
体力増進・維持のため	39.4	運動不足を感じるから	37.8	体力増進・維持のため	38.2
筋力増進・維持のため	29.1	友人・仲間との交流として	30.7	筋力増進・維持のため	30.3
友人・仲間との交流として	25.7	筋力増進・維持のため	27.6	肥満解消、ダイエットのため	27.6
肥満解消、ダイエットのため	22.8	肥満解消、ダイエットのため	17.3	友人・仲間との交流として	20.9
家族のふれあいとして	13.0	家族のふれあいとして	8.8	家族のふれあいとして	17.3
自己の記録や能力を向上させるため	6.4	自己の記録や能力を向上させるため	8.6	美容のため	8.1
美容のため	4.3	精神の修養や訓練のため	4.8	自己の記録や能力を向上させるため	4.5
精神の修養や訓練のため	3.9	美容のため	0.4	精神の修養や訓練のため	3.0
その他	3.4	その他	2.3	その他	4.3
わからない	0.9	わからない	1.5	わからない	0.4
無回答	0.7	無回答	0.2	無回答	0.9

表 S-8 運動・スポーツをしなかった理由

	総数 n=110		男性 n=34		女性 n=73	
1位	仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから	47.3	機会がなかったから	32.4	仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから	53.4
2位	機会がなかったから	30.0	仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから	29.4	機会がなかったから	30.1
3位	面倒くさいから	23.6	面倒くさいから	29.4	面倒くさいから	20.5
4位	運動・スポーツが好きではないから	18.2	年を取ったから	23.5	運動・スポーツが好きではないから	17.8
5位	年を取ったから	18.2	仲間がいないから	17.6	年を取ったから	16.4
6位	お金がかかるから	5.5	運動・スポーツが好きではないから	17.6	お金がかかるから	16.4
7位	体が弱いから	3.6	体が弱いから	14.7	体が弱いから	11.0
8位	場所や施設がないから	3.6	場所や施設がないから	8.8	場所や施設がないから	8.2
9位	仲間がいないから	2.7	お金がかかるから	8.8	仲間がいないから	4.1
10位	指導者がいないから	0.0	指導者がいないから	0.0	指導者がいないから	2.7
	特に理由はない	3.6	特に理由はない	17.6	特に理由はない	19.2

図 S-2 自分の体力についてどのように感じているか

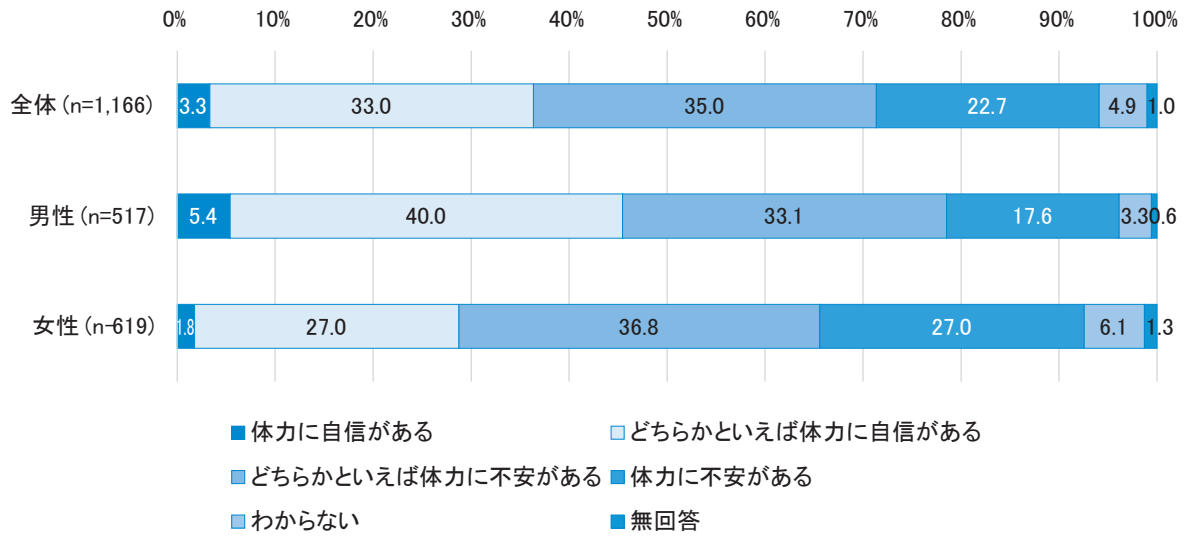


図 S-3 運動不足を感じている人の割合

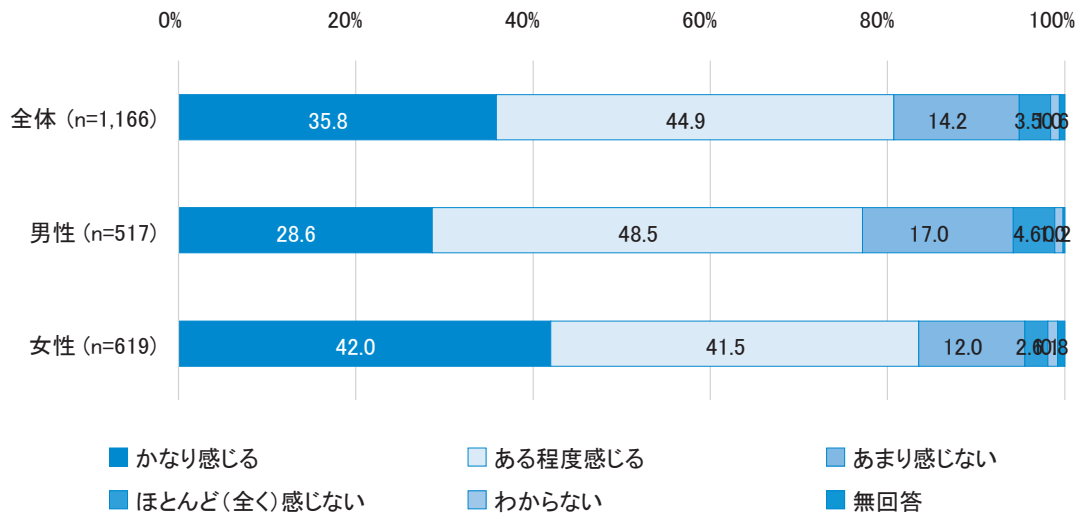


図 S-4 健康の維持増進のために運動やスポーツをしたいと思うか

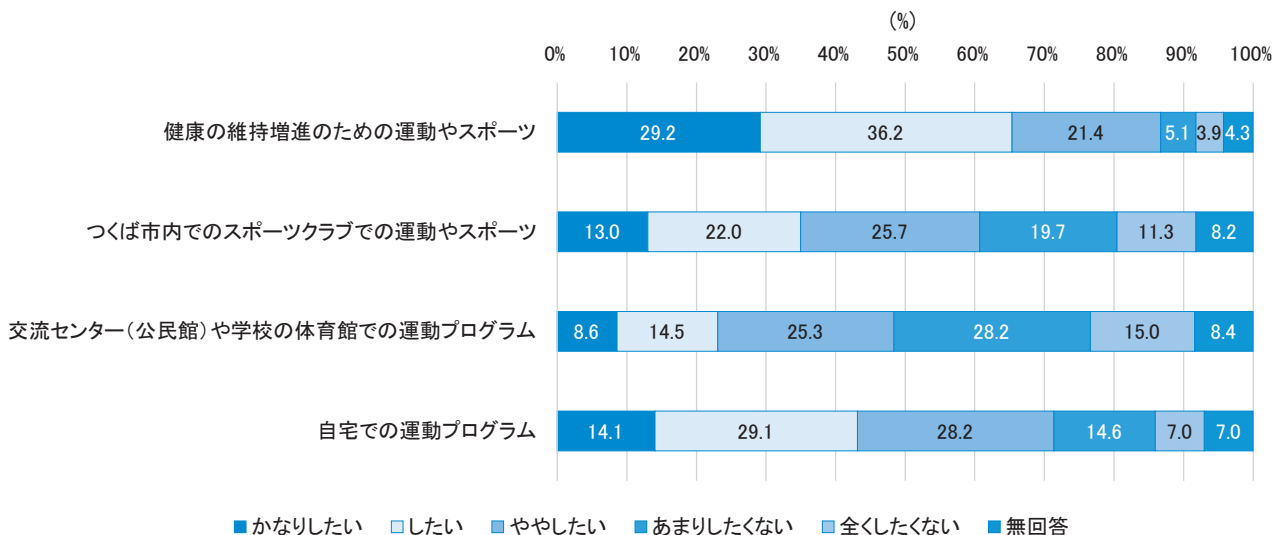


図 S-5 つくば市内のスポーツクラブへの参加状況

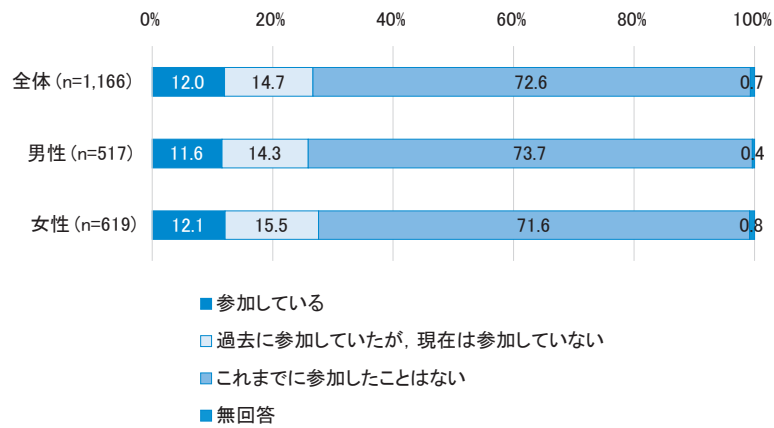


図 S-6 スポーツクラブの主たる活動場所

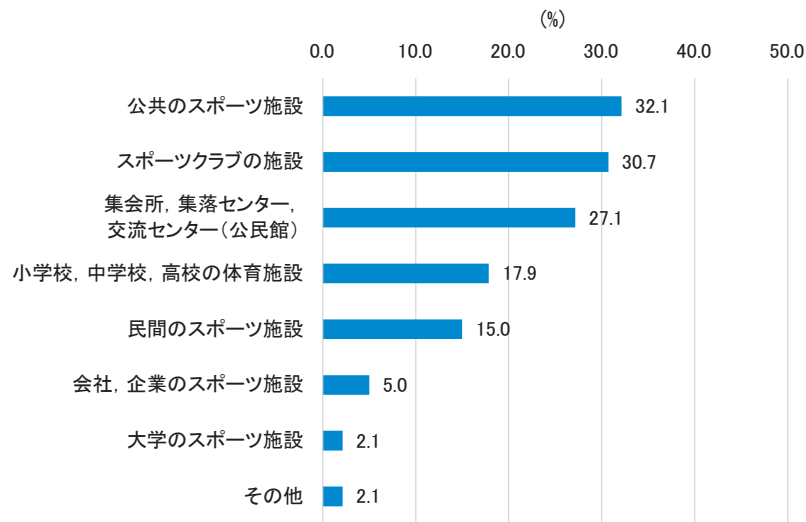


図 S-7 参加したいスポーツクラブ

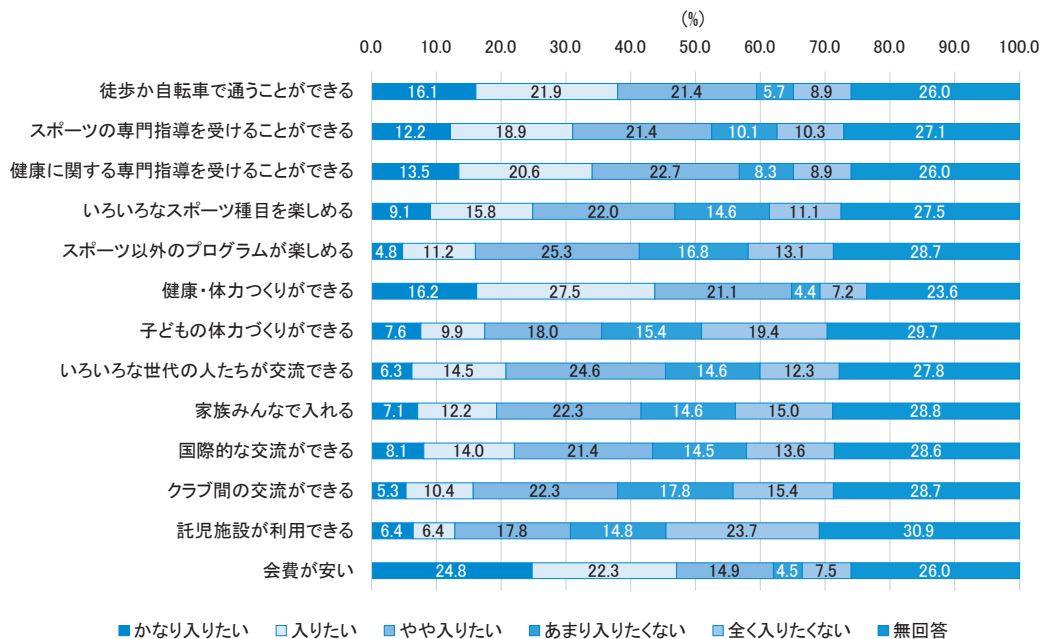


表 S-9 平成 29 (2017) 年度つくば市体育協会団体登録状況

専門部

H30.1.5 現在

No.	種目名	グループ数	助成対象会員数	追加登録数	総会員数
1	野球	66	1,156	102	1,258
2	ソフトボール	18	272	48	320
3	バレーボール	18	188	11	199
4	バドミントン	35	723	97	820
5	ソフトテニス	3	1	2	3
6	テニス	1	358	0	358
7	剣道	9	131	29	160
8	スキー	4	147	0	147
9	バスケットボール	27	382	110	492
10	卓球	26	231	33	264
11	水泳	1	10	0	10
12	陸上競技	1	28	0	28
13	空手道	1	3	0	3
14	パワーリフティング	1	20	0	20
15	ゲートボール	1	58	0	58
16	ゴルフ	1	362	109	471
17	ハンドボール	2	1	7	8
18	フォークダンス	3	21	0	21
19	サッカー	38	766	153	919
20	グラウンドゴルフ	3	99	2	101
21	アーチェリー	2	43	0	43
	合計	261	5,000	703	5,703

スポーツ少年団

H29.8.28 現在

No.	種目名	グループ数	団員数	指導員数	合計人数
1	野球	16	426	122	548
2	剣道	14	315	120	435
3	サッカー	24	958	167	1,125
4	ミニバスケットボール	18	327	80	407
5	空手道	4	88	11	99
6	ハンドボール	3	96	14	110
7	柔道	1	31	7	38
8	バレーボール	8	115	29	144
9	バドミントン	1	28	3	31
10	陸上競技	1	29	7	36
11	少林寺拳法	1	14	6	20
12	飛び込み	1	11	7	18
13	ゴルフ	1	14	5	19
14	新体操	1	23	4	27
15	ストリートダンス	1	257	32	289
16	スポーツ鬼ごっこ	2	34	4	38
	合計	97	2,766	618	3,384

表 S-10 平成 30 (2018) 年度つくば市各区会運動・スポーツ実態調査

連合名	地区名	区会名	実施内容(年代)
茎崎	若栗	若栗	健康体操(60代～)
茎崎	池向	池向	リハビリ体操および輪投げ(65歳～)
茎崎	梅ヶ丘	梅ヶ丘	グランドゴルフ(高齢者), 健康体操(高齢者), シルバーリハビリ体操(高齢者)
茎崎	宝陽台	宝陽台	楽しく走ろう歩こう会(中高齢者), ゲートボール(高齢者), 野球(20代～), ゴルフ同好会(30代～), グランドゴルフクラブ(高齢者), 卓球(中高齢者)
茎崎	六斗	六斗	健康体操(高齢者)
茎崎	自由ヶ丘	自由ヶ丘	太極拳(高齢者), 太極拳(高齢者), ソシアルダンス(高齢者), 民舞(高齢者), ペタンク(高齢者), 輪投げ(高齢者), 卓球(高齢者), フラダンス(中高齢者), 体操(高齢者), グランドゴルフ(高齢者), ゲートボール(高齢者)
茎崎	城山	城山	ゴルフ(中高齢者), グランドゴルフ(中高齢者), 野球(中高齢者), 体操(中高齢者), ヨーガ(中高齢者), よさこい(中高齢者), 卓球(中高齢者), ボーリング(中高齢者), 輪投げ(中高齢者)
茎崎	高見原3丁目	高見原3丁目	日舞(60歳), 健康体操(60-80代), 吹き矢(60-80代), ヨガ(40-70代), ゲートボール(65-80代), 太極拳(60-80代), ソフトボール(40-60代)
茎崎	高見原2丁目	高見原2丁目	ラジオ体操(全世代), グランドゴルフ(高齢者), 輪投げ(高齢者), 卓球(中高齢者), ヨガ(中高齢者), 出前体操(高齢者)
茎崎	桜が丘	桜が丘	シルバーリハビリ体操(高齢者), 太極拳(高齢者), グラウンドゴルフ(高齢者), ゴルフ(中高齢者), ラジオ体操と散策(中高齢者), よさこい(中高齢者), 輪投げ(中高齢者)
茎崎	大舟戸	大舟戸	ゴルフ(50代～), ヘラブナ釣り(60代～)
茎崎	富士見台	富士見台	グラウンドゴルフ(60代～), リハビリ体操(60代～)
茎崎	森の里	森の里	卓球(60代～), グラウンドゴルフ(60代～), グラウンドゴルフ(60代～), テニス(60代～), ソフトボール(60代～), 野球(60代～), ゲートボール(60代～), ゲートボール(60代～)
茎崎	小茎	小茎	シルバーリハビリ体操(60代～)
茎崎	あしび野	あしび野	ラジオ体操(多世代), 草野球(60-70), 卓球(60代), 歩く会(60-70), グラウンドゴルフ(60-70), ウォーキング(60-70), 太極拳(60-70), 出前体操教室(60-80), 多世代交流出前教室(60-70)
谷田部	葛城	荻間原	グランドゴルフ(40代～)
谷田部	緑が丘	緑が丘	太極拳, 卓球(10-60代), 練功, フラダンス, グラウンドゴルフ, 常盤会(舞踊)(70代), スクエアステップ&ストレッチ
谷田部	下萱丸	下萱丸	野球(高齢者)
谷田部	研究学園	サーパスつくば研究学園	健康体操(高齢者), マス&ベビー(0-6歳)
谷田部	柳橋	柳橋	シルバーリハビリ体操(60代～)
谷田部	西大沼	西大沼	シルバーリハビリ体操(高齢者)
谷田部	小野川	小野川	グラウンドゴルフ(60代～)
谷田部	小白碓	谷田部グリーンハイツ	グラウンドゴルフ(60代～), 体操リフレッシュ(60代～), カーレット(60代～)
谷田部	小野崎	小野川体協	ペタンク(10-70代), グラウンドゴルフ(10-70代), ソフトボール(10-50代), 大運動会(10-70代), バトミントン(20-60代)
谷田部	手代木	手代木	シルバーリハビリ体操(60代～)
谷田部	真瀬	富士見ヶ丘	グラウンドゴルフ(各年代), ヨガ(各年代), フラダンス(40-70代)
谷田部	研究学園	パークハウスつくば研究学園	ラジオ体操(60代～), グラウンドゴルフ(60代～), ゴルフ(50代～), ヨガ(60代～), フラダンス(60代～), 歴史探索ウォーキング(60代～)
谷田部	小野川	上横場	小野川体協行事参加
谷田部	遠見塚	遠見塚婦人会	多世代出前教室(50-60代)
大穂	吉沼	明戸	健康体操(高齢者)
大穂	蓮沼	蓮沼	グランドゴルフ(60代～), 健康体操(高齢者), 輪投げ(60代～)

連合名	地区名	区会名	実施内容(年代)
大穂	前野	上内	グランドゴルフ(60代～)
大穂	前野	北坪	リハビリ体操(65～)
大穂	前野	東坪	リハビリ体操(65歳)
大穂	長高野	岩崎	グランドゴルフ(高齢者), 輪投げ(高齢者), 出前講座(60代～)
大穂	吉沼	館笠	体操(70-80代)
大穂	大穂	猿壁	グランドゴルフ(60-70代), 健康体操(60-80代), 輪投げ(60-80代)
大穂	若森	若森	出前体操(60-70代), 出前体操(70-80代)
大穂	吉沼	戸ノ山	体操(高齢者)
大穂	吉沼	向町, 寺山	健康体操(65～)
大穂	大曾根下	大曾根下	ボーリング大会(各年代)
大穂	要	口ノ堀	グラウンドゴルフ(高齢者), 輪投げ(高齢者), 吹き矢(高齢者)
豊里	沼崎	辻	健康体操(高齢者)
豊里	権下	上郷中央グランドゴルフ同好会	グランドゴルフ(65歳以上)
豊里	権下	権下睦会	シルバーリハビリ体操(65歳以上)
豊里	上郷	上郷	グランドゴルフ(60代～)
豊里	上郷	上宿	シルバーリハビリ体操(高齢者)
豊里	東光台	東光台	卓球(65～), グラウンドゴルフ(70～), シルバーリハビリ体操(65～), 体操と交流会(60～), テニス(60代)
豊里	上郷	権上	体操(高齢者)
桜	花室	花室	ゴルフ親睦会(60代～), ゴルフ花住会(60代～), ゴルフなかよし会(60代～), スポーツフェスティバル(小学生)
桜	栄	大	健康体操(65～)
桜	栄	栄二区	バレーボール(成人), 剣道(小学生), ゴルフ(高齢者)
桜	横町	横町	シルバーリハビリ体操(高齢者)
桜	上ノ室	上ノ室北	グラウンドゴルフ(高齢者)
桜	下広岡	桜ニュータウン 北・中・南	グラウンドゴルフ(高齢者), シルバーリハビリ体操(高齢者), 卓球(高齢者), ラジオ体操(全世代), 多世代出前教室(高齢者), 社交ダンス(高齢者), ゴルフ(中高齢者), クロケータ(高齢者)
桜	下広岡	二区	歩く会(桜南地区全体で)(各年代)
桜	竹園	千現一	グラウンドゴルフ(高齢者), 出前体操(高齢者), ヨガ(高齢者)
桜	桜	松栄	シルバーリハビリ体操(60代～), スクエアステップエクササイズ(60代～), ペタンク/グラウンドゴルフ(60代～), ゲートボール(60代～)
桜	大角豆	下大角豆	健康体操(60代～)
桜	桜	大角豆南	健康体操(60代～)
筑波	洞下	洞下上宿	体操(60代～)
筑波	北条	横町区	健康体操(60代～)
筑波	筑波	沼田	シルバー体操(70歳以上), 出前体操(60-70), グランドゴルフ(60-70), ゲートボール(70-80), シニア体操(70～), 卓球(70～), ストレッチ(50～), 卓球(50～), ストレッチ(50～)
筑波	水守	水守	グランドゴルフ(60-80代), 輪投げ(60-80代), ペタンク(60-80代), スポーツ吹き矢(60-80代), ゴルフ(30-50代)
筑波	小沢	小沢	シルバーリハビリ体操(高齢者), 親睦レクリエーション(全世代)
筑波	館, 神郡	館	体操(高齢者)
筑波	国松	国松上郷	健康体操(高齢者)
筑波	北条	新町1・新町2	シルバーリハビリ体操(60代～)
筑波	北条	内町第1区	出前体操教室(70代)
筑波	北条	仲町第1区会	体操(各年代)
筑波	筑波	明石	シルバーリハビリ体操(高齢者), 輪投げ(高齢者)

図 S-8 運動やスポーツの主たる活動場所

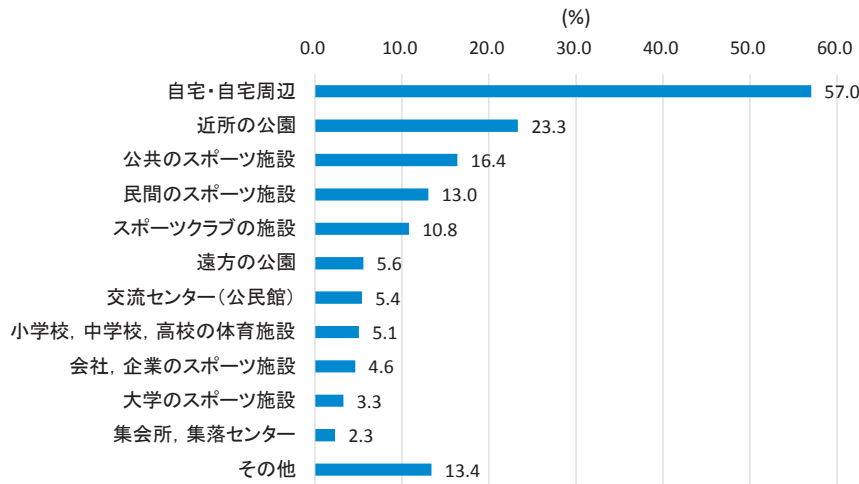


表 S-11 運動やスポーツの主たる活動場所

単位: (%)

順位	総数 n=1166		男性 n=517		女性 n=619	
	場所	割合 (%)	場所	割合 (%)	場所	割合 (%)
1位	自宅・自宅周辺	57.0	自宅・自宅周辺	59.4	自宅・自宅周辺	55.1
2位	近所の公園	23.3	近所の公園	24.8	近所の公園	22.5
3位	公共のスポーツ施設	16.4	公共のスポーツ施設	19.7	公共のスポーツ施設	13.9
4位	民間のスポーツ施設	13.0	民間のスポーツ施設	14.9	スポーツクラブの施設	12.6
5位	スポーツクラブの施設	10.8	スポーツクラブの施設	8.7	民間のスポーツ施設	11.3
6位	遠方の公園	5.6	遠方の公園	6.6	交流センター(公民館)	8.1
7位	交流センター(公民館)	5.4	会社, 企業のスポーツ施設	6.6	小学校, 中学校, 高校の体育施設	5.3
8位	小学校, 中学校, 高校の体育施設	5.1	小学校, 中学校, 高校の体育施設	4.8	遠方の公園	4.5
9位	会社, 企業のスポーツ施設	4.6	大学のスポーツ施設	4.3	会社, 企業のスポーツ施設	2.9
10位	大学のスポーツ施設	3.3	交流センター(公民館)	1.7	集会所, 集落センター	2.7
11位	集会所, 集落センター	2.3	集会所, 集落センター	1.7	大学のスポーツ施設	2.6
	その他	13.4	その他	16.2	その他	11.5
	無回答	9	無回答	7	無回答	11.5

図 S-9 公共スポーツ施設について望むこと

(全体 n=1,166)

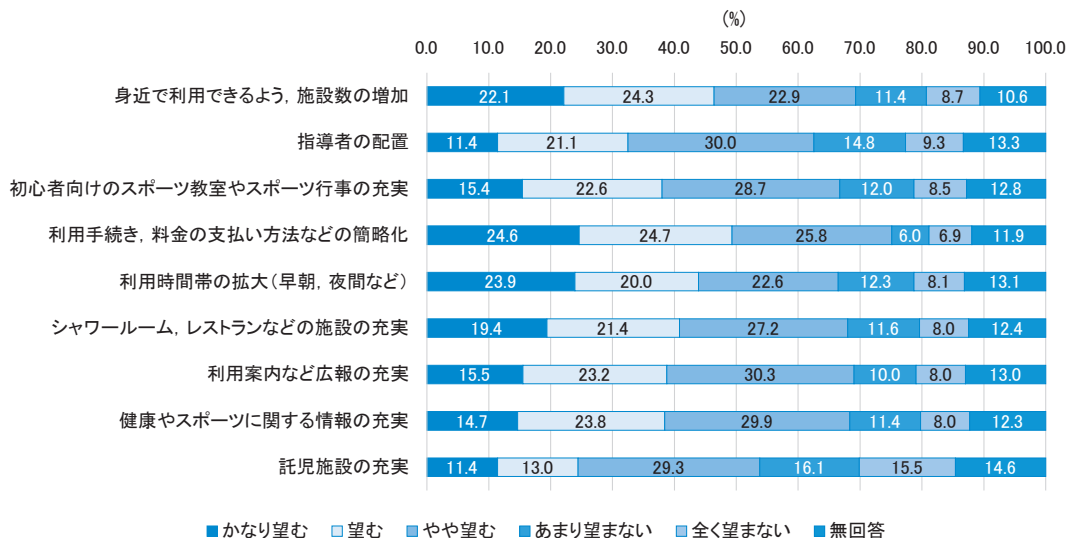


図 S-10 スポーツ環境の整備に関する意識

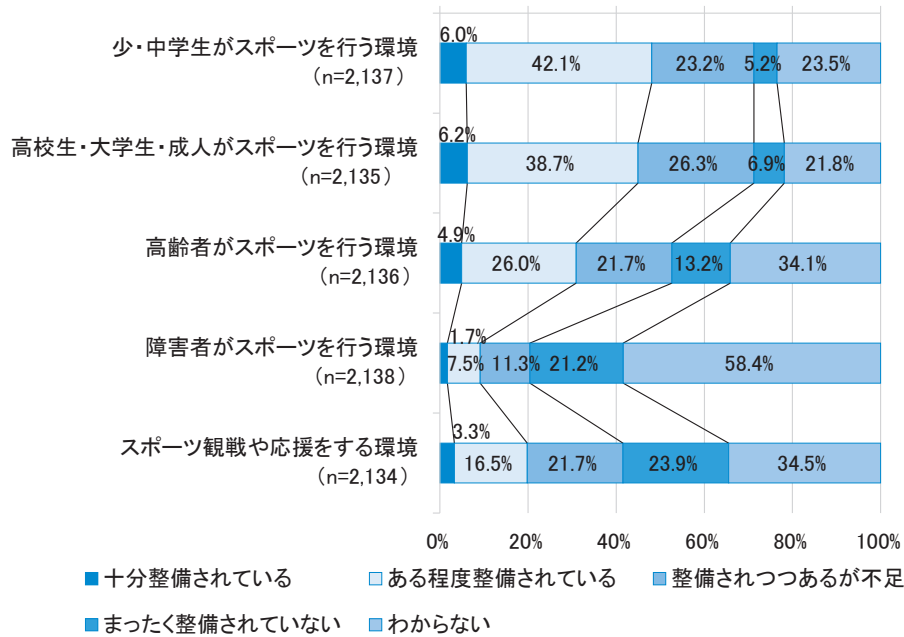


表 S-12 体育施設の利用人数

施設等名称	平成29年度 (2017)	平成24年度 (2012)	施設等名称	平成29年度 (2017)	平成24年度 (2012)
	利用人数	利用人数		利用人数	利用人数
谷田部総合体育館	67,998	63,038	台山公園	1,936	3,327
桜総合体育館	96,514	112,015	さくら公園	2,839	2,833
大穂体育館	16,363	15,367	二の宮公園	21,943	22,615
吉沼体育館	25,365	25,679	東光台運動公園	4,714	17,136
豊里体育館	19,451	17,931	手代木公園	19,332	26,155
東光台体育館	22,124	19,625	羽成公園	8,078	10,463
筑波総合体育館	28,532	31,778	小貝川スポーツ公園	11,637	11,214
豊里柔剣道場	8,781	15,519	大池公園	9,772	11,381
吉沼野球場	4,861	6,627	桜南スポーツ公園	12,407	14,077
谷田部野球場	8,687	10,468	さくら運動公園	27,734	27,572
豊里多目的広場	3,266	10,742	荜崎運動公園	82,174	79,663
大崎公園	10,814	3,035	高崎サッカー場	13,537	15,949
谷田部テニスコート	25,727	22,987	高見原ソフトボール場	13,289	6,701
豊里テニスコート	15,189	19,811	ファミリースポーツ公園	1,019	1,292
科学万博記念公園	11,012	14,709	セキショウチャレンジ スタジアム	57,355	56,790
竹園東公園	9,972	7,353	つくばウェルネスパーク スポーツフィールド	8,836	9,301
かつらぎ公園	10,829	8,026	総計	709,538	733,203
筑波北部公園	27,451	21,024			

表 S-13 体育施設の利用件数及び予約システムの利用件数

施設等名称	平成29(2017)年度		平成24(2012)年度		施設等名称	平成29(2017)年度		平成24(2012)年度	
	合計	予約システムからの利用状況	合計	予約システムからの利用状況		合計	予約システムからの利用状況	合計	予約システムからの利用状況
谷田部総合体育館	17,602	3,058	9,273	1,153	台山公園	437	269	670	405
桜総合体育館	9,190	2,516	6,845	1,230	さくら公園	816	563	594	402
大穂体育館	1,353	598	1,227	337	二の宮公園	4,253	2,158	4,801	1,971
吉沼体育館	1,282	519	1,154	393	東光台運動公園	1,517	973	1,925	1,087
豊里体育館	1,300	627	1,193	378	手代木公園	2,636	848	3,101	596
東光台体育館	1,851	776	1,766	691	羽成公園	1,265	413	1,565	500
筑波総合体育館	1,583	820	1,264	472	小貝川スポーツ公園	1,092	459	882	351
豊里柔剣道場	753	358	849	383	大池公園	1,156	568	970	370
吉沼野球場	143	44	232	79	桜南スポーツ公園	7,735	649	2,209	590
谷田部野球場	378	196	380	133	さくら運動公園	2,902	1,550	3,049	1,537
豊里多目的広場	167	96	471	186	荃崎運動公園	8,427	3,637	7,236	2,592
大崎公園	299	20	171	112	高崎サッカー場	226	48	249	88
谷田部テニスコート	4,286	1,795	3,448	1496	高見原ソフトボール場	448	232	249	144
豊里テニスコート	986	446	1,009	528	ファミリースポーツ公園	260	237	290	191
科学万博記念公園	2,712	1,344	3,278	1,579	セキシウチャレンジスタジアム	1,489	671	1,754	609
竹園東公園	1,395	753	1,295	656	つくばウェルネスパークスポーツフィールド	126	76	112	45
かつらぎ公園	1,772	346	1,715	572	総計	87,101	30,766	68,872	23,539
筑波北部公園	5,264	3,103	3,585	1,683					

図 S-11 施設別にみる予約方法の満足度

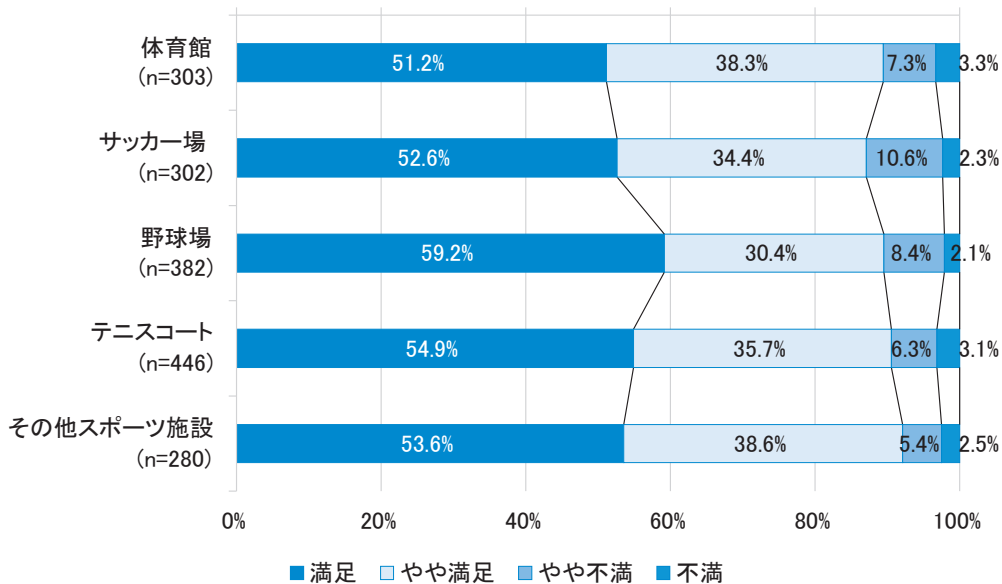


表 S-14 公園における運動施設等の設置状況（平成 29（2017）年度）

公園名	陸上競技場計 (箇所)	野球場 (箇所)	多目的 広場	テニス コート 箇所	テニス コート 面	体育館 (棟)	プール 屋外 (水槽数)	プール 屋内 (水槽数)	フットサル、バスケットボールコート (箇所)
さくら運動公園	0	1	0	1	5	1	0	0	0
荃崎運動公園	0	1	1	1	8	1	0	0	0
大池公園	0	1	0	1	2	1	0	0	0
筑波北部公園	0	0	0	1	12	0	0	0	0
花畑近隣公園	0	1	0	0	0	0	2	0	0
竹園東公園	0	0	0	1	2	0	0	0	0
桜南スポーツ公園	0	1	0	1	2	0	0	0	0
かつらぎ公園	0	0	0	1	2	0	0	0	0
二の宮公園	0	0	0	1	6	0	2	0	0
手代木公園	0	1	0	1	3	0	0	0	0
羽成公園	0	1	0	1	2	0	0	0	0
東光台運動公園	0	0	1	1	2	0	0	0	0
大崎公園	0	1	0	0	0	0	0	0	0
台山公園	0	0	0	1	2	0	0	0	0
科学万博記念公園	0	0	1	1	5	0	0	0	0
さくら公園	0	0	0	1	2	0	0	0	0
小貝川スポーツ公園	0	1	1	1	2	0	0	0	0
荃崎ファミリースポーツ公園	0	0	0	1	1	0	0	0	0

表 S-15 公園スポーツ施設の利用者数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
利用者数	270,999	279,287	292,094	288,291	273,663

表 S-16 つくばウェルネスパーク利用者数の推移

	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
来館者数	232,856	245,435	247,784	256,762	241,988	240,005
ヘルスプラザ利用者数	166,765	182,146	183,452	187,047	177,164	173,809

表 S-17 つくば市野外活動施設の利用者数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
豊里ゆかりの森	62,289	63,403	67,867	67,666	66,959
筑波ふれあいの里	22,693	25,202	25,453	25,681	25,565
荃崎こもれび六斗の森	10,840	12,489	13,696	13,784	14,289

表 S-18 つくばカピオアリーナの利用状況の推移

	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
利用日数	293	264	294	295	330	343
利用者数	107,025	82,008	97,529	120,865	112,353	109,606
稼働率	91%	99.25%	99%	96%	99%	100%

表 S-19 地域交流センタースポーツ関連施設の利用状況の変化

管理施設名	施設名	平成 24(2012) 年度 利用者数	平成 29(2017) 年度 利用者数
荃崎交流センター	芝生広場	4,029 人	6,105 人
島名交流センター	テニスコート	1,605 人	2,810 人

表 S-20 平成 29 (2017) 年度地域交流センター運動・スポーツ関連講座開催状況

実施場所	講座名	参加者数	対象
大穂交流センター	はじめてのヨガ	68	成人一般
吉沼交流センター	はじめてのわくわくフラダンス	48	女性
豊里交流センター	大人のためのリトミック	28	成人一般
	ひとりで踊れるラテン・ダンス	81	成人一般
谷田部交流センター	ラテンダンス	196	成人一般
	初めてのグランド・ゴルフ	120	成人一般
松代交流センター	ヨガで健康	86	女性
	いきいき脳内活性リトミック	36	成人一般
二の宮交流センター	誰にでもできる太極拳	115	成人一般
	自力整体&ストレッチ	76	成人一般
島名交流センター	ゆる〜く楽しい立腰体操	65	成人一般
	親子空手教室	58	成人一般
	腰痛・肩こりのための骨盤調整体操	118	成人一般
小野川交流センター	タヒチアンダンス	70	女性
桜交流センター	足裏健康法&さとう式リンパケア	81	成人一般
並木交流センター	楽しく学ぶ健康気功法	47	成人一般
広岡交流センター	あなたを守る護身術	14	成人一般
吾妻交流センター	立腰体操でゆる楽しい健康ダイエット	119	成人一般

表 S-21 ふれあいプラザスポーツ関連施設利用状況

施設名	平成 24 (2012) 年度 利用者数	平成 25 (2013) 年度 利用者数	平成 26 (2014) 年度 利用者数	平成 27 (2015) 年度 利用者数	平成 28 (2016) 年度 利用者数	平成 29 (2017) 年度 利用者数
プール	14,109	12,514	15,781	16,038	17,151	18,009
ホール	15,927	18,120	18,402	15,764	16,815	16,569
軽運動室	8,943	7,824	6,012	6,630	7,216	6,606

表 S-22 いきいきプラザ運動教室の参加状況の推移

教室名		平成 24 (2012) 年度	平成 25 (2013) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度
いきいき運 動教室	延べ数	7,574	4,936	4,728	5,607	5,799	6,187
	参加者	258	167	164	195	209	205
元気はつら つ運動教室	延べ数	1,160	1,956	2,311	2,970	3,338	3,318
	参加者	43	68	80	120	111	122

表 S-23 平成 29 (2017) 年度のつくば市学校体育施設開放の状況

	地区名	学校名	グラウンド	体育館	武道場	その他の 屋内運動場	備考
1	谷田部	葛城小	○	○			
2		松代小	○	○			
3		手代木南小	○	○			
4		小野川小	○	○			
5		真瀬小	○	○			
6		谷田部小	○	○			
7		谷田部南小	○	○			
8		島名小	○	○			
9		東小	○	○			
10		二の宮小	○	○			
11		柳橋小	×	○			
12		手代木中	×	○	○		
13		谷田部中	×	○	○		
14		高山中	×	○	○		
15		春日学園	×	○	○		
16	桜	栄小	○	○			
17		九重小	○	○			
18		栗原小	○	○			
19		吾妻小	○	○			
20		桜南小	○	○			
21		竹園東小	○	○		プレイルーム○	
22		竹園西小	○	○			
23		並木小	○	○			
24		吾妻中	×	○			
25		桜中	×	○	○		
26		並木中	×	○	○		
27	筑波	作岡小	○	×			耐震 NG
28		小田小	○	×			耐震 NG
29		北条小	○	×			耐震 NG
30		菅間小	○	○			
31		筑波小	○	×			耐震 NG
32		田井小	○	○			
33		田水山小	○	○			
34	筑波西中	×	○	○			
35	筑波東中	×	○	○			
36	豊里	今鹿島小	○	○			
37		沼崎小	○	○			
38		上郷小	×	○			
39	豊里中	×	○	○			
40	茎崎	茎崎一小	○	○			
41		茎崎二小	○	○			
42		茎崎三小	○	○			
43		茎崎中	×	○	○	卓球場○	
44		高崎中	×	○	○	卓球場○	
45	大穂	吉沼小	○	○			
46		前野小	○	○			
47		大曾根小	○	○			
48		要小	○	○			
49		大穂中	×	○	○		

図 S-12 今後スポーツ環境はどうあるべきかに対する市民の考え

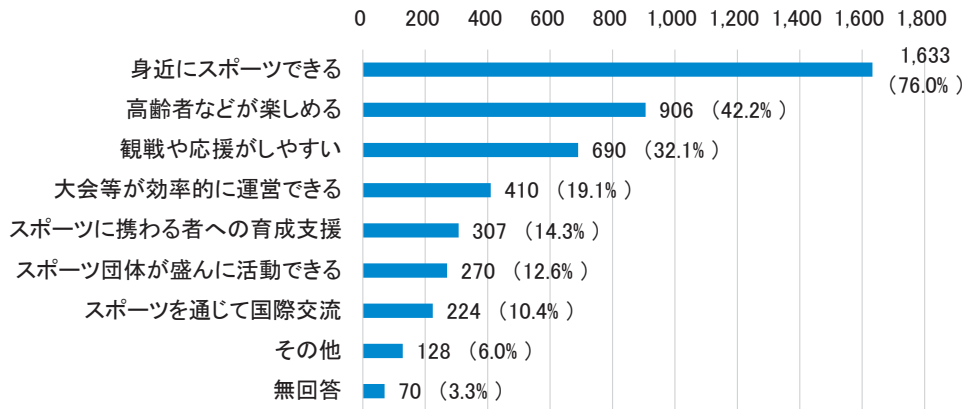


図 S-13 地区別に見た公共スポーツ施設の整備のあり方に対する市民の考え

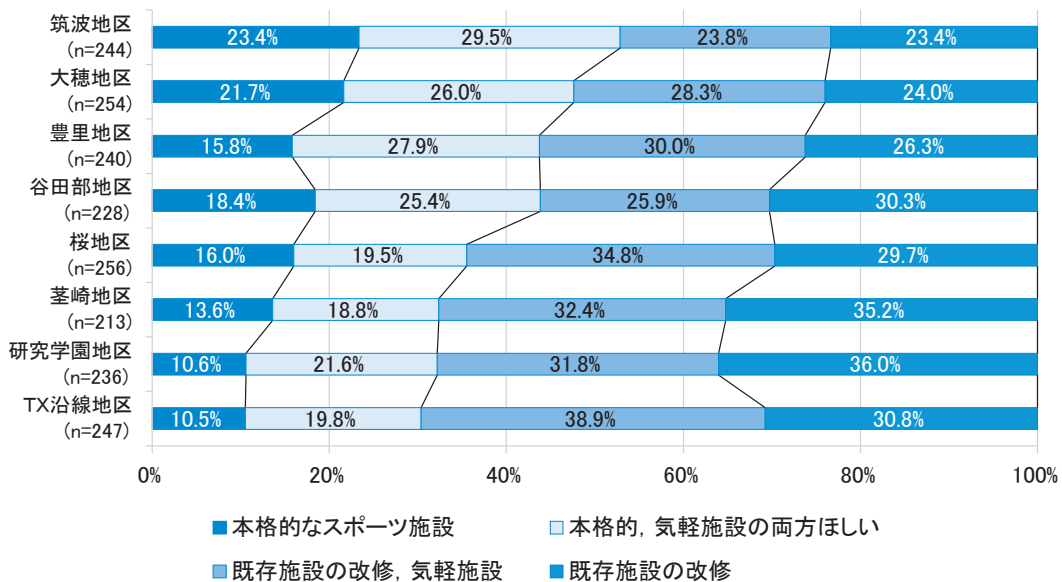


図 S-14 公共スポーツ施設の整備・充実についての市民の考え

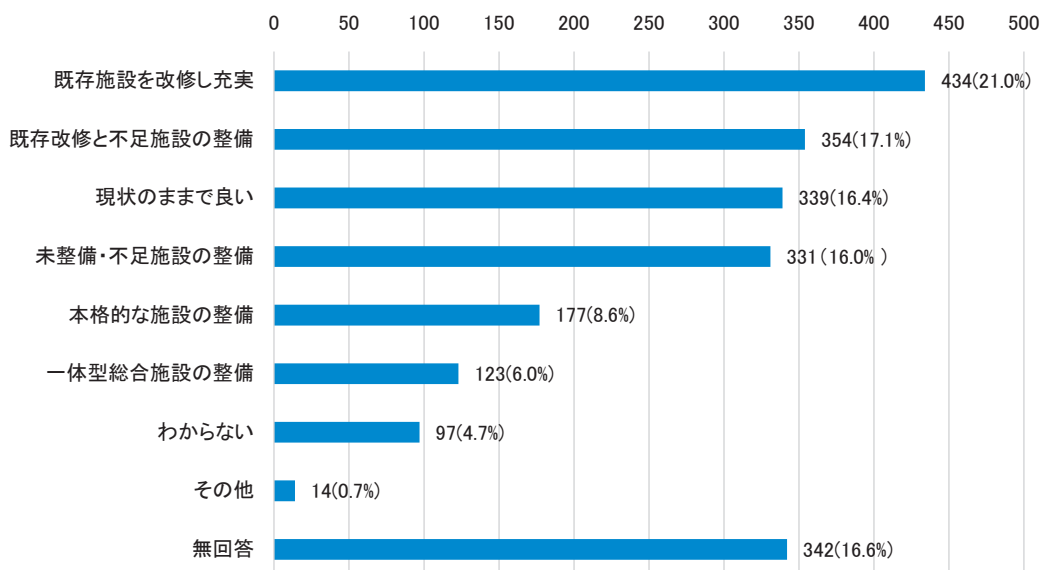


図 S-15 今後新たに作る必要があると市民が考える公共スポーツ施設

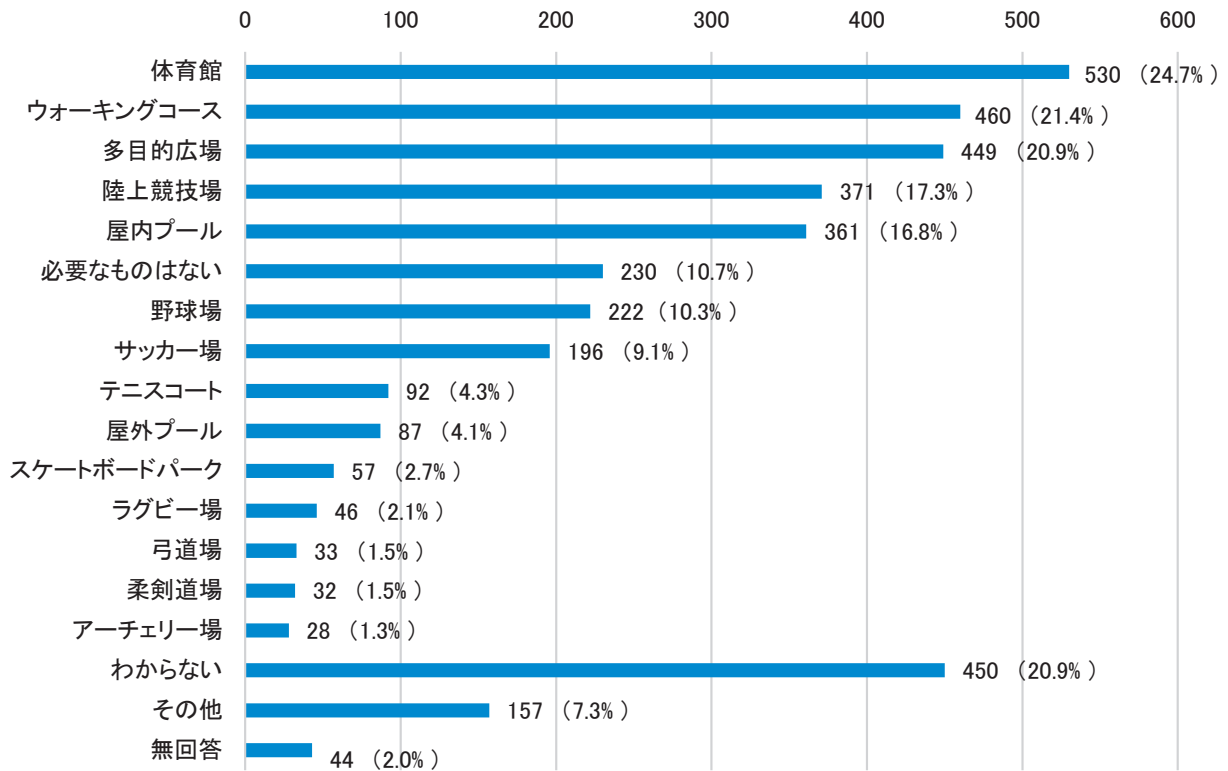


図 S-16 既存公共スポーツ施設の改修の必要性

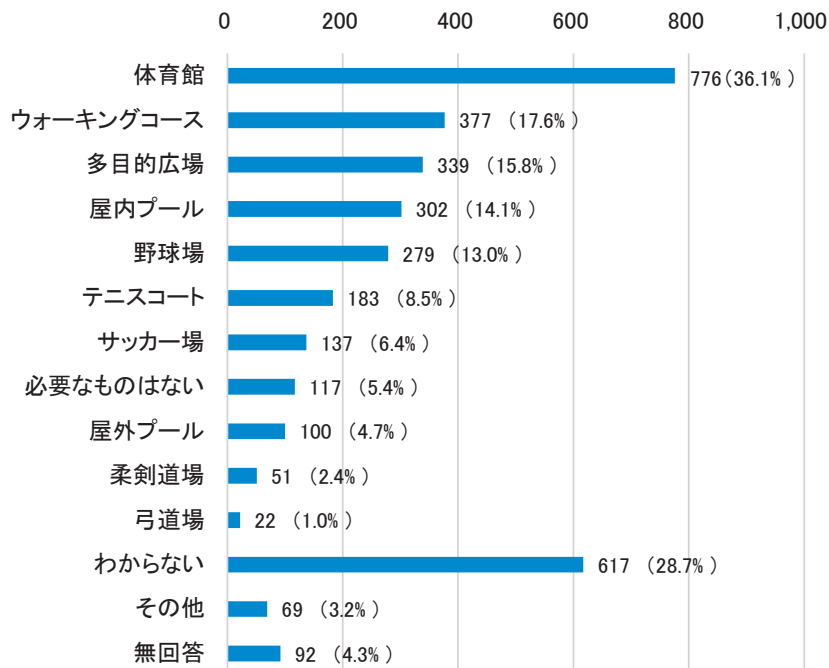


表 S-24 実際の施設利用者が整備すべき
と考える公共スポーツ施設

項目	回答数	割合
体育館	359	34.3%
テニスコート	265	25.3%
野球場	252	24.0%
サッカー場	235	22.4%
陸上競技場	172	16.4%
屋内プール	166	15.8%
多目的広場	142	13.5%
ウォーキング・ランニングコース	124	11.8%
屋外プール	56	5.3%
柔剣道場	32	3.1%
スケートボードパーク	24	2.3%
ラグビー場	19	1.8%
弓道場	18	1.7%
アーチェリー場	11	1.0%
その他	52	5.0%
無回答	51	4.9%
合計	1,978	—

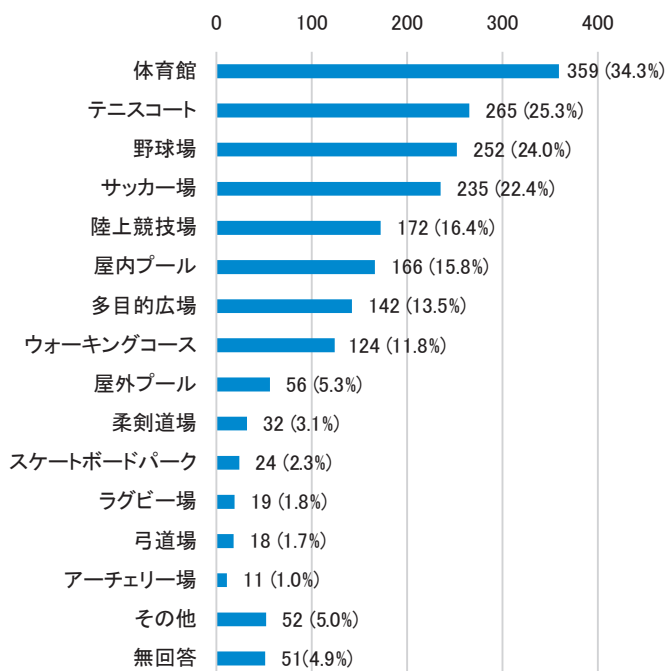
図 S-17 実際の施設利用者が整備すべき
と考える公共スポーツ施設

図 S-18 施設利用者が既存公共スポーツ施設の改修に望むこと

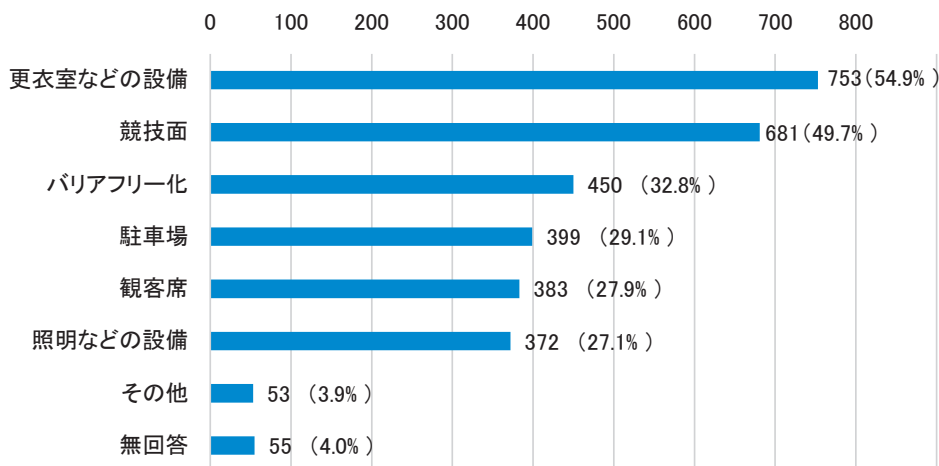


表 S-25 新しい公共スポーツ施設として適切な場所

項目	回答数	割合
広い駐車場が設置可能な土地がある郊外部に立地した方がよい	642	29.9%
市内各地に分散して立地した方がよい	640	29.8%
公共交通機関が充実している駅の周辺の方がよい	410	19.1%
わからない	257	12.0%
その他	138	6.4%
無回答	61	2.8%
合計	2,148	100.0%

図 S-19 新しい公共スポーツ施設として適切な場所に関する地区別の意見

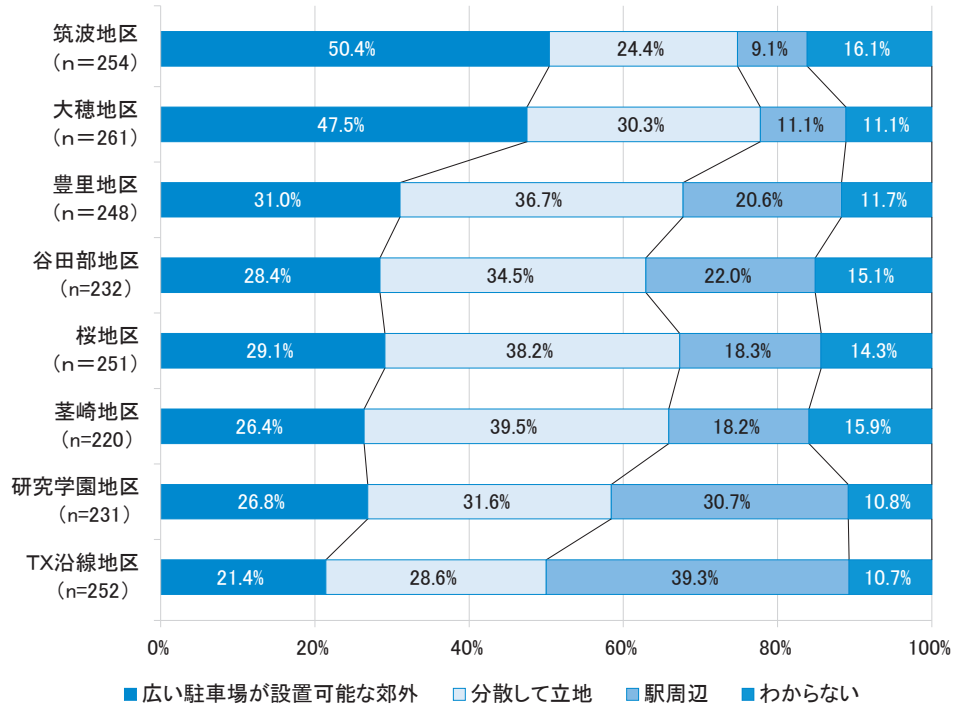
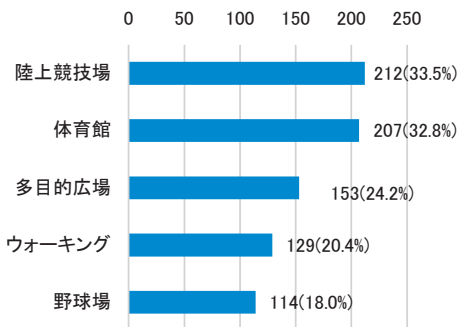
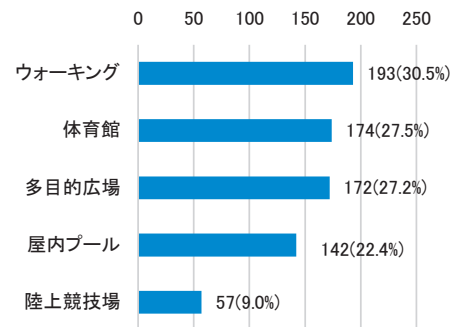


図 S-20 立地場所別で見た新たに整備すべき公共スポーツ施設

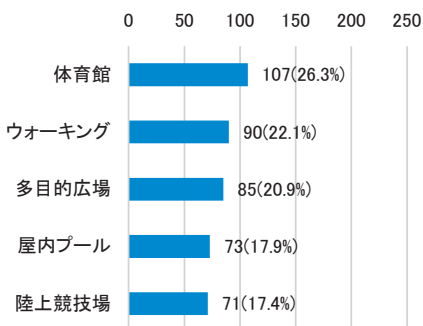
広い駐車場が設置可能な郊外(n=632)



分散して立地(n=633)



駅周辺(n=407)



分からない(n=251)

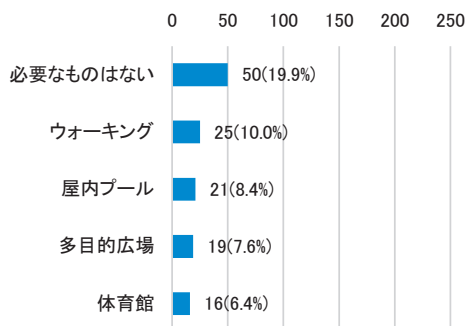


図 S-21 利用したスポーツ施設の満足度

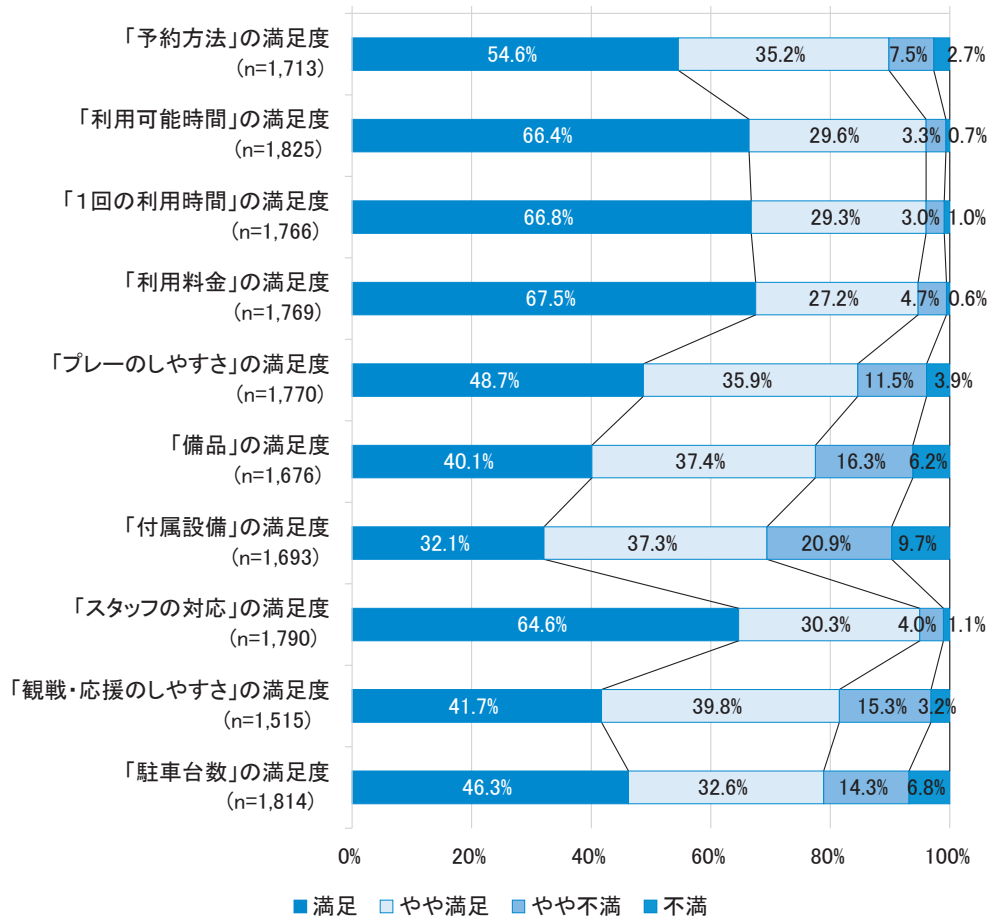


表 S-26 平成 30 (2018) 年度のスポーツ関連施設・公園等の指定管理者の状況

施設名	指定管理者名	所管課
ふれあいプラザ	常陸興業株式会社	文化芸術課
つくばカピオ	公益財団法人つくば文化振興財団	文化芸術課
荃崎こもれび六斗の森	株式会社中泉建設	観光推進課
市民活動センター	NPO スマイルステーション	市民活動課
市民研修センター	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	生涯学習推進課
つくばウェルネスパーク	T.P.H ウェルネス推進グループ	スポーツ振興課
花畑近隣公園, 筑波北部公園, かつらぎ公園, 小貝川スポーツ公園, 松見公園, 研究学園駅前公園	筑波都市整備株式会社	公園・施設課

表 S-27 子どもがやってみたいスポーツ

項目	回答数	割合
バドミントン	758	21.4%
テニス	676	19.1%
バスケットボール	478	13.5%
ランニング	441	12.5%
バレーボール	410	11.6%
卓球	407	11.5%
特にない	399	11.3%
ダンス	375	10.6%
サッカー	346	9.8%
弓道	328	9.3%
水泳	298	8.4%
自転車	234	6.6%
野球	226	6.4%
アーチェリー	171	4.8%
陸上競技	166	4.7%
スケートボード	133	3.8%
剣道	125	3.5%
フットサル	110	3.1%
ハンドボール	109	3.1%
体操・新体操	99	2.8%
ゴルフ	98	2.8%
ラグビー	86	2.4%
柔道	79	2.2%
ソフトボール	39	1.1%
その他	214	6.0%
無回答	192	5.4%
合計	6,997	—

図 S-22 子どもがやってみたいスポーツ

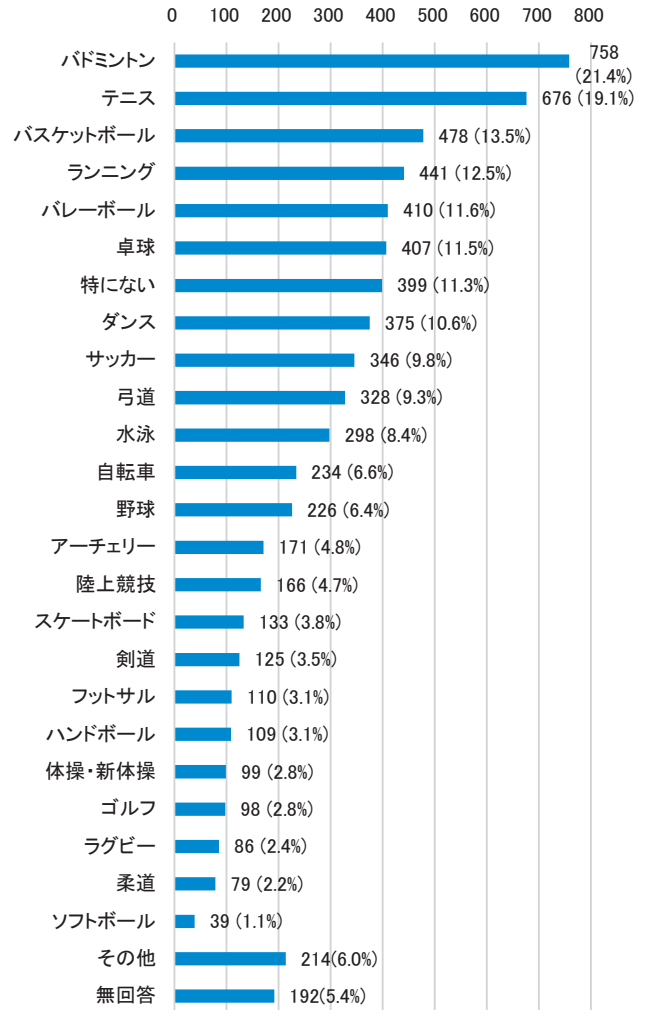


図 S-23 運動やスポーツする時間の1週間の合計時間

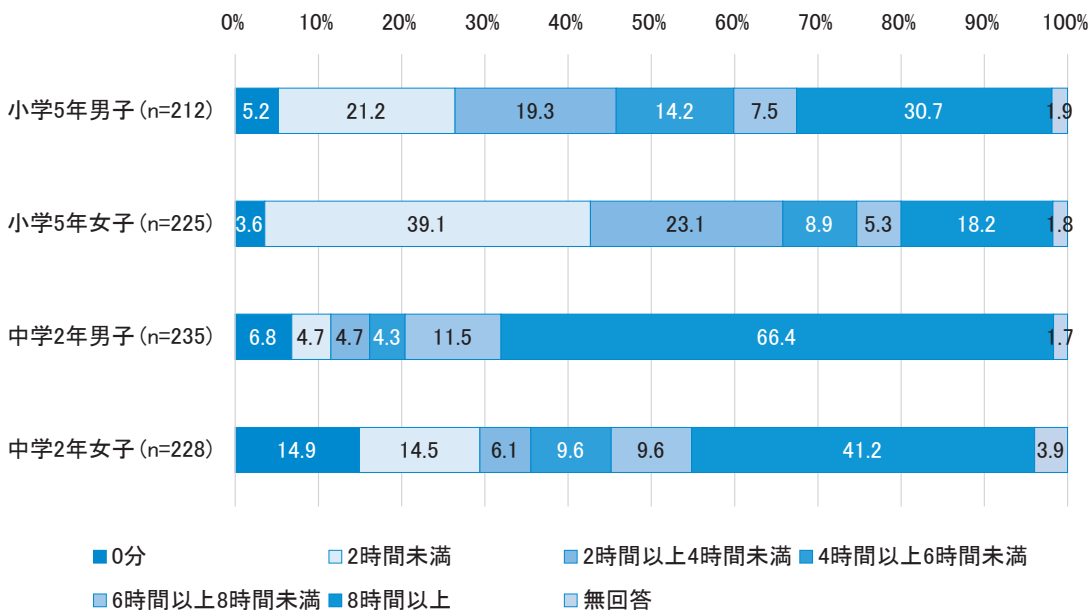


表 S-28 平成 29 年度中学校運動部活動の部員数

平成 29 年度つくば市中学校体育連盟 部員数確認 (部活あり: 上段に記入 部活なし: 下段に記入)

学校名	評議員	理事	野球		バレー		バスケット		テニス		卓球		剣道		柔道		陸上		サッカー		水泳		バドミントン		器械体操		新体操		ハンドボール		部員数 <small>大卒のみが参加</small>
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
大穂	蔵持	園部	20		26		29	17	44	44	36	26	8	7	16	4	20	17	47											360	
豊里	茂在	廣瀬 (会計)	24		46		26	12	53	40	32	13	5	4	2				37	2									354		
谷田部	中島	村上 (副理事)	29	1	42	45	29	31	30	47	23	16	4			24	12	29	15	3						1			380		
高山	岡野	古國	22	2	24		18	27	34	23					6				35										6		
手代木	土田	大原	13		17		25	18	41	37	31	14	11	12			16	23	42			1	1						3		
谷田部東	柳橋	宮本 (幹事)	23	2	33		25	35	40	42	47	17	22	4		32	28	39			23	7							419		
茗溪学園	田代淳一	中嶋洋子 (幹事)	17	1	16		15	15			10	9	13	7	5	3			36	5	8	12	24	18	11	15				240	
桜	田那邊	高野 (副理事長)	16	1	19		23	13			30	31	5	13	10		22	13	30										0		
竹園東	五木田	池田	19		41		29	35	41	25	43	17	13	8		34	32	38			1	1	1	36	43				6		
並木	岡野	高田	24		24		22	16	26	18	25	25	12	8		26	16	33	1		13	8							297		
吾妻	古澤	渡邊 (会計)	17		15		19	20	26	21						17	12	30			2								201		
筑波東	岡野	小島	16		15		24	16		23	23	13	6	5				35											176		
筑波西	田崎	齊藤	13		20		18	3		14	21	5	2	5							1								2		
菱崎	八重樫	篠原	3		13				18	19	16	9						32											115		
高崎	江橋	鈴木	10				30	13	14	19	47	8																	0		
並木中等	中島	須田 康	17		17		14				28		10	17		13	18	23			13	12							50		
春日	石川	三村	25		21		18	21	41	26	16	16	11	2		23	24	33											220		
	男女別部員合計		308	7	90	386	364	292	354	424	461	219	167	98	38	9	237	211	543	8	86	55	70	100	16	15	11	67	41	4677	
	部員合計		315	476	656	778	680	265	47	448	551	141	170	31	108	4677															

表 S-29 平成 21 年度から平成 29 年度までの中学校運動部活動の部員の推移

		野 球		バレー		バスケット		テニス		卓 球		剣 道		柔 道		陸 上		サッカー		水 泳		バドミントン		器械体操		新体操	ハンドボール		部員数 <small>大会のみ参加</small>
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
平成21年度	男女別部員合計	468	5	41	291	346	285	367	467	377	185	169	105	38	20	160	201	548	5	76	44	51	62	15	24	0	30	9	4389
	部員合計	473		332		631		834		562		274		58		361		553		120		113		39		0		39	4389
平成22年度	男女別部員合計	462	3	53	346	339	311	346	400	347	201	174	139	38	18	174	183	533	5	86	37	53	73	12	16	0	58	45	4452
	部員合計	465		399		650		746		548		313		56		357		538		123		126		28		0		103	4452
平成23年度	男女別部員合計	464	2	70	335	338	307	329	446	342	206	165	106	50	15	198	199	564	3	97	42	34	79	12	24	2	57	44	4530
	部員合計	466		405		645		775		548		271		65		397		567		139		113		36		2		101	4530
平成24年度	男女別部員合計	426	1	81	354	352	329	381	459	356	203	178	127	54	17	197	181	586	6	98	62	39	75	12	20	5	65	39	4703
	部員合計	427		435		681		840		559		305		71		378		592		160		114		32		5		104	4703
平成25年度	男女別部員合計	402	0	73	349	345	334	369	468	359	242	156	131	44	21	181	198	627	5	94	66	46	82	15	29	8	62	39	4745
	部員合計	402		422		679		837		601		287		65		379		632		160		128		44		8		101	4745
平成26年度	男女別部員合計	364	8	54	354	338	303	387	440	364	209	152	137	33	24	180	192	604	10	95	61	41	64	18	22	7	60	44	4565
	部員合計	372		408		641		827		573		289		57		372		614		156		105		40		7		104	4565
平成27年度	男女別部員合計	327	8	77	355	367	299	381	456	359	242	150	116	36	16	210	204	554	13	108	63	49	82	18	21	5	44	20	4580
	部員合計	335		432		666		837		601		266		52		414		567		171		131		39		5		64	4580
平成28年度	男女別部員合計	312	6	53	399	362	284	368	444	432	225	156	106	36	10	237	238	545	9	98	57	55	87	12	16	4	76	38	4665
	部員合計	318		452		646		812		657		262		46		475		554		155		142		28		4		114	4665
平成29年度	男女別部員合計	308	7	90	386	364	292	354	424	461	219	167	98	38	9	237	211	543	8	86	55	70	100	16	15	11	67	41	4677
	部員合計	315		476		656		778		680		265		47		448		551		141		170		31		11		108	4677

図 S-24 学校外のスポーツクラブへの加入割合

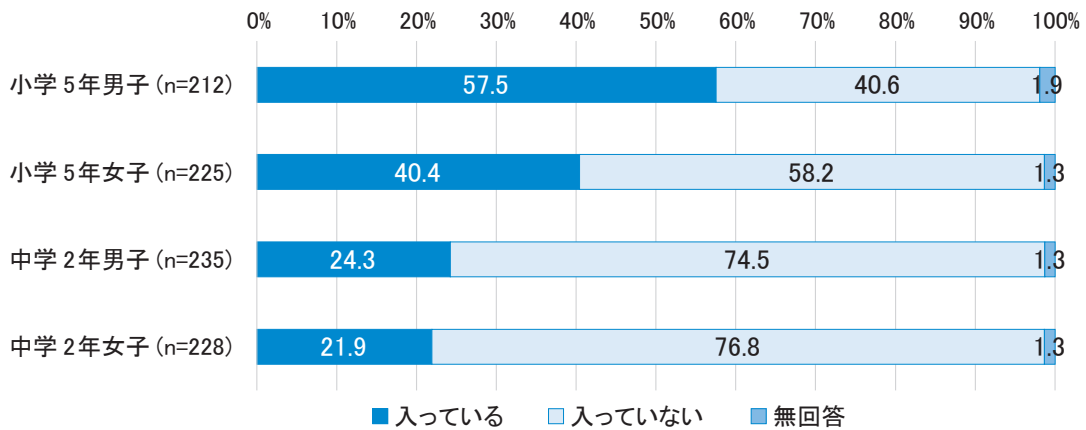


図 S-25 自分の好きな運動部やスポーツクラブがあれば入りたいか

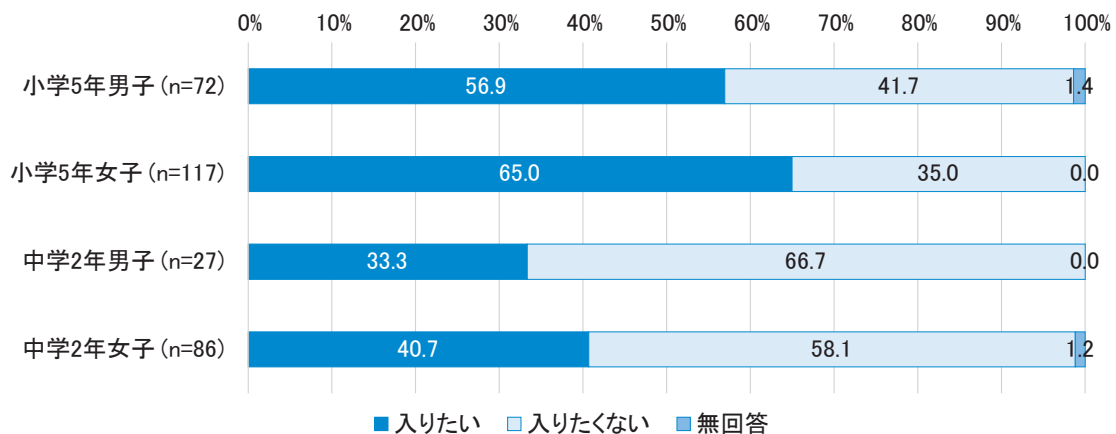


表 S-30 運動やスポーツをしなかった理由（複数回答）

単位：%

	小学5年男子 (n=9)		小学5年女子 (n=13)		中学2年男子 (n=16)		中学2年女子 (n=29)	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合	理由	割合
1位	塾や勉強が忙しくて時間がないから	22.2	機会がなかったから	38.5	他に趣味ややりたいことがあるから	62.5	面倒くさいから	31.0
2位	運動・スポーツが嫌いだから	11.1	運動・スポーツが嫌いだから	30.8	機会がなかったから	43.8	塾や勉強が忙しくて時間がないから	24.1
3位	お金がかかるから	11.1	面倒くさいから	15.4	面倒くさいから	37.5	他に趣味ややりたいことがあるから	20.7
4位	機会がなかったから	11.1	塾や勉強が忙しくて時間がないから	7.7	塾や勉強が忙しくて時間がないから	18.8	運動・スポーツが嫌いだから	20.7
5位	面倒くさいから	11.1	場所や施設がないから	7.7	場所や施設がないから	18.8	機会がなかったから	13.8
6位	体に障害があるから	0.0	他に趣味ややりたいことがあるから	7.7	運動・スポーツが嫌いだから	18.8	場所や施設がないから	6.9
7位	指導者がいないから	0.0	仲間がいないから	7.7	仲間がいないから	12.5	仲間がいないから	3.4
8位	仲間がいないから	0.0	お金がかかるから	7.7	指導者がいないから	12.5	お金がかかるから	3.4
9位	場所や施設がないから	0.0	指導者がいないから	0.0	お金がかかるから	6.3	指導者がいないから	0.0
10位	他に趣味ややりたいことがあるから	0.0	体に障害があるから	0.0	体に障害があるから	0.0	体に障害があるから	0.0
	特に理由はない	11.1	特に理由はない	23.1	特に理由はない	25.0	特に理由はない	17.2
	その他	11.1	その他	0.0	その他	0.0	その他	10.3
	無回答	22.2	無回答	23.1	無回答	6.3	無回答	34.5

表 S-33 小・中学校の体力テスト総合評価段階（A + B）人数の割合

年度	区分	小学校5年生				
		A	B	計	実施人数	割合(%)
平成 29 年度 (2017)	茨城県	7,209	7,302	14,511	25,076	57.87
	つくば市	445	639	1,084	2,258	48.01
平成 24 年度 (2012)	茨城県	3,662	4,263	7,925	13,490	58.70
	つくば市	1,943	3,612	5,555	12,746	43.60

年度	区分	中学校2年生				
		A	B	計	実施人数	割合(%)
平成 29 年度 (2017)	茨城県	7,629	7,507	15,136	23,879	63.39
	つくば市	490	559	1,049	1,842	56.95
平成 24 年度 (2012)	茨城県	5,323	3,856	9,179	12,347	74.30
	つくば市	1,154	1,488	2,642	5,225	50.56

表 S-34 障がい者の週 1 回以上のスポーツ実施率

週 1 回以上	つくば市 (H30)	国 (H29)
総数	46.8	—
7-19 歳	71.0	29.6
20 歳以上	44.6	20.8

* つくば市：「週に 5 日以上」、「週に 3 日以上」、「週に 2 日以上」及び「週に 1 日以上」の合算値。

* 国：「週に 5 日以上」、「週に 3 日以上」、「週に 2 日以上」及び「週に 1 日以上」の合算値。

注) 「—」：国 (H29) では未公表。

表 S-31 体力テスト結果の年次推移の比較（本市・全国・茨城県）

（平均値）

年度		小学校5年（5学年）		中学校2年（8学年）	
		男	女	男	女
平成 20 年度 (2008)	全国	54.98	56.25	43.00	49.62
	茨城県	56.61	58.44	44.34	52.49
	つくば市	54.46	56.83	42.55	50.56
平成 21 年度 (2009)	全国	55.61	55.35	42.89	49.58
	茨城県	56.76	58.46	45.24	52.18
	つくば市	55.84	56.38	43.79	50.51
平成 22 年度 (2010)	全国	55.82	56.37	44.11	50.40
	茨城県	56.71	58.85	45.62	52.31
	つくば市	55.08	56.60	42.94	51.62
平成 23 年度 (2011)	全国	55.55	56.08	44.57	51.39
	茨城県	56.91	58.74	45.33	52.15
	つくば市	55.20	56.68	43.36	50.62
平成 24 年度 (2012)	全国	54.07	54.87	42.11	48.62
	県	57.02	59.28	46.27	53.92
	つくば市	56.38	57.57	43.35	49.86
平成 25 年度 (2013)	全国	55.60	56.30	44.17	50.31
	茨城県	56.97	59.46	46.01	53.60
	つくば市	54.77	56.87	43.81	51.50
平成 26 年度 (2014)	全国	55.62	57.12	44.67	51.44
	茨城県	57.25	59.51	45.77	53.64
	つくば市	55.31	56.94	43.69	50.80
平成 27 年度 (2015)	全国	56.10	57.55	43.39	50.83
	茨城県	56.52	59.61	46.12	53.58
	つくば市	56.05	58.33	43.93	51.07
平成 28 年度 (2016)	全国	53.93	55.54	42.00	49.41
	茨城県	56.48	59.24	45.60	53.38
	つくば市	54.85	56.72	43.46	51.56
平成 29 年度 (201)	全国	54.16	55.54	41.96	49.80
	茨城県	57.70	60.47	46.10	54.92
	つくば市	55.45	56.93	44.13	52.07

表 S-32 新体力テスト結果の年次推移の比較（本市・全国・茨城県）

小学校5年生新体力テスト結果

		男子					女子				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
握力 (kg)	つくば市	17.02	16.84	16.92	16.5	16.92	16.48	16.39	16.84	16.4	16.23
	県	17.27	17.27	16.96	17.08	17.24	17	16.91	16.78	16.95	16.96
	全国	17.36	16.97	17.12	16.47	16.51	16.55	16.78	16.58	16.13	16.12
長座体 前屈 (cm)	つくば市	34.02	34.81	35.18	33.52	34.92	38.93	39.23	40.19	38.6	38.9
	県	35.23	35.4	35.15	35.7	36.26	39.48	39.67	39.78	40	40.65
	全国	32.66	32.87	33.48	32.88	33.16	37.25	37.59	38.39	37.22	37.44
反復 横とび (点)	つくば市	42.48	42.96	43.87	42.53	43.2	40.74	41.15	42.1	40.19	40.85
	県	44.54	44.74	44.27	44.52	45.01	42.81	43.16	42.95	43.32	43.26
	全国	42.97	42.88	43.82	41.97	41.95	40.69	40.63	41.76	40.06	40.06
20 m シャトル ラン	つくば市	52.5	53.84	53.61	53.82	53.17	41.99	42.44	44.1	42.38	42.51
	県	56.58	57.73	56.26	56.94	57.52	47.52	48.13	48.27	49.1	48.94
	全国	55.33	54.9	56.48	51.88	52.23	42.79	43.95	44.45	41.29	41.62
50 m走 (秒)	つくば市	9.35	9.35	9.31	9.26	9.27	9.56	9.64	9.51	9.54	9.52
	県	9.23	9.21	9.27	9.25	9.21	9.45	9.46	9.42	9.39	9.38
	全国	9.26	9.21	9.29	9.38	9.37	9.55	9.45	9.5	9.61	9.60
立幅とび (cm)	つくば市	152.88	153.35	155.18	153.17	152.9	146.8	146.63	148.3	147.35	145.91
	県	155.37	155.96	154.59	154.63	157.29	150.41	150.21	150.4	151.04	152.2
	全国	154.7	155.03	154.3	151.42	151.73	146.52	147.94	147.35	145.34	145.49
ボール 投げ (m)	つくば市	21.99	22.22	21.85	21.75	21.42	14.24	14.22	14.07	14.12	14.19
	県	23.3	23.14	22.74	22.55	22.77	15.34	15.22	15.01	15.31	15.37
	全国	24.45	23.65	23.91	22.41	22.52	14.37	14.71	14.41	13.87	13.93
上体 起こし (回)	つくば市	20.28	20.75	21.27	20.35	21.11	19.54	19.94	20.55	19.27	19.94
	県	21.24	21.46	21.43	21.4	21.97	20.42	20.65	20.79	21.09	21.14
	全国	20.09	20.24	20.64	19.67	19.92	18.55	18.82	19.24	18.60	18.80
合計点 の平均 値(点)	つくば市	54.77	55.31	56.05	54.85	55.45	56.87	56.94	58.33	56.72	56.93
	県	56.97	57.25	56.52	56.84	57.70	59.46	59.51	59.61	60.2	60.47
	全国	55.6	55.62	56.1	53.93	54.16	56.3	57.12	57.55	55.54	55.72

中学2年生新体力テスト結果

		男子					女子				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
握力 (kg)	つくば市	30.37	29.85	29.51	29.99	29.07	24.57	23.88	24.13	23.96	24.06
	県	30.7	30.63	30.47	30.35	30.19	24.88	24.73	24.8	24.77	24.88
	全国	29.93	30.15	29.66	28.90	28.88	24.35	24.37	24.00	23.72	23.78
長座体 前屈 (cm)	つくば市	44.44	44.14	44.8	43.65	44.97	47.76	47.34	47.74	49.55	49.92
	県	46.5	46.37	46.46	45.57	46.68	48.38	48.44	48.58	48.07	49.86
	全国	43.41	43.97	43.79	42.97	43.10	45.1	46.58	45.39	45.47	45.85
反復 横とび (点)	つくば市	52.83	53.13	53.42	52.82	53.47	46.73	46.74	47.26	46.77	47.13
	県	53.57	53.38	53.54	54.03	54.04	47.36	47.52	47.42	48.18	48.65
	全国	53.33	53.06	53.28	51.90	51.84	46.51	47.05	47.38	46.59	46.75
20 m シャトル ラン	つくば市	85	87.21	87.11	85.84	88.91	59.88	59.31	58.06	58.73	60.52
	県	90.27	91.02	92.22	91.58	90.89	64.07	64.76	63.82	64.59	65.72
	全国	90.07	90.8	90.29	85.90	85.54	59.73	61.89	61.07	58.50	58.79
50 m走 (秒)	つくば市	7.88	7.92	7.85	7.91	7.93	8.7	8.74	8.7	8.71	8.76
	県	7.8	7.81	7.77	7.79	7.78	8.58	8.58	8.55	8.54	8.52
	全国	7.85	7.78	7.84	8.03	8.00	8.75	8.66	8.74	8.83	8.81
立幅とび (cm)	つくば市	200.12	197.2	198.09	198.29	199.46	173.74	171.08	171.25	173.05	171.78
	県	201.86	200.04	201.88	199.87	201.43	174.63	174.39	173.63	174.47	174.96
	全国	200.13	197.71	196.97	194.66	194.55	169.81	170.71	171.29	168.16	168.40
ボール 投げ (m)	つくば市	20.85	21.03	20.79	20.35	20.57	12.95	12.95	13.16	12.79	13.12
	県	22.02	21.79	21.8	21.49	21.67	13.94	13.8	13.81	13.85	13.9
	全国	21.88	21.49	21.32	20.54	20.51	13.76	13.54	13.41	12.78	12.88
上体 起こし (回)	つくば市	27.99	27.82	27.88	28.04	28.34	23.73	23.64	23.37	24.25	24.76
	県	28.99	28.9	28.78	28.95	28.89	24.61	25.09	24.65	25.02	25.59
	全国	28.67	28.44	28.09	27.36	27.33	23.45	23.74	24.01	23.37	23.62
合計点 の平均 値(点)	つくば市	43.81	43.69	43.93	43.46	44.13	51.5	50.8	51.07	51.56	52.07
	県	46.01	45.77	46.12	45.81	46.1	53.6	53.64	53.58	53.98	54.92
	全国	44.17	44.67	43.39	42.00	41.96	50.31	51.44	50.83	49.41	49.80

表 S-35 障がい者の週3回以上のスポーツ実施率

週3回以上	つくば市 (H30)	国 (H29)
総数	19.9	—
7-19歳	25.8	13.2
20歳以上	19.7	9.8

* つくば市：「週に5日以上」及び「週に3日以上」の合算値。

* 国：「週に5日以上」及び「週に3日以上」の合算値。

注)「—」：国(H29)では未公表。

表 S-36 「みんなでDO! スポーツ」の開催状況の推移

	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)
開催回数	11	11	11	11	11
参加者数	201	192	162	199	195

表 S-37 障害者手帳別の運動・スポーツ・身体的なレクリエーションの実施状況

身体障害者手帳所持者

	身体障害者手帳所持者 総数 n=280		視覚障害 n=9		聴覚障害・平衡機能 障害 n=25		音声・言語・そしゃく機能 障害 n=5		肢体不自由(上肢) n=53		肢体不自由(下肢) n=105		肢体不自由(体幹) n=29		内部障害 n=89	
	順位	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率	実施率
1位	散歩(ぶらぶら歩き)	37.5	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	33.3	散歩(ぶらぶら歩き)	52.0	散歩(ぶらぶら歩き)	40.0	散歩(ぶらぶら歩き)	34.0	散歩(ぶらぶら歩き)	31.4	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	41.4	散歩(ぶらぶら歩き)	44.9
2位	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	27.5	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	22.2	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	48.0	陸上競技	20.0	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	22.6	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	26.7	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	31.0	ウォーキング	32.6
3位	ウォーキング	22.9	ウォーキング	22.2	ウォーキング	36.0	水泳	20.0	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	15.1	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	21.9	散歩(ぶらぶら歩き)	20.7	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	24.7
4位	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	14.6	散歩(ぶらぶら歩き)	22.2	なわとび	20.0	水中歩行	20.0	ウォーキング	9.4	ウォーキング	15.2	ポッチャ	17.2	ハイキング	12.4
5位	水泳	9.6	ポッチャ	22.2	ハイキング	20.0	ハイキング	20.0	ハイキング	5.7	水中歩行	15.2	ボウリング	13.8	ゴルフ(コース)	11.2
6位	筋力トレーニング(マシントレーニング)	9.3	ボウリング	11.1	ボウリング	16.0	ポッチャ	20.0	ハンドサッカー	5.7	筋力トレーニング(マシントレーニング)	13.3	水中歩行	13.8	ゴルフ(練習場)	9.0
7位	水中歩行	8.6	アクアエクササイズ	11.1	ジョギング・ランニング	16.0	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	20.0	ポッチャ	5.7	水泳	13.3	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)	10.3	ボウリング	9.0
8位	ハイキング	8.6	サイクリング	11.1	水泳	16.0	キャッチボール	0.0	グランドゴルフ	3.8	ポッチャ	6.7	その他のスポーツや身体的なレクリエーション	10.3	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)	7.9
9位	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)	6.4	登山	11.1	キャッチボール	12.0	ソフトボール	0.0	筋力トレーニング(マシントレーニング)	3.8	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)	4.8	筋力トレーニング(マシントレーニング)	6.9	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	7.9
10位	ボウリング	6.1	キャッチボール	0.0	バドミントン	12.0	野球	0.0	水泳	3.8	その他のスポーツや身体的なレクリエーション	4.8	ウォーキング	6.9	水泳	6.7
	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	21.1	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	22.2	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	16.0	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	0.0	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	24.5	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	22.9	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	10.3	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	21.3

療育手帳所持者

単位：%

療育手帳所持者総数 n=64		A判定 n=25		A判定 n=19		B判定 n=8		C判定 n=12		
1位	散歩(ぶらぶら歩き)	56.3	散歩(ぶらぶら歩き)	48.0	散歩(ぶらぶら歩き)	68.4	散歩(ぶらぶら歩き)	50.0	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	58.3
2位	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	45.3	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	44.0	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	52.6	サッカー	37.5	散歩(ぶらぶら歩き)	58.3
3位	水泳	26.6	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	40.0	ウォーキング	31.6	陸上競技	37.5	ジョギング・ランニング	33.3
4位	ウォーキング	20.3	水泳	24.0	水泳	21.1	水泳	37.5	水泳	33.3
5位	リハビリテーションの一環として行っている運動(ストレッチや筋力維持向上のための運動など)	18.8	ポウリング	20.0	ハイキング	21.1	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	25.0	登山	33.3
6位	ポウリング	15.6	ウォーキング	20.0	なわとび	15.8	ダンス(社交ダンス、フォークダンス、フラダンス)	25.0	ポウリング	25.0
7位	ジョギング・ランニング	15.6	ポッチャ	20.0	ジョギング・ランニング	15.8	マラソン、駅伝などのロードレース	25.0	なわとび	25.0
8位	なわとび	14.1	なわとび	12.0	サッカー	10.5	水中歩行	25.0	海水浴	25.0
9位	登山	14.1	筋力トレーニング(マシントレーニング)	12.0	陸上競技	10.5	登山	25.0	サッカー	16.7
10位	サッカー	12.5	水中歩行	12.0	海水浴	10.5	スキー	25.0	バスケットボール	16.7
	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	4.7	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	0.0	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	0.0	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	25.0	この1年間にスポーツや身体的なレクリエーションは行わなかった	8.3

表 S-38 1年間で運動・スポーツ・身体的なレクリエーションを行った日数

単位：%

	該当数	週に5日以上 (年251日以上)	週に3日以上 (年151~250日以上)	週に2日以上 (年101~151日以上)	週に1日以上 (年51~100日以上)	月に1~3日 (年12~50日以上)	3か月に1~2日 (年4~11日以上)	年に1~3日	しなかった (年に0日)	無回答
総数	361	5.5	14.4	11.1	15.8	15.5	3.6	5.3	22.7	6.1
7-19歳	31	0.0	25.8	19.4	25.8	16.1	6.5	6.5	0.0	0.0
20歳以上	325	6.2	13.5	10.2	14.8	15.4	3.4	4.9	24.9	6.8
身体障害者手帳所持者	280	5.4	12.9	11.1	16.1	14.6	3.6	5.4	24.3	6.8
視覚障害	9	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2
聴覚障害・平衡機能障害	25	0.0	12.0	20.0	20.0	20.0	0.0	4.0	16.0	8.0
音声・言語・そしゃく機能障害	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(上肢)	53	7.5	22.6	5.7	13.2	9.4	5.7	5.7	22.6	7.5
肢体不自由(下肢)	105	4.8	15.2	12.4	12.4	11.4	2.9	6.7	27.6	6.7
肢体不自由(体幹)	29	10.3	6.9	10.3	17.2	27.6	3.4	6.9	13.8	3.4
内部障害	89	4.5	11.2	6.7	19.1	18.0	6.7	1.1	27.0	5.6
療育手帳所持者	64	4.7	17.2	18.8	17.2	25.0	4.7	4.7	6.3	1.6
①判定	25	8.0	16.0	12.0	16.0	40.0	4.0	4.0	0.0	0.0
A判定	19	5.3	10.5	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0
B判定	8	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5
C判定	12	0.0	33.3	25.0	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	55	9.1	9.1	5.5	20.0	14.5	1.8	9.1	29.1	1.8
1級	9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	55.6	11.1
2級	26	7.7	7.7	7.7	26.9	11.5	0.0	15.4	23.1	0.0
3級	20	15.0	15.0	5.0	15.0	20.0	0.0	5.0	25.0	0.0

図 S-26 今よりもスポーツや身体的なレクリエーションを行いたいか

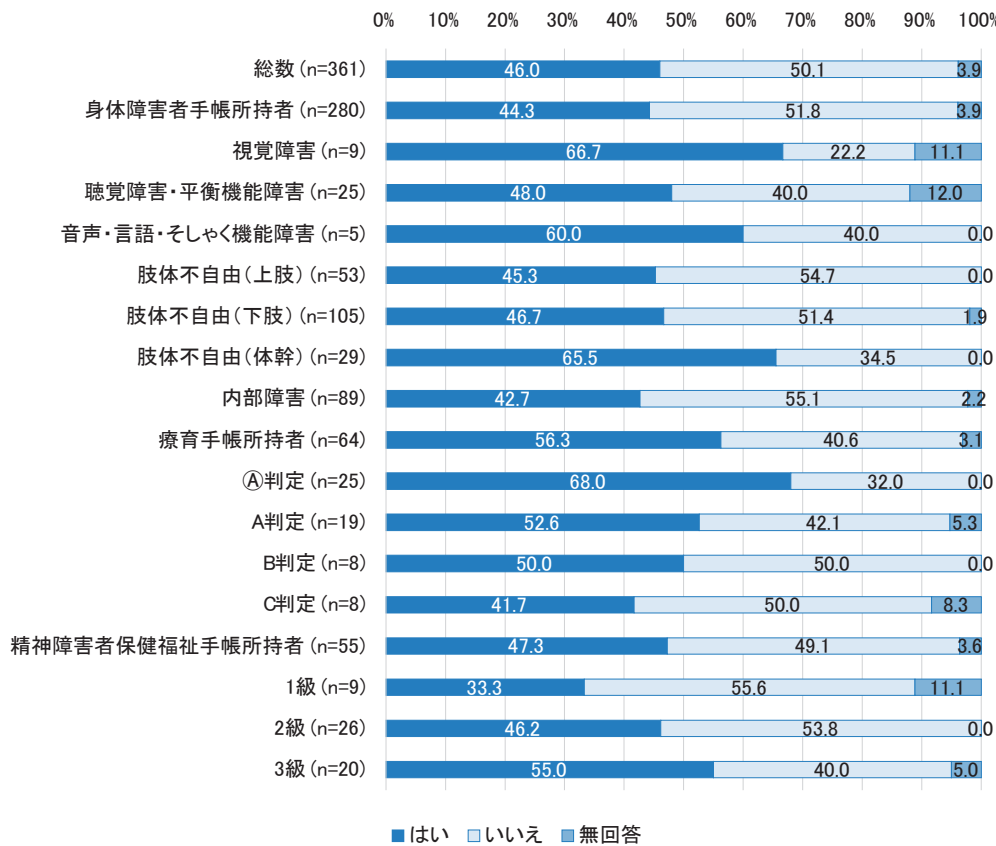


表 S-39 いばらきねんりんスポーツつくば市大会の参加者数

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)
参加者数	428	441	579	560	572	592

表 S-40 高齢者いきいき健康アップ事業の参加者数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加者数	235	323	354	363	404

表 S-41 シルバークラブ数及び会員数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
単位クラブ数	150	140	134	132	139
会員数	7,377	6,981	6,725	6,534	6,766

表 S-42 つくば健康マラソン大会

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加申込数	1,442	1,463	1,394	1,687	1,526

表 S-43 つくば学園ウォークラリー大会

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加申込数	438	412	371	416	257

表 S-44 リレーカーニバルの参加状況

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加者数	741	1,159	1,080	1,205	1,215
(組)	(148)	(165)	(157)	(170)	(178)

表 S-45 つくばウォークの日の実施状況の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
実施回数	10 回	14 回	13 回	16 回	14 回
参加申込数	1,716	2,089	2,097	1,835	1,509

図 S-27 今後、筑波大学に期待すること

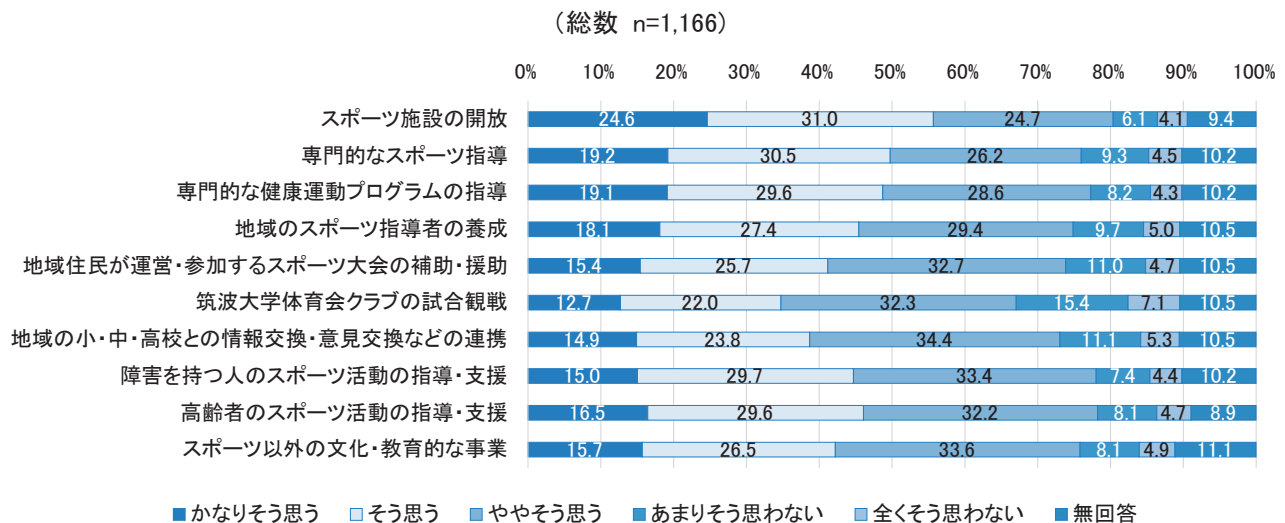


表 S-46 平成 29 (2017) 年度つくば市後援名義承認一覧表 (スポーツ関係事業)

	団体名	事業名
1	茨城県パワーリフティング協会	第72回愛顔(えがお)つなぐえひめ国体公開競技 パワーリフティング関東ブロック予選大会
2	茨城県少年軟式野球国際交流協会	平成29年度 IBA茨城国際交流大会
3	茨城県少年軟式野球国際交流協会	平成29年度 IBA中学生大会
4	GKNグローブ空手大会実行委員会	第24回 GKNグローブ空手大会
5	特定非営利活動法人つくばスポーツアカデミー	放課後スポーツ教室
6	特定非営利活動法人 Dance Association Seeds	～広がり, 繋がるダンスの輪～ダンスで繋がるダンスコン テスト「ダン魂」
7	なないろ実行委員会	第1回なないろスポーツフェスタ
8	公益財団法人 茨城県体育協会	平成29年度県民総合体育大会兼国民体育大会茨城 県大会
9	茨城新聞社	第42回記念 茨城県選抜中学校野球大会
10	国際空手道連盟極真会館茨城県常総支部	茨城県空手道選手権大会JOSOカップ
11	つくば路100km徒歩の旅運営協議会	第11回つくば路100km徒歩の旅2017
12	茨城YMCA	第4回茨城YMCAインターナショナル・チャリティーラン2017
13	つくばリレーカーニバル実行委員会	つくばリレーカーニバル2017
14	筑波大学オリエンテーリング部	つくばロゲイニング
15	一般社団法人つくばユナイテッドサンガイア	2017/18 V・チャレンジリーグ I 男子バレーボール茨城大会
16	筑波大学体育系	なないろサッカーフェス
17	三大学連携障がい者のためのスポーツイベント 実行委員会	第10回三大学連携障がい者のためのスポーツイベント
18	認定特定非営利活動法人	2017アカデミースポーツフェスティバル
19	つくば体操フェスティバル実行委員会	つくば体操フェスティバル2018
20	日本ラート協会・大会実行委員会	第22回全日本ラート競技選手権大会 兼 世界ラート 競技選手権2018日本代表選考会
21	特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会	日本スポーツ振興協会杯ジュニアテニストーナメント2017
22	World Fut TSUKUBA	第1回女子チャリティーフットサル大会
23	TFJ第七回大会委員会	TFJ第七回大会
24	World Fut TSUKUBA	World Fut TSUKUBA第14回チャリティーフットサル大会
25	つくば市体育協会剣道部	第27回つくば市少年剣道錬成大会
26	石岡トレイルランクラブ	筑波山トレイルラン大会2017
27	つくばりんりんロードウォーク大会実行委員会	2018つくばりんりんロード100キロウォーク大会
28	筑波大学MEIKEIオープンテニス大会実行委員会	筑波大学MEIKEIオープンテニス
29	特定非営利活動法人 つくばスポーツアカデミー	T.S.A.バドミントンランキングサーキットダブルス大会2018
30	特定非営利活動法人 つくばスポーツアカデミー	第2回TSAランキングサーキットジュニア大会
31	特定非営利活動法人 つくばスポーツアカデミー	小学生スポーツ教室
32	特定非営利活動法人 つくばスポーツアカデミー	放課後子どもクラブ(旧放課後スポーツ教室)

表 S-47 つくばスポーツフェスティバルの参加者数

	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加者数	614	560	882	1,107
子どもラート体験参加者数	27	16	10	12

表 S-48 平成 29 (2017) 年度つくば市スポーツ推進委員協議会の事業内容

実施日	事業内容	場 所	内 容
4月8日(土)	つくば市スポーツ推進委員協議会総会	つくば市役所	H28事業報告・決算報告 H29事業計画(案)・予算(案)
5月14日(日)	つくば学園ウオークラリー大会	筑波学院大学	大会役員
5月18日(木)	県スポーツ推進委員協議会総会及び功労者表彰式	土浦市新治地区公民館	H28事業報告・収支決算報告 H29事業計画(案)・収支予算(案) 功労者表彰
5月24日(水)	県南スポーツ推進委員協議会理事会・総会	稲敷市役所	H28事業報告・決算報告 役員の変更 H29事業計画(案)及び予算(案)
6月9日(金) ～10日(土)	関東スポーツ推進委員研究大会	栃木県宇都宮市	講演・分科会等
6月15日(木)	つくば市スポーツ推進委員協議会第1回理事会	つくば市役所	・全国大会プログラム協賛広告について ・市研修会について
7月22日(土)	つくば市スポーツ推進委員協議会研修会	谷田部総合体育館	アーチェリー
8月24日(木)	県南スポーツ推進委員協議会郡市会長事務担当者会議	美浦柳(土浦市)	地区別研修会について
9月16日(土)	つくばスポーツフェスティバル2017	つくばカピオ	大人のスポーツテストなど
11月9日(木) ～10日(金)	全国スポーツ推進委員研究協議会	つくばカピオ	講演・分科会等
11月26日(日)	つくばマラソン	市内マラソンコース	大会役員
2月3日(土)	つくば健康マラソン大会	研究学園駅前公園	大会役員
2月17日(土)	県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会	稲敷市江戸崎総合運動公園体育館	イキイキはつらつ健康体操
2月22日(木)	つくば市スポーツ推進委員協議会第2回理事会	つくば市役所	H 29事業報告(案) 他
3月3日(土)	県スポーツ推進委員協議会女性研修会	常総市石下総合体育館	立腰体操
3月12日(月)	県スポーツ推進委員協議会理事会・幹事会	茨城県市町村会館(水戸市)	H29事業報告(案)・決算報告(案) H30事業計画(案)及び予算(案)

表 S-49 つくば市の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の登録者数

資格名	平成 25 (2013) 年度	平成 29 (2017) 年度
指導員	87	111
コーチ	43	66
スポーツリーダー	22	30
上級指導員	20	16
上級コーチ	18	28
ジュニアスポーツ指導員	7	6
教師	6	6
スポーツプログラマー	3	5
アスレティックトレーナー	2	31
アシスタントマネジャー	1	8
合 計	209	307

表 S-50 平成 29 年度スポーツ教室開催実績一覧

教室名	内容	対象	開催日・回数	参加者数	場所
トレイルラン	つくばの山々を駆け抜けましょう！ トレイルランとはランニングの一種で、舗装された道ではなく、山など自然の中を走ります。普段のランニングにちょっと刺激が欲しい方、トレイルランを始めてみたい方におススメです！	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方(高校生除く)	5月21日, 5月28日, 6月18日, 6月25日, 全4回 全て日曜日	34名(延110名) (平成29年度)	筑波山, 宝篋山など
心と身体の元氣をつくる！ アフロリズムダンス	心と身体の開放。アフリカンビートに合わせてステップ♪ アフロリズムダンスとは、西アフリカのさまざまな民族舞踊とダンスのステップを組み合わせたエクササイズです。胸・お腹・骨盤などリズムカルに動かし、しなやかな背骨を指し姿勢を整えます。ゆっくり丁寧に進めますので、ダンス未経験者や中高年の方でも無理なく参加できます。	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方(高校生除く)	5月27日, 6月10日, 6月24日, 7月8日 隔週土曜日 全4回	9名(延34名) (平成29年度)	つくば市役所
はじめてのストリートダンス	初めてのダンスにチャレンジ！ 小学校でもダンスを踊る機会が増え、注目が高まっています。優しい先生と一緒に楽しくストリートダンスを踊ってみませんか？	市内在住・在学の小学生	6月4日, 6月11日, 6月18日, 6月25日 毎週日曜日 全4回	20名(延75名) (平成29年度)	大穂体育館
スポーツ鬼ごっこ	スポーツ鬼ごっこの入門教室です！ スポーツ鬼ごっことは、運動が苦手な子でも楽しめるように競技性を高めた鬼ごっこです。ペースが鬼ごっこなので、初めての子でもすぐにゲームに参加して楽しむことができます。	市内在住・在学の小学生	6月8日(木) 全1回	22名 (平成29年度)	桜総合体育館
アーチェリー	アーチェリーを気軽に楽しみましょう♪ アーチェリーは、西洋式の弓術で「弓を引いて、的を射る」というとてもシンプルなスポーツです。普段なかなか体験することのできないスポーツですが、年齢や体力に関係なく誰もが楽しめます。道具は貸し出しますので、手ぶらで御参加いただけます。	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方	8月5日, 8月19日, 8月26日, 9月2日, 全4回 全て土曜日 10月7日, 10月14日, 10月21日, 全3回 全て土曜日	18名(延53名) (平成29年度) 20名(延48名) (平成29年度)	筑波大学アーチェリー場 谷田部総合体育館弓道場
ラート	世界チャンピオンとさかさまの世界を体験してみませんか？ ラートとは体操競技の一種で、身長より大きな鉄の輪(ラート)の中に入って回転などをするアクロバティックなスポーツです。未経験の方でも、運動が苦手な方でも大丈夫！筑波大学出身の世界チャンピオンが丁寧に指導します♪	市内在住・在学の小学生 ※身長140cm～180cm 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方 ※身長140cm～180cm	8月5日(土) 全1回 平成30年2月11日, 2月18日, 3月4日 全3回 全て日曜日	12名 (平成29年度) 22名(延60名) (平成29年度)	筑波大学中央体育館体操場
大友愛のバレーボール	元全日本選手・大友愛さんと楽しくバレーボール！ 元全日本代表の大友愛さんと、つくばユニテッド SunGAIのメンバーと一緒にバレーボールを楽しみます！経験者も初心者も大歓迎です！一緒に楽しく体を動かしましょう♪	市内在住・在学の小学生・中学生	8月8日(火) 全1回	33名 (平成29年度)	つくばカピオ
体幹トレーニングで身体の使い方をマスターしよう！	若々しく健康な身体の基礎をつくりましょう！ 体幹とは身体の軸となる筋肉で、これを鍛えることで、太りにくい体づくりや腰痛・肩こりなどの改善に効果があると言われています。体力に自信がない方でも簡単に実践できます！	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方	8月24日, 8月31日, 9月7日, 9月14日 全4回 毎週木曜日	33名(延111名) (平成29年度)	東光台体育館
音楽に合わせて楽しくカポエイラ！	女性の講師が基本の動きから楽しく丁寧に教えます♪ カポエイラとは、格闘技や音楽、ダンスなどの要素が盛り込まれたブラジル発祥のスポーツです。運動不足の解消や体の引き締めにおススメです！	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方	9月23日, 9月30日, 10月7日, 10月14日, 10月21日 全5回 毎週土曜日	4名(延17名) (平成29年度)	つくばウェルネスパーク
ウエイトトレーニング	いきいき茨城ゆめ国体2019でつくば市の開催競技となっているパワーリフティングを体験してみませんか？運動をしている人もしていない人も、筋力トレーニングを行っている人も苦手な人も、年齢や体力に関係なく楽しく筋力トレーニングで貯筋し、健康な身体をめざしましょう！	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方	1月13日, 1月20日, 1月27日, 2月3日 全4回 毎週土曜日	9名(32名) (平成29年度)	パワーハウス つくば
ランニング	ランニングをはじめませんか？ ランニングフォームやトレーニング方法を学び、運動不足解消・ストレス発散・体づくりを行い、楽しく走りましょう！	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方	2月17日, 2月24日, 3月3日, 3月10日 全4回 毎週土曜日	29名(延97名) (平成29年度)	東光台体育館
子どものスキー	小学生最後の思い出づくりに！ 中学校に上がるとスキー合宿があります。合宿の前に、一度ゲレンデを体験してみませんか？レベル別のレッスンによりスキーの技術向上を図るとともに、参加者同士の交流を図ります。	市内在住・在学の小学6年生	3月24日(土)～26日(月)	120名 (平成29年度)	群馬県尾瀬岩鞍スキーリゾート

表 S-51 出前教室の実施回数及び延べ参加者数

		平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
多世代交流出前教室	実施回数	1,226	1,532
	延べ参加者数	15,129	17,419
シルバーリハビリ出前体操教室	実施回数	2,415	2,665
	延べ参加者数	24,013	24,015

表 S-52 いきいき運動教室の参加者数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
参加者数	167	164	195	209	205
参加者延べ数	4,936	4,728	5,607	5,799	6,187

表 S-53 元気はつらつ運動教室の参加者数の推移

	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)
実施回数	68	80	120	111	122
参加申込数	1,956	2,311	2,970	3,338	3,158

図 S-28 スポーツ連携マッチング制度のイメージ

